brother

MFC-4550J

取扱説明書

操作編

この取扱説明書（操作編）をお読みになる前に、別冊の取扱説明書（セットアップ編）をお読みになり、すべてのセットアップを完了してください。その後、本書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。

本書をなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前10:00～11:45
　　　　　午後1:00～5:00
営業日　　月曜日から金曜日

（土曜日・日曜日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

ディスプレイの特徴

MFC-4450Jはお客様が使いやすいよう、ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いかがわかるようになっています。これを誘導表示といいます。

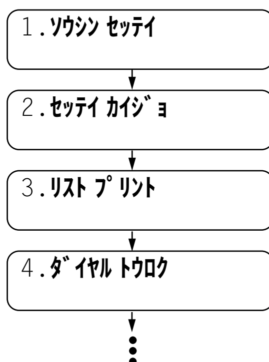
brother MFC-4550J

コピー / FAX ► ｽﾀｰﾄｦ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

プリンタ / スキャナ ► ｵﾝﾗｲﾝ

＜ディスプレイのスクロール＞

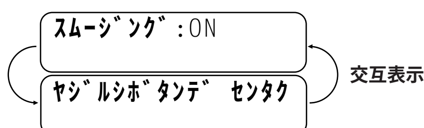
［機 能］ボタンを押すと、次々に設定することができる各機能がディスプレイに現われてきます。(100〜107ページ参照)



設定したい機能がディスプレイに表示されたときに、［セット］ボタンを押すか、ダイヤルボタンでその機能の番号を選んで入力してください。(自動的にスクロールしているときに、いつでも番号の入力ができます)

＜ディスプレイの交互表示について＞

ディスプレイ表示が交互に切り換わっているときは、現在設定されている機能と次の手順へ進む方法についての短いメッセージを約２秒間隔で交互に表示しています。下の例では、現在スムージング記録設定が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには［◄］／［►］ボタンを押すという誘導メッセージが表示されています。誘導表示によって次の手順がディスプレイに表示されていますので、それに沿って簡単に設定・登録をすることができます。



※本書では上のような表記で交互表示を表しています。

目次

8章　プリンタとして利用する ……………………177

9章　こんなときには ………………………………187

1章

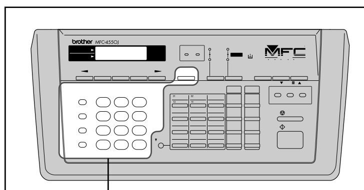
操作パネルについて

各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき

A 電話部



ダイヤルボタン

ダイヤルするとき(15ページ参照)、発信元データなどの文字入力をするときに押します。(94～96ページ参照)

オンフックボタン

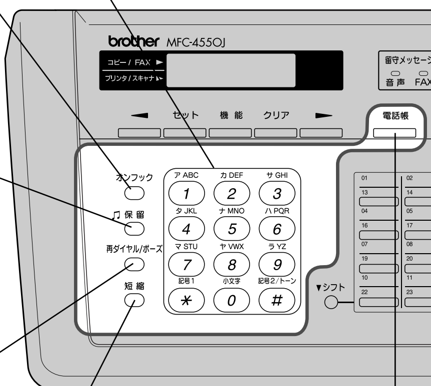
受話器を置いたままでダイヤルするときに押します。(15ページ参照)

保留ボタン

通話中に押すと、電話回線を保留にして相手にメロディを流します。

再ダイヤル/ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするとき(30ページ参照)、ダイヤル番号の入力時にハイフンを入れるときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>21ページ参照)



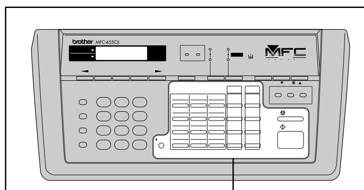
短縮ボタン

あらかじめ登録した短縮ダイヤルをダイヤルするときに押します。(15ページ参照)

電話帳ボタン

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。(64ページ参照)

B ワンタッチ、プリンタ、コピー部

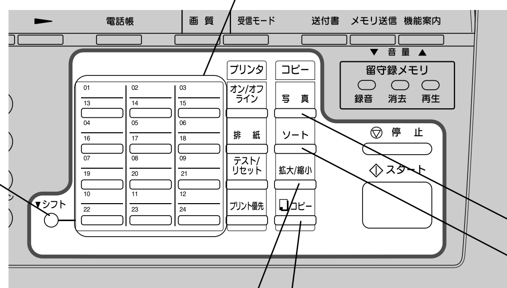


シフトボタン

ワンタッチダイヤルの 13 ～ 24 を登録またはダイヤルするときに シフト ボタンを押しながらワンタッチダイヤルを押します。またマルチ送信(27ページ参照)のときに使用します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルを使用するときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>21～23ページ参照)・(15ページ参照)



拡大/縮小ボタン

拡大/縮小コピーをするときに押します。倍率は200%、150%、125%、120%、100%、93%、87%、75%、50%から選択することができます(69ページ参照)。また、記録紙のサイズに合わせて自動で縮小したいときはジドウを選びます。

コピーボタン

原稿をコピーするときに押します。(65ページ参照)

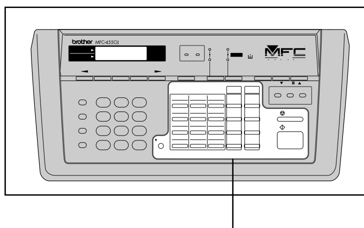
ソートボタン

複数の原稿をページ順に複数部コピーしたいときに押します。すべての原稿を読み込んでからページ順にコピーします。(68ページ参照)

写真ボタン

写真原稿をコピーするときに押します。(71ページ参照)

B ワンタッチ、プリンタ、コピー部



オン/オフラインボタン

オンライン(パソコンからのデータを受け取る準備ができた状態)、オフラインに切り換えるときに押します。オンラインときはディスプレイに「オンライン」と表示します。(180ページ参照)

停止ボタン

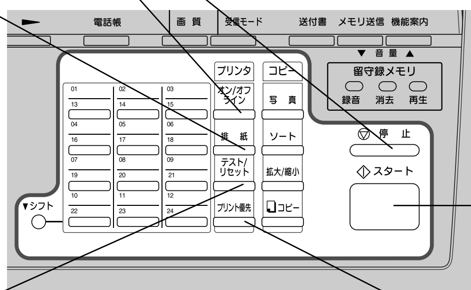
ファクス送信または操作を中止するとき、機能モードを解除するときに押します。(15、97ページ参照)

スタートボタン

ファクス送信または受信するときに押します。(14、54ページ参照)

排紙ボタン

排出されていないデータが残っているときに、この排紙ボタンを押すと、そのデータがプリントされます。また、エラーが解除された後もエラーメッセージがディスプレイに表示されたまま残っているときに、この排紙ボタンを押すと、エラーメッセージが消えます。



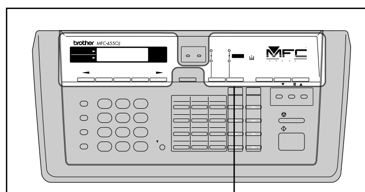
テスト/リセットボタン

プリンタのテストプリントをするときに押します。プリンタのメモリの中のデータをすべて削除したいときは、シフトボタンと同時に押します。(181ページ参照)

プリント優先ボタン

このボタンを押すと、MFCはファクス受信よりプリンタとしての出力を優先します。受信したファクスはすべてメモリに記憶され、プリンタとして出力がされていないときにそのファクスをプリントします 。また、このボタンを押すと、プリンタとして使用するメモリを増やすことができます。(181ページ参照)

C ディスプレイ機能設定部



◀(左矢印)ボタン
各種登録・設定で選択するとき、ディスプレイのカーソルを左に動かすときに押します。

▶(右矢印)ボタン
各種登録・設定で選択するとき、ディスプレイのカーソルを右に動かすときに押します。

ディスプレイ
月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。上の行にはファクスとコピーの状況、下の行にはプリンタとスキャナの状況を表示します。

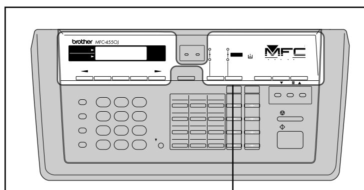
クリアボタン
入力したデータを消去するとき、機能モードの手順を1段階戻すときに押します。



セットボタン
各種機能の設定、各種データの登録のときに押します。(97ページを参照)

機能ボタン
機能モードに入るときに押します。

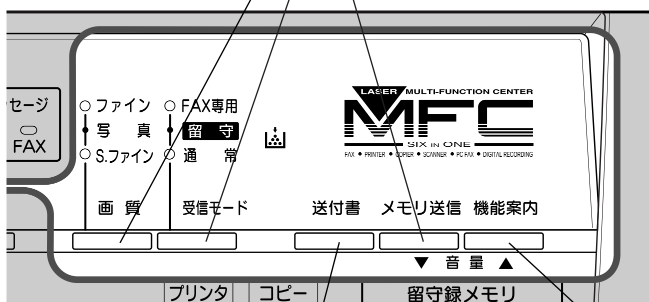
C ディスプレイ機能設定部



受信モードボタン
受信モードを切り換えるときに押します。（46ページ参照)

画質ボタン
送信する原稿に合わせて、画質モードを設定するときに押します。(17ページ参照)

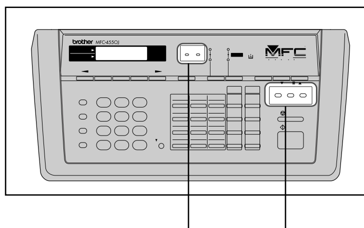
メモリ送信ボタン
メモリ送信(23ページ参照)や順次同報送信(25ページ参照)をするときに押します。マルチ送信するときは、シフトボタンを押しながら押します(27ページ参照)。また、オンフックダイヤル時や、留守録メモリに録音されたメッセージを聞くときに、このボタンを押すと、スピーカ音量を小さくすることができます。



送付書ボタン
送付書を付けてファクス送信するときに押します。(36ページ参照)

機能案内ボタン
各種登録・設定方法などが書かれた機能案内リストをプリントするときに押します。また、オンフックダイヤル時や、留守録メモリに録音されたメッセージを聞くときに、このボタンを押すと、スピーカ音量を大きくすることができます。

D 留守録メモリ部



留守メッセージ

音声メッセージやファクスメッセージが留守録メモリ内に記憶されているときに、このランプが点滅／点灯してお知らせします。(142ページ参照)



録音ボタン

メッセージ、ボイスメモや会話などを録音するときに押します。(52、145、159ページ参照)

再生ボタン

録音したメッセージ、ボイスメモや音声アラームなどを聞くときに押します。(147、150、176、ページ参照)

消去ボタン

メッセージ、ボイスメモや会話録音したものなどを消去するときに押します。(148、153、154、176ページ参照)

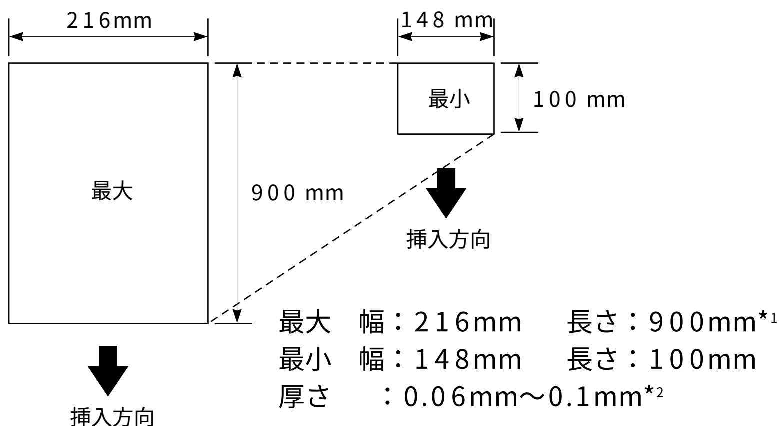
2章

送信のしかた

原稿について

＜原稿サイズ＞

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしたものをセットしてください。



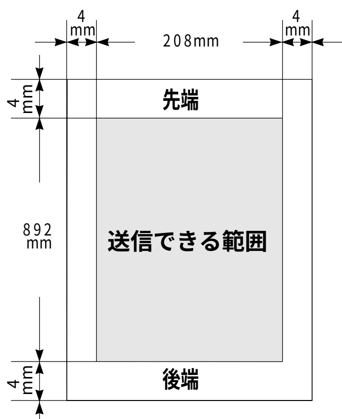
最大　幅：216mm　　長さ：900mm*1
最小　幅：148mm　　長さ：100mm
厚さ　　：0.06mm〜0.1mm*2

*1：長さが400mm以上の原稿は手で支えてください。

*2：この取扱説明書の表紙が約0.15mm、このページが約0.07mmですので、原稿の厚さの目安としてください。

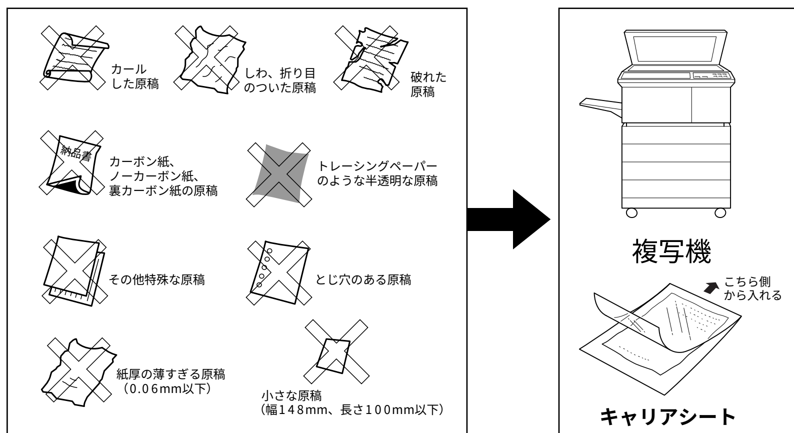
＜原稿の読み取り範囲＞

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。



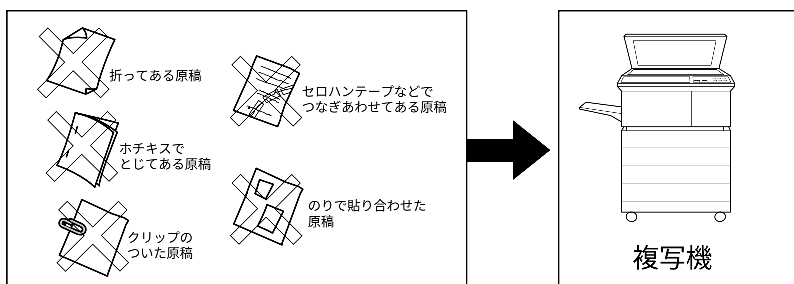
＜原稿についてのご注意＞

次のような原稿は、複写機でコピーするか、専用の「キャリアシート」をお使いください。



★キャリアシートは、当社指定のものをお使いください。
★自動連続送信の場合は、キャリアシートはお使いになれません。
★キャリアシートは、古くなったら新しいものとお取り換えください。

次のような原稿は、複写機でコピーしてから、送信原稿としてください。



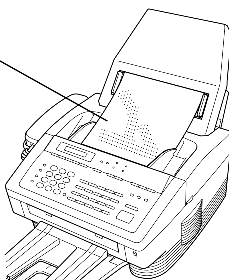
★インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
★原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り除いてください。
★異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
★原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合がありますので、セットしないでください。

原稿をセットする

送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

1

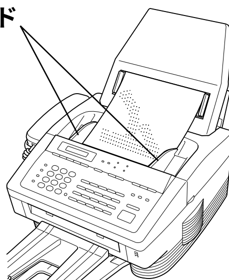
原稿の先端をそろえ、裏向きにしてセットします。(一度に30枚までセットできます)



- 原稿をきれいにそろえてください。
- 原稿がくっついていないことを確認してください。
- 原稿の先が軽くあたるまで差し込んでください。

2

原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



- 原稿が正しくセットされると次のようにディスプレイに表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ	送信するときは14ページを参照してください。
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ	コピーするときは65ページを参照してください。

■セットした原稿を取り出すときは

●送信やコピーの開始前のときは、そのまま原稿を取り除いてください。

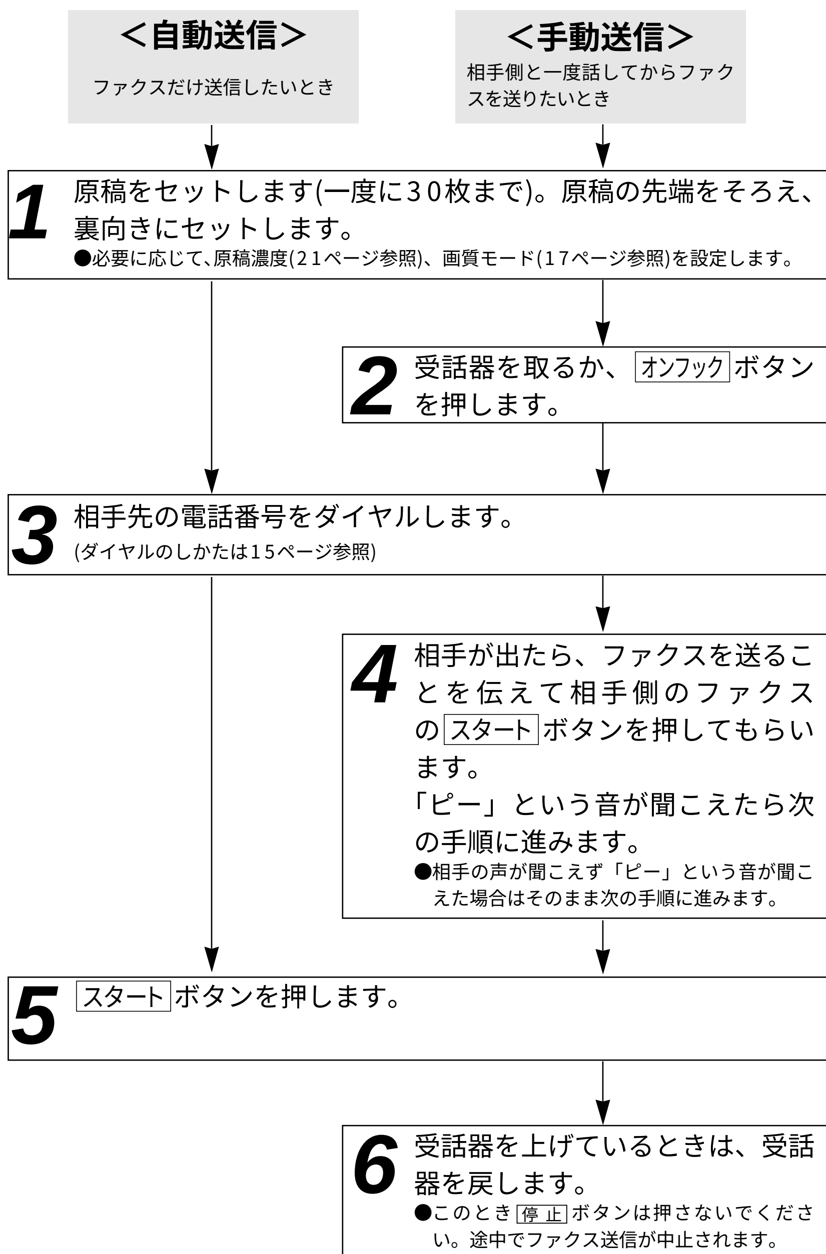
●送信やコピーがすでに始まっているときは、まず送られていない原稿を取り除き、停止ボタンを押してください。ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲと表示されたらもう一度停止ボタンを押してください。送信やコピーが中断され原稿が排出されます。

お願い

●キャリアシートを使用するときは、折り目側を先端にして1枚ずつセットしてください。
●原稿を強く押し込みすぎると複数枚の原稿が一度に送られたり、原稿づまりになることがありますのでご注意ください。
●異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
●原稿は1枚ずつ送られますので、クリップ、ホチキスの針などは必ず外してください。
●A5サイズの原稿をセットするときは、原稿づまりを防ぐため、専用のキャリアシートをご使用になるか、原稿の読み取りが終わるまで、原稿を手で押さえてください。

ファクスを送信する

ファクスを送るときの操作は自動送信と手動送信の2通りがあります。



メ　モ ●海外へ送信するときは、回線の状況や地域等により正常に通信できない場合があります。このようなときは海外送信モード(41ページ参照)を設定してください。通信エラーが少なくなります。

■送信を途中で止めるときは

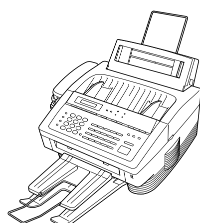
[スタート]ボタンを押す前で送信前ならば、受話器を戻すか[オンフック]ボタンを押します。[スタート]ボタンを押した後、途中で止めたいときは[停止]ボタンを押します。まだ原稿が繰り込まれていないときは原稿を取り除いてください。原稿が繰り込まれているときは[ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ]と表示されますので再び[停止]ボタンを押し、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

■[オンフック]ボタンを押してダイヤルしたとき

送信先の相手の声が聞こえたら、受話器を取って相手にファクスを送信することを伝え[スタート]ボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたら[スタート]ボタンを押してから、受話器を戻します。

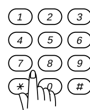
メ　モ **ダイヤルのしかた**

送信や電話をかけるときのダイヤルのしかたには、次の4つの方法があります。



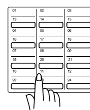
ダイヤルボタンで

ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押してダイヤルします。



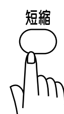
ワンタッチダイヤルで

ワンタッチボタン[01]～[24]を押し登録されている電話番号にダイヤルします。



短縮ダイヤルで

[短縮]ボタンを押して短縮番号[00]～[99]をダイヤルボタンで入力します。



電話帳で

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている相手先名称をディスプレイ上で検索し、そのままダイヤルします。(64ページ参照)



メ　モ　**受信中またはメモリ送信中に送信予約をしたいとき**

ファクスの受信中のときやメモリ送信中（23ページ参照）のときでも、送信設定ができます。受信やメモリ送信が終了すると自動的に送信します。

1 原稿をセットします。

```
ﾀﾞｲﾔﾙ/ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

3 [スタート]ボタンを押します。




```
ｾｯﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

4 [セット]ボタンを押します。
受信が終了すると、自動的に送信を始めます。




```
ｿｳｼﾝ ﾖﾔｸ ｶｸﾃｲ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

■送信予約を解除するには

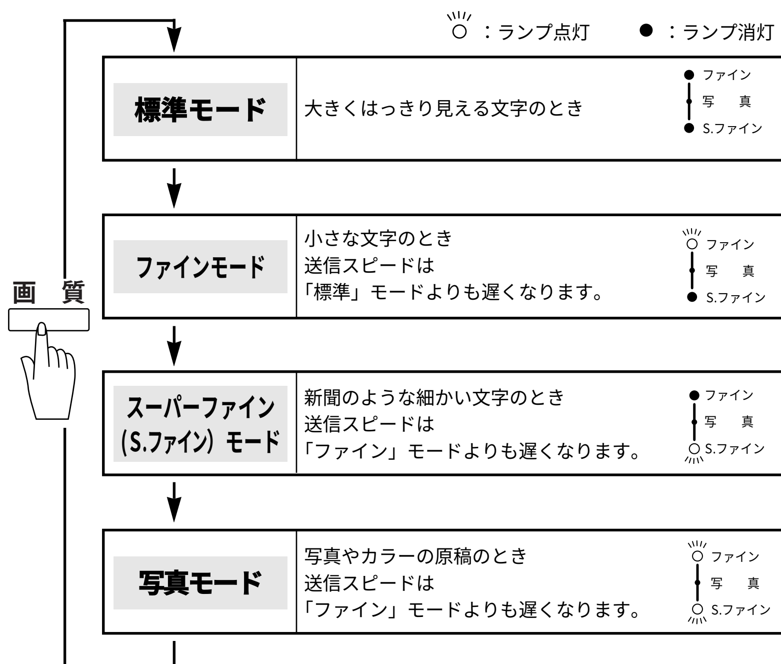
原稿を取り除き[停 止]ボタンを押してください。

お願い

- タイマ送信・ポーリング送信待機中で原稿がセットされているとき、または割り込み機能がはたらいているときは、送信予約はできません。
- 送信予約のときは、ページごとの画質モードの設定はできません。
- 電話帳またはグループダイヤルを使用しての送信予約はできません。(ダイヤルボタンで普通どおりにダイヤルするか、ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルを使用してください)

原稿に合わせて、画質モードを選ぶ

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定し送信やコピーを行います。
通常の原稿を送信やコピーするときには「標準」モードに設定されていますので、特にこの設定をする必要はありません。画 質 ボタンを押すごとに下図のようにモードが変わります。



1 原稿をセットします。

2 画 質 ボタンを押します。

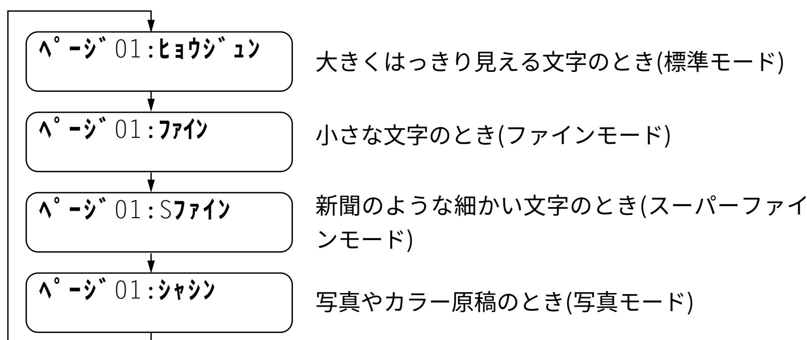
画質モードの設定は、1回の送信やコピーが終了すると、自動的に「標準」モードに戻ります。



メ　モ
- 原稿がセットされていないと[画質]ボタンを押すことはできません。
- 「標準」モードに比べ、「ファイン」、「S.ファイン」、「写真」モードで送ると送信時間が長くかかります。
- コピーのときは、「標準」モードでも自動的に「S.ファイン」モードに切り換わります。
- 「S.ファイン」モードで写真やカラー原稿をコピーすると、配色などによって部分的にコピーできなかったり、黒くコピーされることがあります。その場合は「写真」モードでもう一度コピーし直してください。
- 「写真」モードの送信で相手機が「標準」モードしかない場合は、画質が劣化します。
- 「S.ファイン」モードで送信しようとしても、相手機の受信レベルに合わせて「ファイン」モードで受信されることがあります。
- ページごとにモードを変えて送信したいときは次の「ページごとに画質モードを設定する」を参照してください。

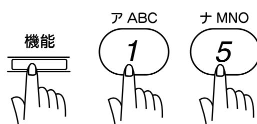
ページごとに画質モードを設定する

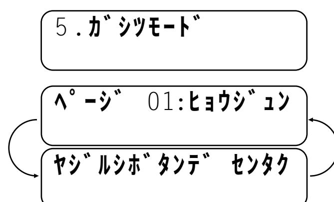
1ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときなど、ページごとに画質モードを設定し、ファクスを送信したりコピーすることができます。



1 原稿をセットします。

2 [機能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[1][5]を押します。





3

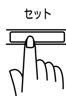
◄／►ボタンで1ページ目の画質を選びます。

【例】「ファイン」に設定するとき

ﾍﾟｰｼﾞ01:ﾌｧｲﾝ

4

セットボタンを押します。

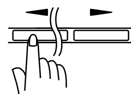


ﾍﾟｰｼﾞ02:ﾌｧｲﾝ

●2ページ目の画質の設定を促す表示になります。

5

◄／►ボタンで2ページ目の画質を選びます。



ﾍﾟｰｼﾞ02:ﾌｧｲﾝ

●最後の原稿まで手順4と5を繰り返します。最後の原稿になったら、手順6に進みます。

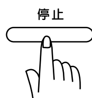
6

セットボタンを押します。

7

停 止ボタンを押します。

設定が終了します。



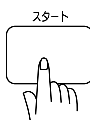
8

相手先の電話番号をダイヤルします。

ダイヤルのしかたは15ページを参照してください。

9

スタートボタンを押します。

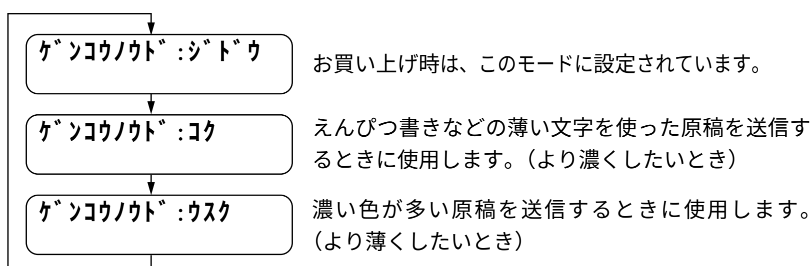


メ　モ

- ●原稿がセットされていないと画質モードを設定することはできません。
- ●「標準」モードに比べ、「ファイン」、「S.ファイン」、「写真」モードで送ると送信時間が長くかかります。
- ●コピーのときは、「標準」モードでも自動的に「S.ファイン」モードに切り換えます。
- ●「ファイン」モードで写真やカラー原稿をコピーすると、配色などによっては部分的にコピーできなかったり、黒くコピーされることがあります。その場合は、「写真」モードでもう一度コピーし直してください。
- ●「写真」モードの送信で相手機が「標準」モードしかない場合は、画質が劣化します。
- ●「S.ファイン」モードで送信しようとしても、相手機の受信レベルに合わせて「ファイン」モード受信されることがあります。

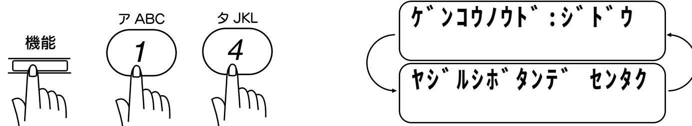
原稿濃度を設定する

原稿の濃さに合わせてセットします。
通常の原稿ではファクスが自動的に濃度を調整しますので、特にこの設定をする必要はありませんが、特に濃い濃度や薄い濃度の原稿を送信やコピーするときは、次の手順で設定を変更します。

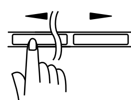


1 原稿をセットします。

2 [機 能]ボタンを押して、ダイヤルボタン[1][4]を押します。



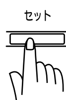
3 [◄]／[►]ボタンで濃度を選びます。
【例】「コク」に設定するとき



ｹﾞﾝｺｳﾉｳﾄﾞ:ｺｸ

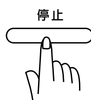
4

セットボタンを押します。



5

停止ボタンを押します。
設定が終了します。



原稿濃度の設定は、1回の送信やコピーが終了すると、自動的に「ジドウ」に戻ります。

全部の原稿を読み込んでから送信する[メモリ送信]

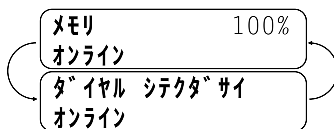
メモリ送信は、原稿をいったんメモリに読み込んでから、自動的に送信します。機密書類や原稿がすぐに必要なときなど、送信が終わるまで待つ必要がありません。

＜メモリ送信のしかた＞

1 原稿をセットします。

2 メモリ送信 ボタンを押します。

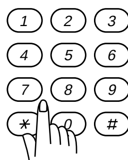




●使用可能なメモリ量を表示します。

3 送信先の電話番号をダイヤルします。

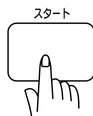
【例】ダイヤルボタンでダイヤルしたとき



052811△△11
ｵﾝﾗｲﾝ

4 スタート ボタンを押します。

原稿の読み込みが始まります。



ﾒﾓﾘ 100%
ｵﾝﾗｲﾝ

すべての原稿が読み込まれるとダイヤルし、自動的に送信を始めます。

ﾒﾓﾘ 85%
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｿｳｼﾝ ﾁｭｳ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

●送信中のページが表示されます。

メ　モ **［ﾒﾓﾘ ｹﾞﾝｶｲ］とディスプレイに表示されたら送信用メモリがいっぱいの状態です。**

●1ページ目を読み込み中に表示されたときは

［ﾒﾓﾘ ｹﾞﾝｶｲ］と［ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ］が交互表示されます。
［停止］ボタンを押してメモリ送信を中止します。原稿が排出されます。

●2ページ目以降を読み込み中に表示されたときは

最初の数秒間［ﾒﾓﾘ ｹﾞﾝｶｲ］と表示した後に、［ｿｳｼﾝ→［ｽﾀｰﾄ］］と［ﾄﾘｹｼ→［ﾃｲｼ］］が交互表示されます。

読み込みが終了したページまでを送信するときは［スタート］ボタンを押してください。メモリ送信を中止するときは［停止］ボタンを押してください。

Ａ４判７００字程度の原稿を標準的画質（８ドット×３.８５本／mm）で７０枚までメモリに蓄積することができます。ただし、メモリが音声メッセージなどに使用されている場合は、蓄積できる枚数が少なくなります。

＜メモリ送信の中断のしかた＞

以下の手順でメモリ送信や順次同報送信を中断します。

原稿を読み込み中に中断するとき	原稿読み取り終了後、またはダイヤル中に中断するとき	ダイヤル終了後および送信中に中断するとき
ﾒﾓﾘ　85% ｵﾝﾗｲﾝ ［停止］ボタンを押します。 ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｵﾝﾗｲﾝ ［停止］ボタンを押します。 ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ｵﾝﾗｲﾝ 原稿が排出されます。	ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ ｵﾝﾗｲﾝ ［停止］ボタンを押します。	ｿｳｼﾝ ﾁｭｳ　P01 ｵﾝﾗｲﾝ ［停止］ボタンを押します。 ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ ｵﾝﾗｲﾝ ダイヤルボタン［1］を押します。 ﾃｲｼｶﾞｵｻﾚﾏｼﾀ ｵﾝﾗｲﾝ 送信を中断します。

同じ原稿を数箇所に送信する[順次同報送信]

同じ原稿を、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳・グループダイヤルで最大124箇所の送信先を指定して、原稿を一度メモリに読み込んでから順番にメモリ送信させることができます。

1 原稿をセットします。

2 メモリ送信 ボタンを押します。



3 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤル(ワンタッチボタンにグループとして登録してあるとき取扱説明書<セットアップ編>32ページ参照)を使って、送信先を送りたいだけ順に入力します。

●ワンタッチボタンで入力するとき(ワンタッチボタンにグループとして登録してあるときも同じ)ワンタッチボタン 01 ～ 24 を押す。

●短縮ダイヤルから入力するとき
短縮 ボタンを押し、ダイヤルボタンで短縮番号00～99を入力する。

●電話帳で検索して入力するとき
電話帳 →(相手先名称の最初の一文字を入力)→ ◄ ／ ► → 電話帳

●名前が登録されている場合は名前がディスプレイに表示され、名前が登録されていない場合は電話番号が表示されます。

4 スタート ボタンを押します。

原稿の読み込みを開始します。読み込みが終了すると自動的に指定したすべての相手先に送信を始めます。



すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートがプリントされます。

■プリント例

ﾄﾞｳﾎｳ ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ : ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

ﾍﾟｰｼﾞ	01

ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
01-15	15:12	ｽｽﾞｷﾏｺﾄ	44	01	OK	ECM
01-15	15:13	ﾜﾀﾅﾍﾞｽｽﾑ	30	00	ｷｬﾝｾﾙ	
01-15	15:15	ﾋｸﾞﾁﾏﾐ	54	00	ｴﾗｰ	
01-15	15:17	ｱｵｷﾅｵﾔ	43	01	OK	ECM
01-15	15:18	ｺｼﾞﾏﾕｶ	44	01	OK	ECM
01-15	15:20	ﾌｸｼﾏﾐｷﾔ	43	01	OK	ECM
01-15	15:21	ｻｶｲﾔｽｵ	43	01	OK	ECM
01-15	15:23	ﾃﾆｽｽｸｰﾙ	43	01	OK	ECM
01-15	15:24	ﾎﾝｺﾞｳﾀﾞｲｽｹ	44	01	OK	ECM

SO : ｿｳﾌｼｮ

メモ

- ●順次同報送信では、ダイヤルボタンを使って送信先を指定することはできません。
- ●送信先を重複して指定したときは、スタートボタンを押すと自動的に重複している分を削除します。
- ●送信先を間違えたときは、停止ボタンを押して最初から入力し直してください。
- ●中断のしかたは、メモリ送信の中断のしかた(24ページ)を参照してください。

複数の種類の原稿を数箇所に送信する[マルチ送信]

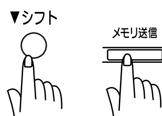
複数の種類の原稿を原稿ごとに送信先を変えて、自動的にメモリ送信することができます。すべての送り先の原稿をメモリに読み込んだ後、順番に送信を開始します。

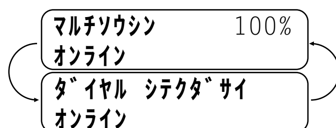
＜マルチ送信のしかた＞

原稿 A をｴｲｷﾞｭｳ ﾀﾞｲ1 (052-825-△△11)、原稿 B をﾄｳｷｮｳｼﾃﾝ (03-3274-06△△)、原稿 C をｵｵｻｶｼﾃﾝ (06-245-6△△7)に送信するときは、次のようになります。

1 原稿 A をセットします。

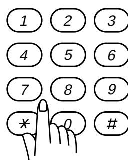
2 シフト ボタンを押しながら メモリ送信 ボタンを押します。





3 送信先の電話番号をダイヤルします。

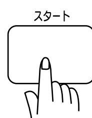
【例】ダイヤルボタンでダイヤルしたとき



052825△△11
ｵﾝﾗｲﾝ

●順次同報送信のときは、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳で指定します。

4 スタート ボタンを押します。
原稿の読み込みが始まります。



ﾏﾙﾁｿｳｼﾝ 100%
ｵﾝﾗｲﾝ

5 原稿 A の読み込みが終了してから30秒以内に原稿 B をセットします。

●30秒以内に次の原稿がセットされていないときは、次の原稿がないと判断し、ファクシミリは自動的に原稿の送信を開始します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

6 手順2から4を繰り返します。

ﾏﾙﾁｿｳｼﾝ 70%
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

03327406△△
ｵﾝﾗｲﾝ

7 原稿 B の読み込みが終了してから30秒以内に原稿 C をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

8 手順2～4を繰り返します。

ﾏﾙﾁｿｳｼﾝ 40%
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

062456△△7
ｵﾝﾗｲﾝ

●30秒後にダイヤルし、読み込みまれた順に自動的に送信を開始します。
●最後の原稿を読み込むときに、[シフト]ボタンを押さずに、[メモリ送信]ボタンだけを押すと30秒待たずに送信を開始します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｿｳｼﾝ ﾁｭｳ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

メ モ
●同じ原稿を複数の相手に送信する順次同報送信機能と組み合わせると、異なる原稿を複数の相手に順番に送信することができます。
●マルチ送信は、タイマ送信(72ページ参照)を含めて異なる3種類の原稿まで送信することができます。例えばタイマ送信が1通信設定されていると、マルチ送信は2種類の原稿までしか送信できません。

メ　モ　送信を中断するには

●現在行われている送信を取り止めるときは
停 止 ボタンを押し、ディスプレイに カイジョ 1.スル 2.シナイ と表示されたらダイヤルボタン 1 を押します。

●まだ行われていない送信を取り止めるときは
送信動作を行っていないときは、89ページ「タイマ送信・ポーリング通信の解除のしかた」と同じ方法で行います。残っている送信を選択し、解除することができます。

メモリ ゲンカイ とディスプレイに表示されたら送信用メモリがいっぱいの状態です。

●1ページ目を読み込み中に表示されたときは
メモリ ゲンカイ と テイシ ヲ オシテクダサイ が交互表示されます。
停 止 ボタンを押してメモリ送信を中止します。原稿が排出されます。

●2ページ目以降を読み込み中に表示されたときは
最初の数秒間 メモリ ゲンカイ と表示した後に、 ツウシン→[スタート] と トリケシ→[テイシ] が交互表示されます。
読み込みが終了したページまでを送信するときは スタート ボタンを押してください。メモリ送信を中止するときは 停 止 ボタンを押してください。

● メモリ ゲンカイ 表示のままで60秒間経過したときは読み込みが終了したページまでを送信します。

同じ相手にもう一度送信する[再ダイヤル]

このファクシミリは最後にかけた電話番号を記憶しています。［再ダイヤル／ポーズ］ボタンで最後にかけた番号にもう一度ダイヤルできます。
ファクスを送信するときの手順は次の通りです。

1

原稿をセットします。(一度に30枚まで)
原稿の先端をそろえ、裏向きにセットします。
●必要に応じて、原稿濃度(21ページ参照)、画質モード(17ページ参照)を設定します。

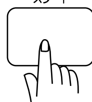
2

［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押します。
ディスプレイで番号を確認します。



3

［スタート］ボタンを押します。
送信を開始します。



受話器を取るか、［オンフック］ボタンを押して再ダイヤルすることもできます。ダイヤルボタンを押すかわりに［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押し、相手のファクシミリの「ピー」という受信音が聞こえたら［スタート］ボタンを押すと送信できます。

■自動再ダイヤルについて

自動送信(14ページ参照)またはメモリ送信(23ページ参照)でファクスを送信しようとしたが、相手が通話中などで送信できなかったときは3分後に自動的に再ダイヤルして送信します(自動送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください)。自動再ダイヤルは2回繰り返します。

メモ

- 自動再ダイヤルを2回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信確認レポートがプリントされます(126ページ参照)。ケッカの欄が「ハナシチュウ／オウトウナシ」であることを確認し、再度送信し直してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信またはメモリ送信時のみはたらく機能です。手動送信時は前ページの手順のように［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押して再ダイヤルします。
- 自動送信の自動再ダイヤルを解除したいときは、［停止］ボタンを押してください。
- メモリ送信の自動再ダイヤル解除については、89ページを参照してください。

送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などを印字した送付書を、自動的に原稿といっしょに送信することができます。
送付書は下のような書式になっています。

98-01-15-15:25

=== ｿｳﾌｼｮ ===

TO: ｼﾐｽﾞ ｹｲﾐ
FAX: 052 825 △△11

FROM: ｽｽﾞｷｹｲｺ
FAX: 052 811 5△△1
TEL: 052 824 △△55

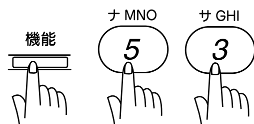
ｺﾒﾝﾄ: ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ

書式を確認するときは、123ページの「送付書の書式をプリントする」を参照してください。

＜送付書送信の設定のしかた＞

この方法で送付書送信の設定をすると、ファックス送信をするたびに相手に送付書が送られます。

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 5 3 を押します。



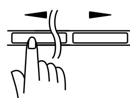
3.ｿｳﾌｼｮ ON/OFF

ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ:OFF

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

2 ◄／► ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。

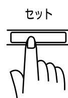
【例】送付書を付ける(ON)に設定するとき



ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ:ON

3 セット ボタンを押します。◄／► ボタンでコメントを選びます。

●送付書を付けない(OFF)に設定したときは手順5に進みます。
【例】 6にオリジナルコメントを登録するとき

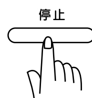


2.ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ

4 セット ボタンを押します。

5 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



メ モ

●送付書のコメントについて

下記の6種類のコメントから選びます。

1.(コメント　ナシ)	2.オデンワ　クダサイ	3.シキュウ
4.シンテン	5.(オリジナル　コメント)	6.(オリジナル　コメント)

5.6.のオリジナルのコメントは34ページを参照して登録してください。

●送付書の自動送信について

「この方法で送付書の設定をしたときは、送信枚数は送付書に印字されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印字されます。

●パスワードなど他人に知られたくない情報が送付書に残ることがありますので、パスワードなどを登録している場合は送付書を付けないでください。

お願い

●発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと「送付書送信の設定」ができません。(取扱説明書<セットアップ編>17、18ページ参照)

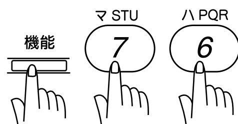
●送付書の「TO:　」の名前は、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。

送付書のコメントを登録する

送付書のコメント欄に載せる2種類のオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1

機能ボタンを押し、ダイヤルボタン7 6を押します。



6.ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ

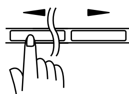
5.

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

2

◄／►ボタンで、オリジナルコメントを登録する箇所(5または6)を選びます。

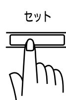
【例】6にオリジナルコメントを登録するとき



6.

3

セットボタンを押します。



6.

ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

4

ダイヤルボタンでオリジナルのコメントを入力します。

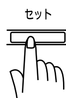
【例】「ゴクヒ」というコメントのとき

6.ｺﾞｸﾋ

●コメントは27文字まで入力できます。

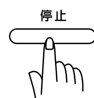
●文字入力のしかたは94～96ページを参照してください。

5 セット ボタンを押します。



6 停止 ボタンを押します。

コメントの登録が終了します。



メ　モ

- ●コメントを変更したいときは、手順1から操作して、再登録してください。
- ●コメント5または6を入れて送付書を送信したいときは、33ページの手順3で、コメント5または6を選択することを忘れないでください。

一時的に送付書を付けて送信する

32ページで「送付書を付けない(OFF)」に設定しているときに、一時的に送付書を付けて送信したいときは次の操作をしてください。

1 原稿をセットします。(一度に30枚まで)
原稿の先端をそろえ、裏向きにセットします。

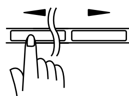
2 送付書 ボタンを押します。



1.ｺﾒﾝﾄ ﾅｼ
ｵﾝﾗｲﾝ

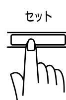
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ◄／► ボタンでコメントを選びます。
【例】「オデンワ　クダサイ」に設定するとき



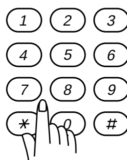
2.ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

4 セット ボタンを押します。



ﾏｲｽｳ?	:00
ｵﾝﾗｲﾝ	

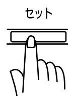
5 ダイヤルボタンで送信枚数を入力します。
【例】送信する原稿が2枚のとき



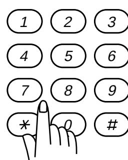
ﾏｲｽｳ?	:02
ｵﾝﾗｲﾝ	

●この場合は、送付書上に“02ページオクリマス”と表示されます。
●送付書の送信枚数の欄を空白にするときは、ダイヤルボタン 0 を2回押します。
●枚数入力後、2秒間経過すると自動的に手順7へ進みます。

6 セットボタンを押します。



7 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力します。



8 スタートボタンを押します。



メモ

●一時的に送付書を付けずに送信するには

32ページで「送付書を付ける(ON)」に設定しているときに、一時的に送付書を付けずに送信したいときは、原稿をセットして送付書ボタンを1回押すと送付書を付けずに送信することができます。

●送信枚数を訂正したいときは

クリアボタンを押して、入力し直します。

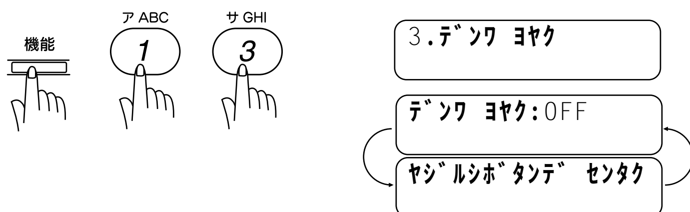
●パスワードなど他人に知られたくない情報が送付書に残ることがありますので、パスワードなどを登録している場合には送付書を付けないでください。

送信後に相手と話す[電話予約機能]

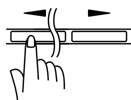
ファクスを送信し終わった後、相手と通話したいときに使用します。
ファクス送信が終わると、もう一度相手先の呼出音を鳴らし相手を呼び出します。相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴り、受話器を取って通話できます。
なお、伝言メッセージ機能も「ON」に設定すると、相手が電話に出なかったときは「オデンワ　クダサイ」という伝言メッセージを相手に送信することができます。

1 原稿をセットします。

2 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン1 3を押します。



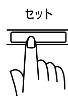
3 ◄／►ボタンを押して、「ON」を選びます。

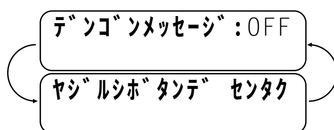


デ゛ンワ ヨヤク:ON

4

セット ボタンを押します。





●伝言メッセージの設定を促す表示になります。

5

◄ ／ ► ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】伝言メッセージ機能を「ON」に設定するとき

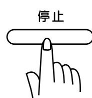
ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ:ON

6

セット ボタンを押します。

7

停 止 ボタンを押します。

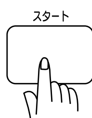


8

相手先の電話番号をダイヤルします。

9

スタート ボタンを押します。



ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｿｳｼﾝ ﾁｭｳ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

●送信が終了すると相手を呼び出します。

ｼﾞｭﾜｷｦ ｵﾄﾘｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

●相手が電話に出ると、本機の呼出音が鳴ります。受話器を取って通話します。

相手が電話に出なかったときは、次のような伝言メッセージを相手に送信します。

■伝言メッセージ

=== ﾃﾞﾝｺﾞﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ ===

TO: ｼﾐｽﾞ ﾋｻｺ
FAX: 052 825 △△11

FROM: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ 【TEL】 052 824 △△55
【FAX】 052 811 5△△1

メモ

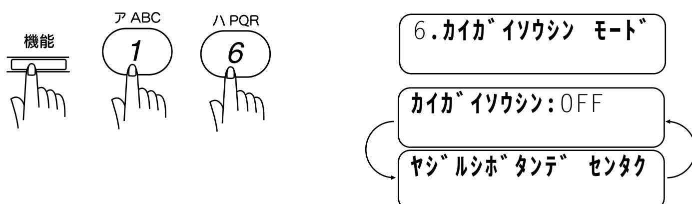
- ●相手先のファクシミリに電話予約機能がないと電話予約はできません。
- ●タイマ送信やポーリング送信のときは、電話予約はできません。
- ●再ダイヤルのときは、電話予約機能ははたらきませんが、自動再ダイヤルのときで、伝言メッセージ「ON」に設定されているときは伝言メッセージのみ送信します。
- ●**発信元データ(ファックス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと「伝言メッセージ機能の設定」ができません**。(取扱説明書<セットアップ編>17、18ページ参照)
- ●伝言メッセージの「TO:　」の名前は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにあらかじめ登録されていないと、表示されません。
- ●連続ダイヤルで登録したものを発信すると、パスワードなど他人に知らせたくない情報が伝言メッセージに残ることがありますので、パスワードなどを登録している場合は、伝言メッセージを付けないでください。

海外へ送信する[海外送信モード]

海外へ送信するときは、回数の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときは海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーになることが少なくなります。

1 原稿をセットします。

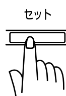
2 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 6 を押します。



3 ◄／►ボタンを押して、「ON」を選びます。

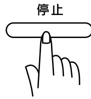


4 セットボタンを押します。



5 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



続いて、送信のための操作(14ページ参照)を行います。

メ　モ

●海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

●海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で相手の「ピー」という音を聞いてから スタート ボタンを押して送信してください。

お願い

MFC-4550Jは、お買い上げ時には、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本機の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、海外送信モードに設定してください。

●国際通信については下記の番号へお問い合わせください。

KDD：0057

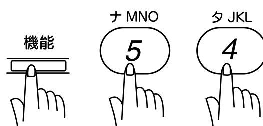
IDC　：0120-030061

ITJ　：0120-440041

エラー再送信機能を設定する

送信先のファクスに自動誤り再送(ECM)機能がないとき役立つ機能です。エラー再送信機能を「ON」に設定すると送信中のノイズなどで受信状態の良くないページがあるときは、自動的にそのページのみもう一度送信し直します。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン5 4を押します。



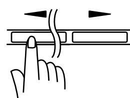
4.ｴﾗｰ ｻｲｿｳｼﾝ

ｴﾗｰｻｲｿｳｼﾝ:OFF

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

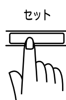
2 ◄／►ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「ON」に設定するとき



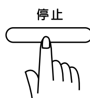
ｴﾗｰｻｲｿｳｼﾝ:ON

3 セットボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。

設定が終了します。



メ モ ●エラー再送信機能は、メモリ送信、順次同報送信、マルチ送信したときだけはたらきます。

■ECM通信について

ECM(Error Correction Modeの略称)とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方法によるる通信モードのことで、通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直しますので、画像の乱れのない通信を行うことができます。

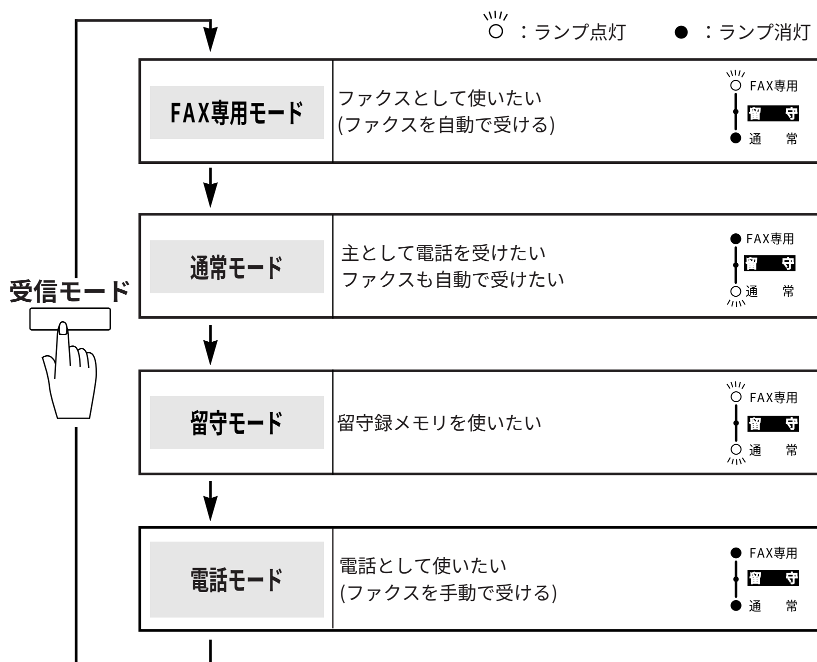
- 送信側・受信側ともECM機能を持っていないとECM通信は行われません。
- ECM通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
- ECM通信を行っても、回線の状況によってエラー終了することがあります。

3章

受信のしかた

受信のしかたを選ぶ

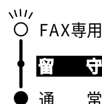
本機の使用用途に応じて、4つの受信モードを選びます。
受信モードは［受信モード］ボタンを押して切り換えます。押すごとに下図のようにモードが変わります。
お買い上げ時は「FAX専用モード」に設定してあります。

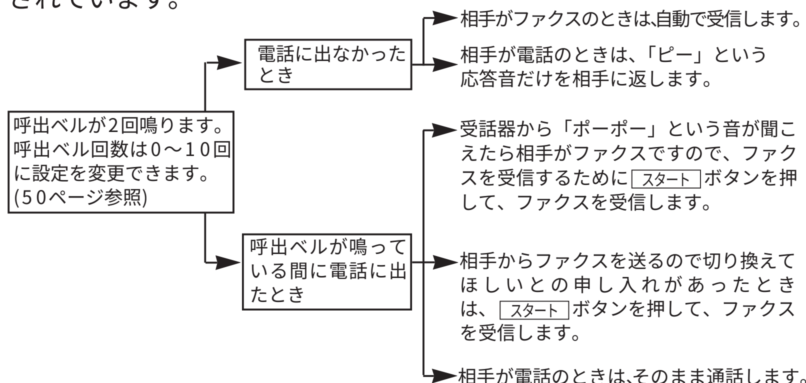


<FAX専用モード>

「ファクスとして使いたい(ファクスを自動で受ける)」

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。





メ　モ

- FAX専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話を主にお使いになるときは、FAX専用モードに設定しないでください。
- 呼出ベル回数は、0～10回まで変更することができます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信(ノンコール着信)することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出ベル回数を0回か1回に設定してください。(呼出ベル回数の設定のしかたは、50ページを参照してください)

＜通常モード＞

「主として電話を受けたい、ファクスも自動で受けたい」

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。



呼出ベルが2回鳴ります。呼出ベル回数は0〜10回に設定を変更できます。(50ページ参照)

→ 電話に出なかったとき

→ 相手がファクスのときは、自動的に受信します。

→ 相手が電話のときは、次のような応答メッセージを相手に返します。（F/T応答メッセージ）

この電話は電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音の後に送信してください。

→ 本機が「トゥルル、トゥルル」とベルを鳴らしますので(F/T切換ベル)、受話器を取ってお話ください。（このベルの鳴っている時間をF/T切換時間と呼びます）

※F/T切換時間が終了すると、自動的にファクス受信状態になります。

→ 呼出ベルが鳴っている間に電話に出たとき

→ 受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート ボタンを押して、ファクスを受信します。

→ 相手からファクスを送るので切り換えてほしいとの申し入れがあったときは。スタート ボタンを押して、ファクスを受信します。

→ 相手が電話のときは、そのまま通話します。

メ モ

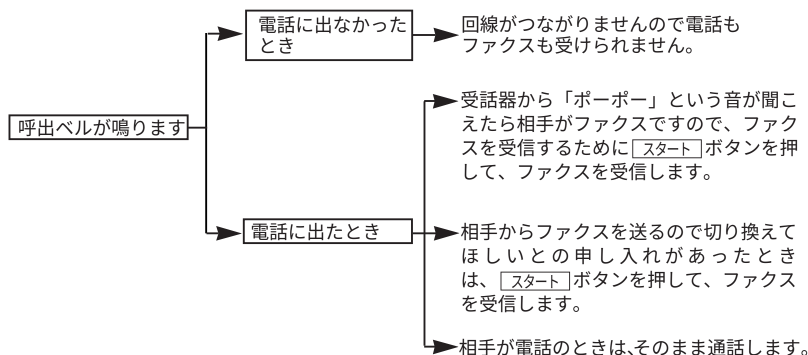
- 通常モードでは、電話に出なかったときでも、相手に通話料金がかかります。
- F/T切換ベルが鳴る時間は10・20・30・60秒に設定することができます。(F/T切換時間の設定のしかた：51ページ参照してください)
- 相手が電話のときのF/T応答メッセージは、お客様の声に変更できます。詳しい録音のしかたの手順については、52ページを参照してください。
- 相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを確認して、スタート ボタンを押してください。
- 外付電話機を接続しているときは、外付電話機の呼出ベルもいっしょに鳴ります。呼出ベルが鳴っている間に外付電話機で電話に出ると通話やファクス受信ができます。(55ページの「外付電話機からファクスを受信させる[リモート起動のしかた]」を参照してください)
- 相手が自動送信のファクスのときは、呼出ベル(7〜10回)が鳴っている間に相手機が電話を切ってしまうことがあります、このようなときは呼出ベル回数を6回以下に設定してください。(50ページの「呼出ベル回数を設定する」を参照してください)
- 親子電話、パラレル接続、ブランチ接続の場合、電話モードでご使用ください。

＜電話モード＞



「電話として使いたい(ファクスを手動で受ける)」

相手を確認してから[スタート]ボタンを押して、ファクスを受信します。本機を主に電話としてお使いになる方に適したモードです。



メ　モ

- ●相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して、[スタート]ボタンを押してください。
- ●外付電話機で電話に出たときも、ファクス受信することができます。(55ページ参照)
- ●タイマ送信やポーリング送信設定していない原稿がセットされていると、受信できませんので、原稿を取り除いてから[スタート]ボタンを押してください。

メ　モ

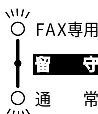
キャッチホンの受けかた

- ●NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされているかたは、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます。(局番なしの116番にお問い合わせください)

1. キャッチホンがかかってくると、通話中に「プップッ」という音が聞こえますので、その時に、受話器受けのフックを軽く押すと、新しくかかってきた相手の電話につながります。
2. 最初の相手に戻るときは、もう一度フックを軽く押します。

- ●ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をおすすめします。

＜留守モード＞　➡　131ページ参照



「留守録メモリを使いたい」

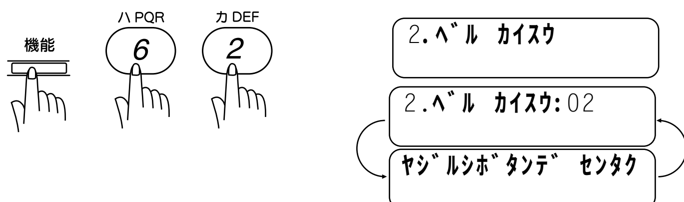
留守中にかかってくる電話や送信されてくるファクスを留守録メモリで録音・記憶します。

留守録メモリの設定により、留守録お知らせ機能やファクス転送機能などの便利な機能が使えます。詳しくは7章(131ページ以降)を参照してください。

呼出ベル回数を設定する

「FAX専用モード」、「通常モード」のとき、自動受信したり、応答メッセージが流れるまでの呼出ベル回数を設定します。(48ページ参照)

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン6 2を押します。

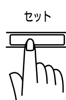


2 ◄／►ボタンで呼出ベル回数を選びます。

【例】ベル回数を3回に設定するとき

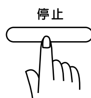


3 セットボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。

設定が終了します。

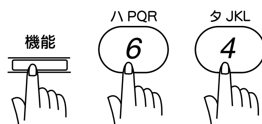


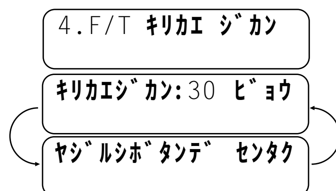
メモ
- 呼出ベル回数は0～10回まで設定できます。お買い上げ時の設定は2回です。
- 「FAX専用モード」や「通常モード」のとき、外付電話機や並列接続された電話機の呼出ベルも同様に、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。

F/T切換時間を設定する[通常モード]

受信モードが「通常モード」のとき、F/T切換ベル(48ページ参照)が鳴る時間を設定します。

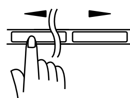
1 機 能ボタンを押し、ダイヤルボタン6 4を押します。





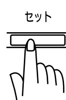
2 ◄／►ボタンでF/T切換時間を選びます。

【例】切換時間を20秒に設定するとき



キリカエジカン:20 ビョウ

3 セットボタンを押します。



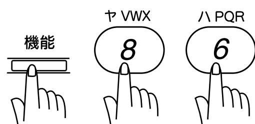
メ モ ●F/T切換ベルの鳴る時間は、10秒、20秒、30秒、60秒の4種類から選べます。お買い上げ時の設定は「30秒」です。

F/T(通常モード)応答メッセージを録音する

＜F/T応答メッセージの録音のしかた＞

F/T応答メッセージを録音します。メッセージの録音時間は２０秒以内です。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン８６を押します。

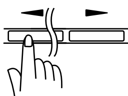


6.オウトウ メッセージ

ヨウケン オウトウ

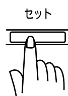
ヤジルシボタンデ センタク

2 ◄／►ボタンで「F/Tオウトウ　メッセージ」を選びます。



F/Tオウトウ メッセージ

3 セットボタンを押します。



ロクオン/ショウキョ/サイセイ?

4 録音ボタンを押します。

受話器を取って、メッセージを録音します。



ジュワキヲ オトリクダサイ

●メッセージは最長２０秒間録音できます。

オウトウロクオン:15/20

●録音時間の経過時間を表示します。上記は１５秒経過したことを表示しています。

5 録音が20秒前に終わったときは[停止]ボタンを押すか、受話器を戻します。20秒経過すると自動的に録音が終了します。

録音が終わると自動的に録音されたメッセージを再生します。再生を途中で止めるときは[停止]ボタンを押します。

再生が終了したら[停止]ボタンを押します。

メモ

- 本機には、F/T(通常モード)応答メッセージが登録されています。この機能はオリジナルの応答メッセージを録音したいときにお使いください。
- オリジナルの応答メッセージを登録しないと、あらかじめ登録されている応答メッセージが流れます。
- メッセージを録音し直したいときやメッセージを変更したいときは、手順①から操作してください。
- 応答メッセージには、用件応答(留守番)メッセージ(7章「留守録メモリ」を参照)とF/T(通常モード)応答メッセージの2つがあります。

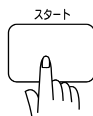
ファクスを受信する[呼出ベルが鳴っている間に受話器を取ったとき]

呼出ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

原稿をセットしたままでは受信できません。
原稿を取ってください。

1 呼出ベルが鳴ったら、受話器を取ります。

2 ファクスに切り換えることを相手に伝えて スタート ボタンを押します。



3 受話器を戻します。

■電話に出なかったときは

受信モードの設定により異なります。46〜49ページの受信モードを参照して、使用用途に合ったモードを設定してください。

■「ポーポー」という音が聞こえたら

受話器をとったとき「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスを自動送信しているときです。 スタート ボタンを押してファクスを受信します。

お願い

- ●相手が自動送信のファクスのときは、呼出ベル(7回〜10回)が鳴っている間に、相手が電話を切ってしまうことがあります、このようなときは呼出ベル回数を6回以下に設定してください。(50ページの「呼出ベル回数を設定する」を参照してください)
- ●相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して、 スタート ボタンを押してください。
- ●FAX専用モード(47ページ)で呼出ベル回数を0回(ノンコール着信)に設定したときは動作が異なります。留守モード(49ページ)に設定したときも同様に動作が異なります。

外付電話機からファクスを受信させる［リモート起動のしかた］

外付電話機で電話に出たときに、ファクスが送られてきたり、ファクスに切り換えてほしいと依頼があったときは、次の手順でファクスを受信(リモート受信)します。
お買い上げ時は「OFF」に設定してあります。

■リモート受信コードについて

本機の「EXT.」端子に接続されている外付電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

■リモート停止について

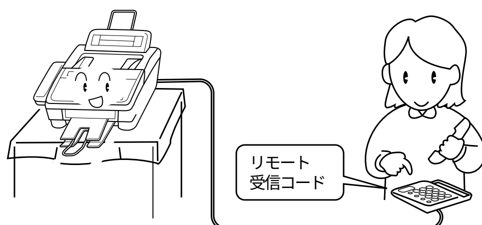
本機と並列接続された電話機の操作により、先に本機が取った回線を並列接続された電話機に切り換えるときに使用します。
本機の受信モードが「通常モード」のときに、本機だけが「トゥルル、トゥルルル」と鳴っている(F/T切換ベル)ときや、「留守モード」のときの用件応答(留守番)メッセージが流れているときまたは相手が音声メッセージを入れているときに、並列接続された電話機で通話をしたいときは、並列接続された電話機からリモート停止コードをダイヤルすると、F/T切換ベルの鳴動が停止するかまたは用件応答メッセージが停止し、回線を切り換え、相手と話すことができます。(外付電話機ではリモート停止をさせることはできません)
リモート停止コードは、お買い上げ時は「＊51」に設定されています。

メ モ

- ●この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- ●外付電話機の接続方法は取扱説明書<セットアップ編>9ページの「外付電話機の接続をする」を参照してください。
- ●外付電話機から電話をかけたときは、リモート受信できません。また外付電話機以外の電話ではリモート受信はできません。

外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート受信コードを入力します。
受話器は約5秒後に戻してください。

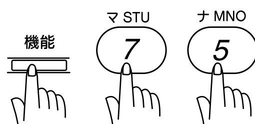
本機がファクス受信を始めます。



なお、上記のようにリモート受信を使用するときは、リモート起動設定を「ON」にする必要があります。以下の手順で設定してください。また、リモート受信コードとリモート停止コードを自分の好きな番号に変更することもできます。

＜リモート起動設定のしかた＞

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 5 を押します。

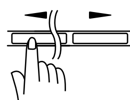



```
5.ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ
```

```
ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ:OFF
```

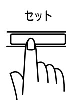
```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

2 ◄／► ボタンを押して、「ON」を選びます。



```
ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ:ON
```

3 セット ボタンを押します。




```
ﾘﾓｰﾄｼﾞｭｼﾝID:#51
```

●リモート受信コード(3桁)を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。
●変更しないときは、次に進みます。
●2秒経過すると自動的にセットされ、リモート停止コードの入力を促す表示になります。

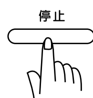
4 セット ボタンを押します。

```
リモートテイシID:*51
```

●リモート停止コード(3桁)を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。
●変更しないときは、次に進みます。
●2秒経過すると自動的にセットされ、手順6に進みます。

5 セット ボタンを押します。

6 停止 ボタンを押します。



■送信側からの操作により、ファクス受信に切り換える

送信先にリモート受信コードを知らせておけば、「通常モード」や「留守モード」のときに相手が手動送信でファックスを送ろうとしている場合、送信先のファクシミリからの操作により本機にファクス受信させせることができます。

メモ
●トーン(PB)信号が送出できない電話機「ダイヤル回線」をお使いの方でリモート起動するとき
電話がかかってきたときの、外付電話機からのリモート受信のみ操作できます。その場合、リモート受信コードの下2桁がリモート受信コードとなります。たとえば「#51」のときは「51」がリモート受信コードとなります。なお、下2桁に「#」または「*」を登録すると、リモート受信できませんのでご注意ください。
●トーン(PB)信号を送出できない電話機からのリモート停止はできません。

縮小受信のしかた

＜自動縮小受信＞

Ａ４の長さを超える原稿が送信されてきたときは、Ａ４サイズの記録紙に入り切らず２枚に分かれてしまうため、自動的にＡ４サイズの記録紙に収まるように縮小して印字する機能です。
送信原稿の長さに応じ自動的に縮小率を決め、約３５５mmまでの原稿を１枚に縮小受信します。約３５５mmを超えた原稿は縮小せずに２枚に分けて受信します。

①縮小率が「ジドウ」に設定してある場合

原　稿	記録紙	備　考
210 mm以下 約290 mm以下	210 mm 297 mm A4	１枚の記録紙に等倍で記録される。短い原稿の場合は余白が付加される。
210 mm以下 約355 mm以下	210 mm 297 mm A4	２９０ mmより長く約３５５mmより短い原稿を受信した場合は、１枚の記録紙に収まるように自動的に縮小記録します。
210 mm以下 約355mm以上	210 mm 297 mm A4 297 mm A4	約355 mmより長い原稿を受信した場合は、２枚の記録紙に分割して等倍で記録します。

メ　モ
●原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
●メモリ残量が少ないとき、原稿が複雑なときは自動縮小されない場合があります。
●自動縮小受信するときは、固定縮小受信の縮小率を「ジドウ」に設定してください。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

＜固定縮小受信＞

送信されてきた原稿の長さに関係なく、固定の縮小率で印字する機能です。
縮小率は「ジドウ」・「１００%」・「９３%」・「８７%」に設定することができます。
お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

①　縮小率が「１００%」に設定してある場合

原　稿	記録紙	備　考
210 mm以下 約290 mm以下	210 mm 297 mm A4	約290 mmより短い原稿を受信した場合は、等倍（100 %）で1枚に記録します。 約290 mmより長い原稿を受信した場合は2枚の記録紙に分割して等倍で記録します。

②　縮小率が「９３%」に設定してある場合

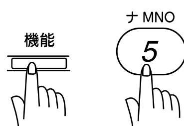
原　稿	記録紙	備　考
210 mm以下 約300 mm以下	210 mm 297 mm A4	約300 mmより短い原稿を受信した場合は、93 %縮小で1枚に記録します。 約300 mmより長い原稿を受信した場合は、2枚の記録紙に分割して93 %縮小で記録します。

③　縮小率が「８７%」に設定してある場合

原　稿	記録紙	備　考
210 mm以下 約320 mm以下	210 mm 297 mm A4	約320 mmより短い原稿を受信した場合は、87 %縮小で1枚に記録します。 約320 mmより長い原稿を受信した場合は、2枚の記録紙に分割して87 %縮小で記録します。

＜縮小率の設定のしかた＞

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 5 を2回押します。



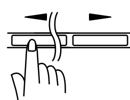
5.シュクショウリツ

5.シュクショウリツ:ジドウ

ヤジルシボタンデ センタク

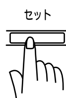
2 ◄／►ボタンを押して、縮小率を選びます。

【例】93%に設定するとき



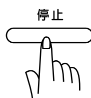
シュクショウリツ:93%

3 セット ボタンを押します。



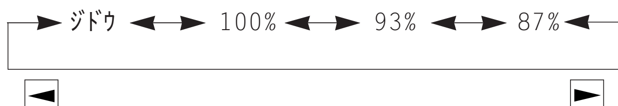
4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



メ モ

●縮小率を選ぶときのディスプレイ表示は◄／►ボタンで下記のように変わります。

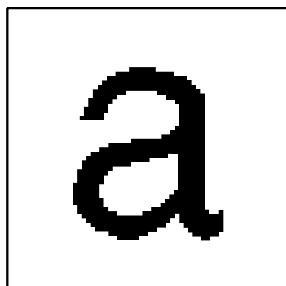


●縮小率100%に設定すると、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのようなときは、縮小率をジドウに設定してください。

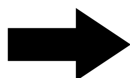
見やすく受信する［スムージング記録］

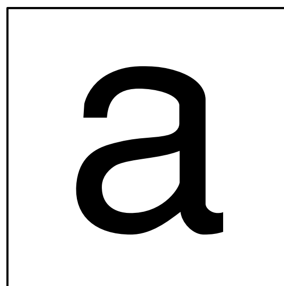
スムージング記録をする(ON)に設定すれば、「標準」、「ファイン」モードで送信されてきた原稿の線や文字のギザギザを補正し、滑らかな線や文字で見やすく受信します。

＜スムージング記録する／しないの例＞



スムージング記録をしない（ＯＦＦ）





スムージング記録をする（ＯＮ）

＜スムージング記録の設定のしかた＞

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン5 1を押します。



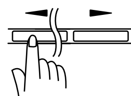
1.ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ｷﾛｸ

ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ:ON

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

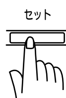
2 ◄／►ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。

【例】スムージング記録をしない(OFF)に設定するとき



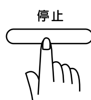
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ:OFF

3 セット ボタンを押します。



4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



メモ

スムージング記録について

- ●送信されてくる原稿が設計図面など垂直に交わる直線が多い場合は、スムージング記録をしない(OFF)に設定してください。
- ●「S.ファイン」モードで送信されてきた場合は、スムージング記録ははたらきません。
- ●送信するファクスやプリントするリスト・レポートには、スムージング記録ははたらきません。

メモリ代行受信

記録紙がなくなったときは、送られてきたファクスを自動的にメモリに記憶します（メモリ代行受信）。新しい記録紙をセットすると自動的にプリントします。
ディスプレイに キロクシ カクニン と表示されますので、早めに新しい記録紙をセットしてください。記録紙をセットするとメモリが代行受信したファクスを自動的にプリントします。

お願い

- ●停電があったり、電源が切れて数時間たったときは、メモリで代行受信した内容は消えます。
- ●メモリがいっぱいになると、それ以降は代行受信できません。

メモ

- ●プリントされたファクスはメモリから消去されます。
- ●記録紙がつまるなどのプリントできない状態になったときも、メモリで代行受信します。
- ●メモリのバックアップ用バッテリーの満充電には、電源コードを差し込んでから2〜3日が必要です。満充電では停電になっても数時間はメモリに記憶されたメッセージは保持されます。

4章

便利な使いかた

電話帳の使いかた

あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称をディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手に電話をかけたり、ファクス送信することができます。

1

電話帳 ボタンを押します。




```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

2

探したい相手先名称の最初の１文字を入力します。
（文字入力のしかたは９４〜９６ページ参照）

（文字入力のしかたは９４〜９６ページ参照）

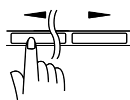
【例】「エイギョウダイ１」という相手先を探すとき「エ」と入力します。

```
ｴｲｷﾞｮｳｶ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

●入力した最初の１文字を含む５０音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。
●最初の１文字目にスペースを入れると検索することができません。

3

◄／► ボタンを押して、送信する相手の名前をディスプレイに表示させます。



```
ｴｲｷﾞｮｳﾀﾞｲ1
ｵﾝﾗｲﾝ
```

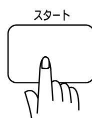
4

電話をかけるときは、受話器を取るか オンフック ボタンを押します。



5 スタート ボタンを押します。

●ファクス送信するときは、原稿がセットされていることを確認し、再度 スタート ボタンを押してください。



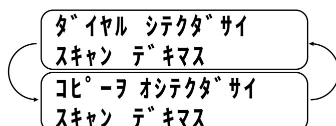
メ モ
●登録されている相手先名称を50音順・アルファベット順に並べ換えた電話帳リストをプリントすることができます。プリントのしかたは、122ページを参照してください。
●グループダイヤルはファクス送信専用ですので電話をかけることはできません。

コピーをする

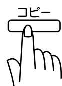
原稿を原稿挿入口にセットしてコピーします。一度に30枚までセットできます。
受話器を置いたままで操作します。

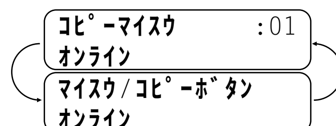
<1部だけコピーしたいとき>

1 原稿をセットします。



2 コピー ボタンを押します。





3 コピー ボタンを押します。
コピーを開始します。

コピーチュウ P01
オンライン

●5秒以内に押されないと、自動的にセットされ、コピーを開始します。

■コピー中に電話がかかってきたら

呼出音が鳴りますので受話器を取ると通話できます。

■途中で止めるときは

まだ繰り込まれていない原稿を取り、停止ボタンを押します。原稿が繰り込まれているときは ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ と表示されますので再び停止ボタンを押してください。自動的に排出されます。

メモ
- ●原稿の端から４mm以内の部分はコピーできません。コピーできる範囲は10ページの「原稿の読み取り範囲」を参照してください。
- ●コピー中に原稿を引っ張らないでください。コピーがうまくとれなくなります。
- ●原稿は真っ直ぐに正しくセットしてください。斜めにコピーされたり、原稿づまりをおこすおそれがあります。
- ●コピー中は電話を受けることはできますが、かけることはできません。
- ●電話中にコピーをすることはできます。

コピー禁止!!

法律によりコピーが禁じられているものがあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

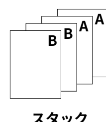
●法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）
- ・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- ・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・未使用の郵便切手や官製ハガキ
- ・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●著作権のあるもの
- ・著作権の目的となっている著作物を個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。

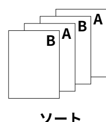
●その他の注意を要するもの
- ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- ・政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

＜複数部コピーしたいとき＞

複数コピーするときは、スタックとソートの2通りがあります。



スタック



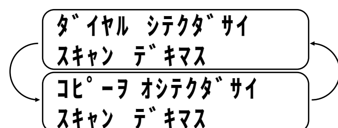
ソート

●スタックは1ページ目のコピーをn枚、というように全部を順番に積み重ねていきます。

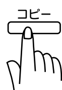
●ソートはページ順にコピーする方法で、本機がすべての原稿を読み取ってから、1、2、3、4…ページのコピーを順番に1部ずつコピーし、1、2、3、4…次にページの2組目のコピーを取り、全部でn組のコピーができるまでこれを繰り返します。

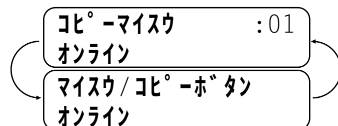
■スタックコピーのしかた

1 原稿をセットします。



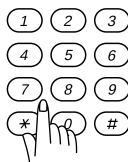
2 コピー ボタンを押します。

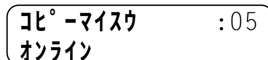




3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき

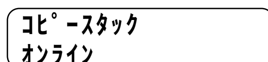


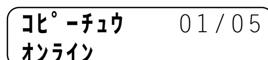


●コピー部数は99部まで設定できます。
●コピー部数を間違えたときは 停止 ボタンを押して手順1からやり直します。
●コピー部数を入力せずに５秒たつと自動的にシングルコピーを始めます。

4 コピー ボタンを押します。

原稿が繰り込まれ、コピーを開始します。





■ソートコピーのしかた

1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ

2 ソート ボタンを押します。

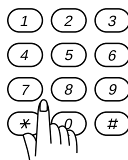


ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ :01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき



ｿｰﾄｺﾋﾟｰ :05
ｵﾝﾗｲﾝ

- ●コピー部数は99部まで設定できます。
- ●コピー部数を間違えたときは 停止 ボタンを押して手順1からやり直します。
- ●コピー部数を入力せずに５秒たつと自動的に1部のみのコピーを始めます。

4 コピー ボタンを押します。

原稿が繰り込まれ、コピーを開始します。

ｺﾋﾟｰｿｰﾄ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

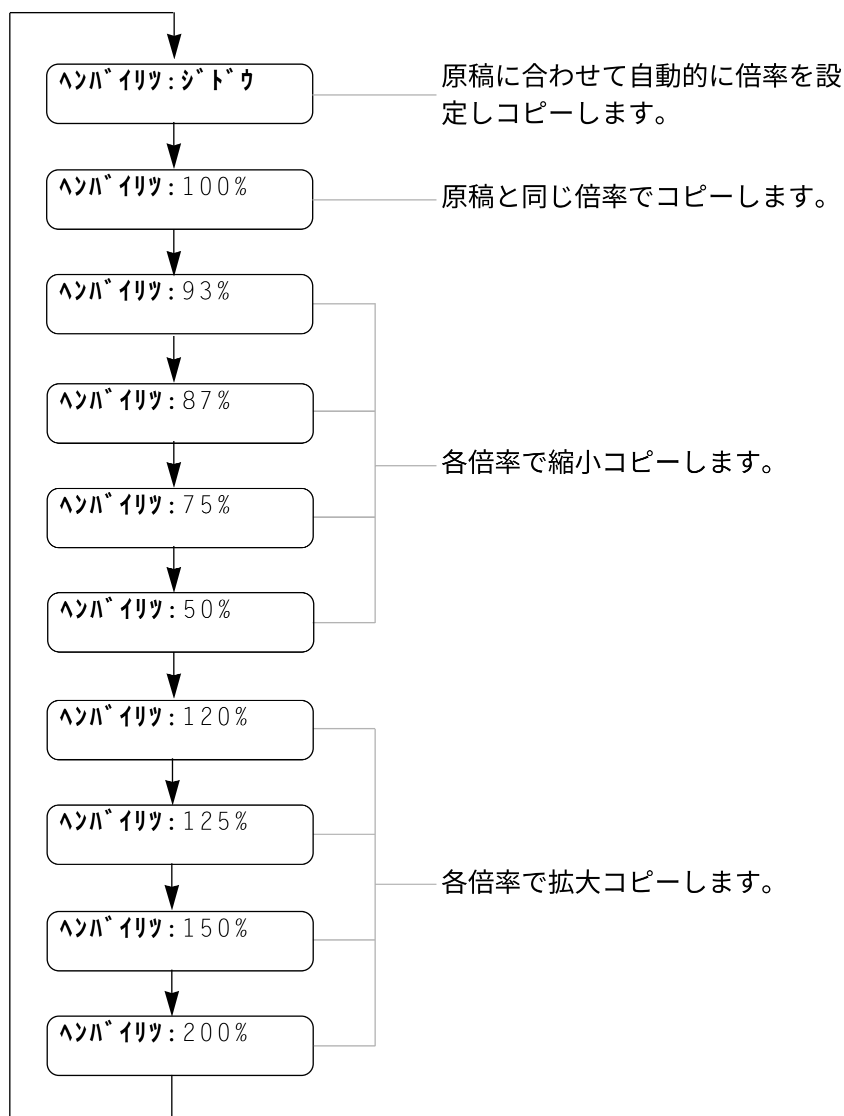
ｺﾋﾟｰﾁｭｳ 01/05

メ モ

- ●複数部コピーするときにページごとに異なる画質モードでコピーすることができます。（18ページの「ページごとに画質モードを設定する」を参照してください）
- ●画質モードと原稿濃度を設定することができます。画質モードを設定していないときは「S.ファイン」モードでコピーします。
- ●１枚の原稿がメモリに入りきらないときは、マルチコピーはできません。シングルコピーを繰り返してください。
- ●原稿を読み込み途中でメモリがいっぱいになったときは、何回かに分けてコピーしてください。
- ●コピー中は送信および受信に関わる動作はできません。また通信中はコピーできません。
- ●コピー中に記録紙がなくなったときは、それ以降のコピーは無効になります。記録紙をセットし、あらためてコピー操作を行ってください。

<拡大／縮小コピーしたいとき>

倍率を変えてコピーできます。倍率は「ジドウ」「５０％」「７５％」「８７％」「９３％」「１００％」「１２０％」「１２５％」「１５０％」「２００％」に設定することができます。



1 原稿をセットします。

ダイヤル　シテクダサイ
スキャン　デキマス

コピーヲ オシテクダサイ
スキャン　デキマス

2 拡大／縮小 ボタンを押します。

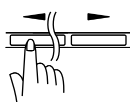


ヘンバイリツ　　　　ジドウ
オンライン

←→／コピーボタン
オンライン

3 ◄／► ボタンを押して、コピーの倍率を選びます。

【例】「９３%」に設定するとき



ヘンバイリツ　　　：93%
オンライン

4 コピー ボタンを押します。



コピーマイスウ　　　：01
オンライン

マイスウ／コピーボタン
オンライン

●複数部コピーしたいときは、67ページの「複数部コピーしたいとき」の手順3に進みます。

5 コピー ボタンを押します。

コピーを開始します。

コピーチュウ　　　P01
オンライン

＜写真をコピーしたいとき＞

写真をコピーするときは［写 真］ボタンを押します。

1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｽ

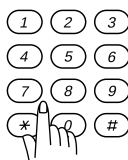
2 ［写 真］ボタンを押します。

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ :01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき



ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ :05
ｵﾝﾗｲﾝ

●コピー部数は９９部まで設定できます。
●コピー部数を間違えたときは［停 止］ボタンを押して手順1からやり直します。
●コピー部数を入力せずに５秒たつと自動的にシングルコピーを始めます。

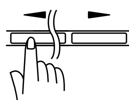
4 ［コピー］ボタンを押します。

ｶﾞｼﾂ:ｺｳｶﾞｼﾂ
ｵﾝﾗｲﾝ

←→/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

5 ［◄］／［►］ボタンを押して、写真の画質を選びます。

【例】画質をヒョウジュンにするとき



ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

6 ［コピー］ボタンを押します。

ｺﾋﾟｰｽﾀｯｸ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

指定した時刻に送信する[タイマ送信]

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

＜タイマ送信予約のしかた＞

お願い

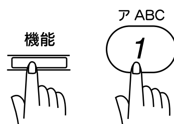
ディスプレイに［ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ ﾀｲｷﾁｭｳ］と表示されているときは、タイマ送信予約がセットしてあります。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除いてから1分後にタイマ送信予約が解除されます。

メ モ

●タイマ送信が終了すると、自動的にタイマ通信レポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。
●タイマ送信を設定した後、原稿を取り除くと設定が解除され、その後タイマ通信レポートがプリントされ結果の欄にキャンセルと印字されます。
●タイマ送信での送信時刻は、そのタイマ送信が終了すると解除されます。いつも同じ時刻に送信するときは、75ページの「デイリタイマの設定のしかた」を参照してください。

1 原稿をセットします。

2 ［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［1］を2回押します。



1.ﾀｲﾏ

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=00:00

●送信時刻の入力を促す表示になります。

3 ダイヤルボタンで送信時刻（24時間制）を入力します。
【例】午後7時45分（19：45）に送信するとき

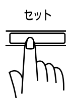


ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=19:45

●デイリタイマで送信時刻が設定してあるときは、ディスプレイに設定した送信時刻が表示されます。

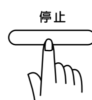
4

セット ボタンを押します。



5

停 止 ボタンを押します。



ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

●相手先の電話番号の入力を促す表示になります。

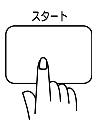
6

相手先の電話番号を入力します。
【例】ダイヤルボタンで入力したとき

052811△△11
ｵﾝﾗｲﾝ

7

スタート ボタンを押します。



ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ ﾀｲｷﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

●送信時刻になると自動的に送信します。
●送信が終了すると、自動的にタイマ通信レポートがプリントされます。

■タイマ送信待機中に電話をかけるときは

そのまま電話できます。原稿を外さずに電話をかけてください。原稿を外すと１分後に予約が解除されます。

■タイマ送信待機中に別の原稿を送信したいときは

８7ページの「タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた」を参照してください。

■電話やファクスが送信されてきたら

そのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら、スタートボタンを押してファクスを受信してください。受信モードを電話モード以外に設定しておけば、相手から自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

■タイマ送信予約を解除したいときは

８9ページの「タイマ送信・ポーリング通信の解除のしかた」を参照してください。

■プリント例（タイマ通信レポート）

ﾀｲﾏ ﾂｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ : ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

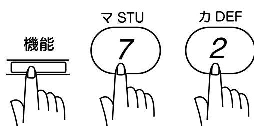
ﾆﾁｼﾞ	01-15 15:24
ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	00:00:53
ﾍﾟｰｼﾞ	01
	ｿｳﾌｼｮ
ｹｯｶ	OK
ｴﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ	02
ｶﾞｼﾂ	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

いつも同じ時刻にタイマ送信する[デイリタイマ設定]

いつも同じ時刻にファクスを送信するときに設定すると便利です。デイリタイマの設定で送信時刻を設定すると、タイマ送信で送信時刻を入力するときに、デイリタイマで設定した時刻が表示されます。

＜デイリタイマの設定のしかた＞

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 2 を押します。



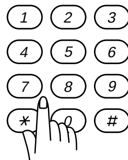
2.ﾃﾞｲﾘ ﾀｲﾏ

ｼﾞｺｸ=00:00

●送信時刻の入力を促す表示になります。

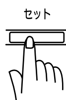
2 ダイヤルボタンで送信時刻（２４時間制）を入力します。

【例】午前６時００分（０６：００）に送信するとき



ｼﾞｺｸ=06:00

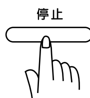
3 セット ボタンを押します。



2.ﾃﾞｲﾘ ﾀｲﾏ

4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



パスワード通信のしかた

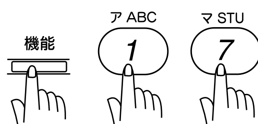
特定の相手とだけ通信をする機能で、間違いやいたずらファクスを防止できます。（パスワード通信できる機種が限定されていますので、詳しくは販売店にお問い合わせください）

＜パスワード送信＞

あらかじめ受信側と決めておいたパスワードを入力して送信します。以下の手順でパスワード送信します。

1 原稿をセットします。

2 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 7 を押します。



7.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ

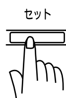
3 ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力します。

【例】パスワード1234のとき



ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:1234

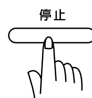
4 セット ボタンを押すかそのまま2秒間待ちます。



7.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ

5

停止 ボタンを押します。



ﾀﾞｲﾔﾙ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

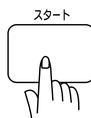
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

6

相手先の電話番号をダイヤルします。

7

スタート ボタンを押します。



ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

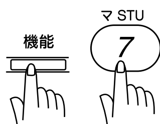
ｿｳｼﾝﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

＜パスワード受信＞

送信側と同じパスワードを登録してください。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
以下の手順でパスワード受信をします。

1

［機能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［7］を2回押します。



ﾌ.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ

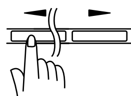
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:OFF

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

2

［◄］／［►］ボタンで「プラス」、「ON」、「OFF」のいずれかを選びます。

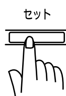
【例】「ON」にするとき



ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:ON

3

［セット］ボタンを押します。

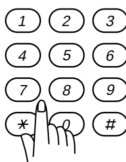


ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX

4

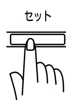
ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力します。

【例】パスワード1234のとき



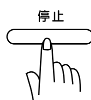
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:1234

5 セット ボタンを押すかそのまま2秒間待ちます。



7.パスワード セッテイ

6 停 止 ボタンを押します。



■パスワードプラス受信

相手側がパスワード送信できないときや、パスワード通信機能がないファクシミリでも本機のワンタッチダイヤルに登録してある電話番号の下4桁と送信側の発信元番号の下4桁が同じならファクスを受信します。
（ワンタッチダイヤルに登録されている特定の相手とだけ通信をし、またパスワードが同じ相手からも受信します）

お願い ポーリング通信のとき、パスワード機能ははたらきません。

ポーリング通信のしかた

ポーリング通信とは、受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときはポーリング送信といい、本機が受信側のときはポーリング受信といいます。ポーリング方式のファクス情報サービス（91ページ参照）も一種のポーリング受信です。

メ　モ　相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

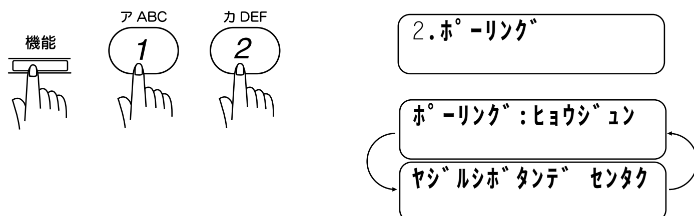
■ポーリング送信・機密ポーリング送信

通常のポーリング送信と、受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用してポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする機密ポーリング送信を行うことができます。

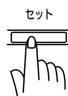
＜ポーリング送信の設定のしかた＞

1 原稿をセットします。

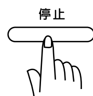
2 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 2 を押します。



3 セット ボタンを押します。

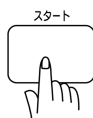


4 停 止 ボタンを押します。



ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

5 スタート ボタンを押します。



ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ

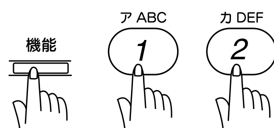
●ポーリング送信待機状態になります。

＜機密ポーリング送信の設定のしかた＞

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めます。

1 原稿をセットします。

2 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 2 を押します。

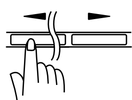


2.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

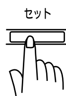
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

3 ◄／► ボタンを押して、「キミツ」を選びます。



ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ

4 セット ボタンを押します。

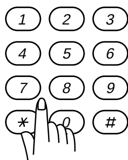


ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX

●パスワードの入力を促す表示になります。
●パスワードを誤って入力したときは クリア ボタンを押して入力し直してください。

5 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力します。

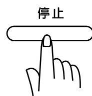
【例】パスワードが１２３４のとき



ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:1234

6 セット ボタンを押すかそのまま２秒間待ちます。

7 停 止 ボタンを押します。



ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

8 スタート ボタンを押します。



ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

●機密ポーリング送信待機状態になります。

お願い ディスプレイに ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ と表示されているときは、ポーリング送信がセットしてあります。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除くと送信時にエラーになります。

メ モ ●ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。

■ポーリング送信待機中に電話をかけるときは

そのまま電話できます。原稿を外さずに電話をかけてください。

■ポーリング送信待機中に別の原稿を送信したいときは

８７ページの「タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた」を参照してください。

■電話やファクスが送信されてきたら

そのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら、スタートボタンを押してファクスを受信してください。受信モードを電話モード以外に設定しておけば、相手から自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

■ポーリング送信を解除したいときは

８９ページの「タイマ送信・ポーリング通信の解除のしかた」を参照してください。

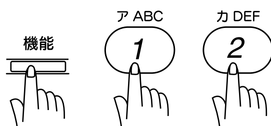
■ポーリング受信・機密ポーリング受信

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して機密ポーリング送信待機中の原稿を受信する機密ポーリング受信の２つがあります。相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

＜機密ポーリング受信の設定のしかた＞

機密ポーリング受信を設定するときには、送信側と４桁のパスワードを決めます。
送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。
原稿が挿入口にないことを確認します。受話器を置いたまま操作します。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 2 を押します。



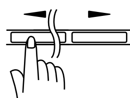
2.ポーリング

ポーリング:ヒョウジュン

ヤシルシボタンデ センタク

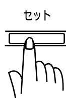
●「ヒョウジュン」ポーリングで受信したいときは セット ボタンを押して手順7に進みます。

2 ◄ ／ ► ボタンを押して、「キミツ」を選びます。



ポーリング:キミツ

3 セット ボタンを押します。



ポーリング:XXXX

●パスワードの入力を促す表示になります。

4 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力します。

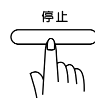
【例】パスワードが１２３４のとき



ポーリング:1234

5 セット ボタンを押します。

6 停 止 ボタンを押します。



ダイヤル シテクダサイ
オンライン

スタートヲ オシテクダサイ
オンライン

●相手先の電話番号の入力を促す表示になります。

7
相手先の電話番号をダイヤルします。

●ダイヤルのしかたは15ページを参照してください。

8
スタート ボタンを押します。



ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｼﾞｭｼﾝ ﾁｭｳ　　P01
ｵﾝﾗｲﾝ

●ポーリング受信を開始します。

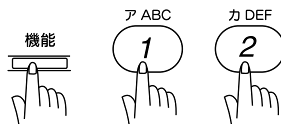
■時刻指定ポーリング（タイマポーリング受信）

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

＜時刻指定ポーリングの設定のしかた＞

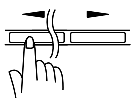
原稿が挿入口にないことを確認します。

1
機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 2 を押します。



2
◄／► ボタンを押して、「キミツ」または「ヒョウジュン」を選びます。

●キミツの場合は セット ボタンを押し、パスワードを入力してください。



3
セット ボタンを押します。



4

ダイヤルボタン[1]を押します。

```
1.タイマ
```

```
シテイ ジコク=00:00
```

●受信時刻の入力を促す表示になります。

5

ダイヤルボタンでポーリング受信する時刻（24時間制）を入力します。

【例】午後7時45分（19：45）にセットするとき



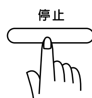

```
シテイ ジコク=19:45
```

6

[セット]ボタンを押します。

7

[停 止]ボタンを押します。




```
ダイヤル シテクダサイ
```

```
スタートヲ オシテクダサイ
```

8

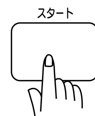
相手先の電話番号をダイヤルします。

●ダイヤルのしかたはへ15ページを参照してください。

9

[スタート]ボタンを押します。

指定時刻になると、自動的にポーリング受信します。

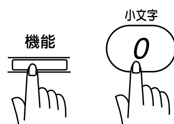


タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた

タイマ送信（72ページ参照）、ポーリング送信（80ページ参照）、マルチ送信（27ページ参照）の待機中になっていても、それらの設定を解除せずに、別の原稿を送信またはコピーすることができま

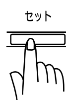
タイマ ソウシン タイキチュウ	：タイマ送信待機中のディスプレイ表示
ポーリング タイキチュウ	：ポーリング送信待機中のディスプレイ表示

1 [機能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[0]を押します。



0.ワリコミ

2 [セット]ボタンを押すか、約２秒間待ちます。



ゲンコウヲ オトリクダサイ
オンライン

3 セットされている原稿を外します。

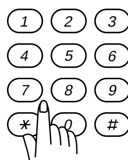
ゲンコウセット
オンライン

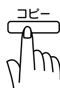
4 割り込み送信する原稿をセットします。

ファクス/コピー
オンライン

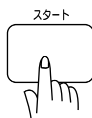
リセット→[キノウ 0]
オンライン

5 相手先の電話番号をダイヤルします。
または[コピー]ボタンを押します。

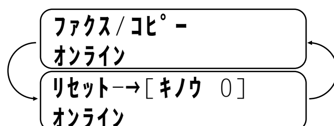




6 （ファクス送信のとき）［スタート］ボタンを押します。

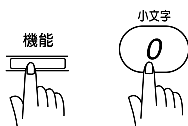


7 コピーまたは送信終了後、元のタイマ送信する原稿またはポーリング待機中の原稿をセットします。



8 ［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［0］を押します。

元の送信待機中の状態に戻ります。



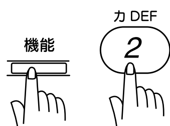
メ モ 割り込みして送信する場合は、相手が通話中などで送信できなかったときでも自動再ダイヤルははたらきません。

タイマ送信・ポーリング通信の解除のしかた

タイマ送信（72ページ参照）、ポーリング通信（80〜86ページ参照）、メモリ送信（23ページ参照）の設定を解除します。

タイマ ソウシン タイキチュウ	：タイマ送信待機中のディスプレイ表示
ポ゚ーリング゙ タイキチュウ	：ポーリング送信待機中のディスプレイ表示
'98 1/15 15:25	：時刻指定ポーリング待機中のディスプレイ表示

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 2 を押します。



2.セッテイ カイジ゙ョ

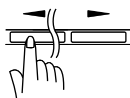
19:45　0528115Δ

ヤジルシボ゙タンデ゙ センタク

●設定されている待機中の内容がディスプレイに表示されます。

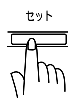
●待機中の設定がないときは、セッテイガ゙サレテイマセン と表示されます。

2 ◄／► ボタンを押して、解除したい内容を選びます。



19:45　0528115Δ

3 セット ボタンを押します。



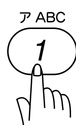
19:45　0528115Δ

カイジ゙ョ 1.スル 2.シナイ

●解除しないときは、ダイヤルボタン 2 を押してください。

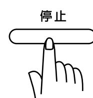
4 ダイヤルボタン[1]を押して、「1．スル」を選びます。

ディスプレイに表示されていた内容が解除されます。設定が他にもあるときは続けて解除できます。



5 [停止]ボタンを押します。

設定の解除が終了します。



ファクス情報サービスを利用する

各種のファクス情報サービスを利用することができます。
ファクス情報サービスには、ガイダンス方式とポーリング方式の２種類があり、それぞれの操作を行うことにより、簡単にファクス情報サービスを利用することができます。
また、よく利用する情報サービスがある場合には、情報番号をワンタッチボタンに登録します。音声ガイダンスに従って、あらかじめ登録して置いたワンタッチボタンを押すと、簡単に情報サービスを利用することができます。

＜ガイダンス方式の受信のしかた＞

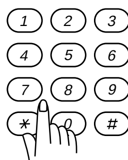
次の手順は一般的な操作例で、各情報サービスにより操作方法が異なります。音声ガイダンスに従って操作してください。

1 受話器を取るか、[オンフック]ボタンを押します。



2 情報サービスセンターの電話番号をダイヤルします。
情報サービスセンターにつながると音声ガイダンスが聞こえます。

3 音声ガイダンスに合わせてダイヤルボタンで情報番号を入力します。



4 [スタート]ボタンを押します。
自動的に受信を開始します。
受話器を戻します。

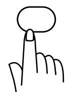


お願い ダイヤル回線のときは情報番号を入力する前に、必ず トーン（#） ボタンを押してから入力してください。

メ　モ ワンタッチボタンに情報番号を登録しておけば簡単にダイヤルすることができます。

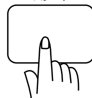
＜ポーリング方式の受信のしかた＞

1 受話器を取るか、 オンフック ボタンを押します。



2 情報サービスセンターの電話番号をダイヤルします。

3 「ピー」という音が聞こえたら スタート ボタンを押します。
自動的に受信を開始します。
受話器を戻します。



5章

登録・設定のしかた

文字入力をする

ワンタッチダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

＜文字配列＞

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割りふられています。また、[*]、[#]ボタンには各種の記号などが割りふられています。

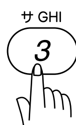
押す回数 / ダイヤルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
①	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	1							
②	カ	キ	ク	ケ	コ	D	E	F	2							
③	サ	シ	ス	セ	ソ	G	H	I	3							
④	タ	チ	ツ	テ	ト	J	K	L	4							
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	M	N	O	5							
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	P	Q	R	6							
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ	S	T	U	7							
⑧	ヤ	ユ	ヨ	ワ	ヲ	ン	V	W	X	8						
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ	Y	Z	9								
⓪	゛	゜	ー	ッ	ャ	ュ	ョ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	0			
(*)	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	−	.	／
(#)	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

＜基本的な文字入力のしかた＞

発信元データの発信元名称などの登録を行うときは、次のような手順で入力します。
例えば発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、前ページの「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

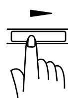
[機能]ボタンを押して、ダイヤルボタン[7]を押し、続けて[4]を押します。ファクス番号・電話番号を入力し[セット]ボタンを押すと下記のようなディスプレイ表示となりますので、名前を入力します。

1 ダイヤルボタン[3]を3回押して「ス」を入力します。



ﾅﾏｴ:ｽ

2 同じダイヤルボタンを使って入力したいときは[►]ボタンを押して、カーソルを右に移動します。



ﾅﾏｴ:ｽ_

3 ダイヤルボタン[3]を3回押して「ス」を入力します。

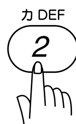
ﾅﾏｴ:ｽｽ

4 ダイヤルボタン[0]を1回押して「ﾞ　」を入力します。



ｷｺﾞｳ ﾞﾟｰｯｬｭｮｱｲｳｴ

5 ダイヤルボタン[2]を2回押して「キ」を入力します。



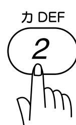
ﾅﾏｴ：ｽｽﾞｷ

6 ダイヤルボタン[＊]を1回押して空白をあけます。



ﾅﾏｴ：ｽｽﾞｷ_

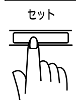
7 ダイヤルボタン[2]を4回押して「ケ」、[1]を2回押して「イ」、[2]を5回押して「コ」を入力します。





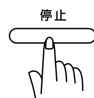
ﾅﾏｴ：ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

8 [セット]ボタンを押します。



9 [停 止]ボタンを押します。

登録が終了します。



メ モ

- 文字と文字の間に空白をあけるときは、ダイヤルボタン[＊]を1回押すか、[►]ボタンを2回押します。
- 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、[►]ボタンを押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。

＜間違えた文字を入力したときの修正方法＞

- [◄]／[►]ボタンを押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。または、消したい文字の所までカーソルを移動させ[クリア]ボタンを押すと、その文字より後の文字は全部消去されます。
- 途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。

登録・設定をする（1）

＜基本的な機能設定の手順＞

1

［機 能］ボタンを押します。



2

ダイヤルボタンを押して、機能レベル１の項目を選びます。



3

ダイヤルボタンを押して、機能レベル2の項目を選びます。

●レベル1に戻るときは、［クリア］ボタンを押します。



4

［◄］／［►］ボタンを押して、設定項目を選びます。またはダイヤルボタンで設定内容を入力します。

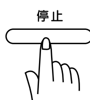
5

［セット］ボタンを押して、機能設定を決定します。



6

［停 止］ボタンを押して、機能設定を終了します。



メ モ ●機能設定を途中で終了するときは［停 止］ボタンを押してください。

＜登録・設定の方法＞

各機能モードを選択する方法にはダイヤルボタンで直接機能を選択する方法と◄／►ボタンで順次項目を表示させてから選択する2通りがあります。

[例] 機能レベル1のダイヤル登録を選択する場合

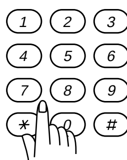
ダイヤルボタンで入力する場合

1 機能ボタンを押します。



1.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

2 ダイヤルボタンを押します。



4.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ

※ディスプレイは2秒たつとどんどん表示が変わりますが、かまわずに自分の行いたい設定の番号を押してください。

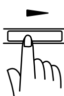
カーソルで入力する場合

1 機能ボタンを押します。



1.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

2 ►ボタンを3回押します。

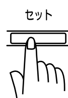


2.ｾｯﾃｲ ｶｲｼﾞｮ

3.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ

3 セットボタンを押します。

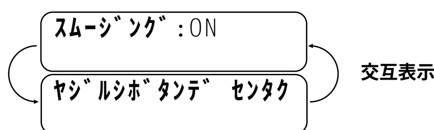


1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

※◄／►ボタンを押さなくてもディスプレイ表示が自動的に変わっているときにダイヤルボタンを押して設定することもできます。

ディスプレイの交互表示について

ディスプレイ表示が交互に切り換わっているときは、現在設定されている機能と次の手順へ進む方法についての短いメッセージを約２秒間隔で交互に表示しています。下の例では、現在スムージング記録設定が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには◄／►ボタンを押すという誘導メッセージが表示されています。誘導表示によって次の手順がディスプレイに表示されていますので、それに沿って簡単に設定・登録をすることができます。



※本書では上のような表記で交互表示を表しています。

登録・設定をする（2）

手順②の操作	手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
①送信設定 1.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	①タイマ 1.ﾀｲﾏ	
	②ポーリング 2.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	◄／► ボタンで
	③電話予約 3.ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ	◄／► ボタンで
	④原稿濃度 4.ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ	◄／► ボタンで
	⑤画質モード 5.ｶﾞｼﾂ ﾓｰﾄﾞ	◄／► ボタンで
	⑥海外送信モード 6.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	◄／► ボタンで
	⑦パスワード送信 7.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ	ダイヤルボタンで
②設定解除 2.ｾｯﾃｲ ｶｲｼﾞｮ		
③リストプリント 3.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ	116ページを参照してください。	

手順④の操作		：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設 定 項 目		設 定 内 容	参照ページ
ダイヤルボタンでタイマ送信時刻（24時間制）を入力します。 ｼﾃｲｼﾞｺｸ=19:45 送信時刻		タイマ送信を行うときの送信時刻を設定します。	72〜73
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ	を選びます。	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ：通常のポーリング送・受信を行うときに選びます。 ｷﾐﾂ：機密ポーリング送・受信を行うときに選びます。	80〜86
ﾃﾞﾝﾜﾖﾔｸ:ON ﾃﾞﾝﾜﾖﾔｸ:OFF	を選びます。	ON：ファクス送信後に相手先と通話したいときに選びます。 OFF：電話予約をしないときに選びます。	38〜39
ｹﾞﾝｺｳﾉｳﾄﾞ:ｼﾞﾄﾞｳ ｹﾞﾝｺｳﾉｳﾄﾞ:ｺｸ ｹﾞﾝｺｳﾉｳﾄﾞ:ｳｽｸ	を選びます。	原稿の文字の濃さに合わせて一時的に設定します。 ｼﾞﾄﾞｳ：標準的な濃さのとき。 ｳｽｸ：背景色の濃いとき。 ｺｸ：薄い文字のとき。	21〜22
ﾍﾟｰｼﾞ 01:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:ﾌｧｲﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:S.ﾌｧｲﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:ｼｬｼﾝ	を選びます。	原稿の文字の大きさに応じて設定します。 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ：普通の文字のとき。 ﾌｧｲﾝ：小さい文字のとき。 S.ﾌｧｲﾝ：新聞のような小さな文字のとき。 ｼｬｼﾝ：写真の入っている原稿のとき。	18〜19
ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:ON ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:OFF	を選びます。	海外送信を行うときに設定します。 ON：海外通信を行うとき。 OFF：通常の通信のとき。	41〜42
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:1234	パスワードを入力します。	あらかじめ受信側と決めておいたパスワードを入力して送信します。	76〜77
		ポーリングとタイマ送信の設定を解除します。	89〜90
		各種のレポートやリストをプリントするときに設定します。	116〜129

登録・設定をする（3）

手順②の操作 機能レベル1	手順③の操作 機能レベル2	
④ダイヤル登録 4.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ	①ワンタッチダイヤル 1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ	
	②短縮ダイヤル 2.ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ	
	③グループダイヤル 3.ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ	
⑤設定モード 5.ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ	①スムージング記録 1:ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ｷﾛｸ	◄／► ボタンで
	②ブザー音量 2.ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	◄／► ボタンで
	③送付書ON/OFF 3.ｿｳﾌｼｮ ON/OFF	◄／► ボタンで
	④エラー再送信 4.ｴﾗｰ ｻｲｿｳｼﾝ	◄／► ボタンで
	⑤縮小率 5.ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ	◄／► ボタンで
	⑥トナーセーブ 6.ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ	◄／► ボタンで
	⑦スリープモード 7.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	ダイヤルボタンで
	⑧印刷濃度 8.ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ	◄／► ボタンで

手順④の操作	：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設定項目	**設定内容**	**参照ページ**
取扱説明書(セットアップ編)21～26ページを参照してください。	ワンタッチボタン[01]～[24]に電話番号や相手先の名前を登録します。	セットアップ編 21～26
取扱説明書(セットアップ編)27～31ページを参照してください。	短縮番号01～00に電話番号や相手先の名前を登録します。 （"00"は100のことです）	セットアップ編 27～31
取扱説明書(セットアップ編)32～36ページを参照してください。	ワンタッチボタン[01]～[24]にワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを組み合わせたグループダイヤルとして登録します。	セットアップ編 32～36
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ:ON ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ:OFF を選びます。	線や文字のギザギザを補正し、滑らかな記録で受信するかしないかを設定します。 ON ：スムージング記録するとき。 OFF ：スムージング記録しないとき。	61
ﾌﾞｻﾞｰｵﾝﾘｮｳ:OFF ﾌﾞｻﾞｰｵﾝﾘｮｳ:ｼｮｳ ﾌﾞｻﾞｰｵﾝﾘｮｳ:ﾀﾞｲ を選びます。	ブザー音量を設定します。 OFF ：ブザー音をなしにするとき。 ｼｮｳ ：ブザー音を小さくするとき。 ﾀﾞｲ ：ブザー音を大きくするとき。	セットアップ編 20
ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ:ON ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ:OFF を選びます。	自動的に送付書を付加するかしないかを設定します。 ON ：付加するとき。 OFF ：付加しないとき。	32
ｴﾗｰｻｲｿｳｼﾝ:ON ｴﾗｰｻｲｿｳｼﾝ:OFF を選びます。	受信状態の良くないページがあるときに自動的に原稿を送信し直すかし直さないかを設定します。 ON ：送信し直すとき。 OFF ：送信し直さないとき。	43
ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:100% ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:93% ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:87% を選びます。	受信した原稿が分割されないように、縮小してプリントすることができます。 ｼﾞﾄﾞｳ ：自動縮小受信するとき。 100% ：同じサイズで受信するとき。 93% ：93%に縮小するとき。 87% ：87%に縮小するとき。	60
ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ:ON ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ:OFF を選びます。	トナーを節約するかしないかを設定します。 ON ：節約する。 OFF ：節約しない。	109
ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾑ:00ﾌﾝ ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾑ:05ﾌﾝ 時間を入力します。	ファクス待機中の消費電力を節約することができます。このスリープモードになるまでの時間を設定します。	110～111
+■■■■■■■□□□□□□□□- +■■■□□□□□□□□□□□□-	印刷の濃さを設定します。	112

登録・設定をする（4）

手順②の操作	手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
⑥電話設定 6.ﾃﾞﾝﾜ ｾｯﾃｲ	①回線種別設定 1.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ	◄／► ボタンで
	②呼出ベル回数 2.ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ	◄／► ボタンで
	③スピーカ音量 3.ｽﾋﾟｰｶ ｵﾝﾘｮｳ	◄／► ボタンで
	④F/T切換時間 4.F/T ｷﾘｶｴ ｼﾞｶﾝ	◄／► ボタンで
	⑤呼出音量 5.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ	◄／► ボタンで

手順④の操作		：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設 定 項 目		**設 定 内 容**	**参照ページ**
ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ:PB ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ:10PPS ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ:20PPS	を選びます。	電話回線に合わせて設定します。 PB　：プッシュ(PB)回線のとき。 10PPS　：ダイヤル回線の10PPSのとき。 20PPS　：ダイヤル回線の20PPSのとき。	セット アップ編 13
ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:00 ～ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:10	を選びます。	「FAX専用モード」または「通常モード」のとき、自動受信したり､応答メッセージが流れるまでの呼出ベル回数を設定します｡お買い上げ時の設定は2回です。 0～10回まで設定できます。	50
ｽﾋﾟｰｶ ｵﾝﾘｮｳ:OFF ｽﾋﾟｰｶ ｵﾝﾘｮｳ:ｼｮｳ ｽﾋﾟｰｶ ｵﾝﾘｮｳ:ﾀﾞｲ	を選びます。	オンフックダイヤルのときのスピーカ音量を設定します。 OFF　：スピーカ音なし。 ｼｮｳ　：スピーカ音小さい。 ﾀﾞｲ　：スピーカ音大きい。	108
ｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ:10ﾋﾞｮｳ ｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ:20ﾋﾞｮｳ ｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ:30ﾋﾞｮｳ ｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ:60ﾋﾞｮｳ	を選びます。	「通常モード」のとき、F/T切換ベルが鳴る時間を設定します。 10　：10秒で切換えるとき。 20　：20秒で切換えるとき。 30　：30秒で切換えるとき。 60　：60秒で切換えるとき。	51
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ:OFF ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ:ｼｮｳ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ:ﾀﾞｲ	を選びます。	呼出ベル音量を調整します。 OFF　：呼出ベル音なし。 ｼｮｳ　：呼出ベル音小さい。 ﾀﾞｲ　：呼出ベル音大きい。	セット アップ編 37

登録・設定をする（5）

手順②の操作 機能レベル1	手順③の操作 機能レベル2	
⑦登録モード 7.ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ	①時計セット 1.ﾄｹｲ ｾｯﾄ	
	②デイリタイマ 2.ﾃﾞｲﾘ ﾀｲﾏ	
	③管理レポート プリント間隔 3.ｶﾝﾘﾚﾎﾟｰﾄ ｶﾝｶｸ	
	④発信元登録 4.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ	
	⑤リモート起動設定 5.ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ	
	⑥送付書設定 6.ｿｳﾌｼｮ ｾｯﾃｲ	
	⑦パスワード設定 7.ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	
	⑧PC接続 8.PC ｾﾂｿﾞｸ	◄／► ボタンで
	⑨表示言語 9.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ	◄／► ボタンで
⑧留守録メモリ 8.ﾙｽﾛｸ ﾒﾓﾘ		
⓪割込み 0.ﾜﾘｺﾐ		

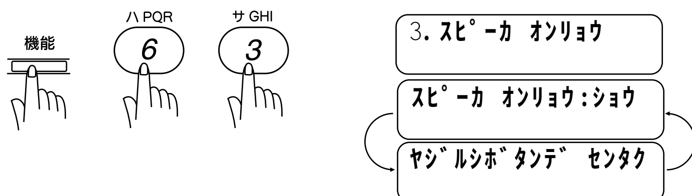
手順④の操作　　　：お買い上げ時に設定されている項目です。

設 定 項 目	設 定 内 容	参照ページ
ダイヤルボタンで現在の日付（西暦）と時刻（24時間制）を入力します。 '98 01/15 15:25 年月日　時刻	現在の日付と時刻を登録します。 お買い上げ時は '99 01/01 00:00 にセットされています。	セットアップ編 15～16
ダイヤルボタンでタイマ送信時刻（24時間制）を入力します。 ｼﾞｺｸ:12:30 送信時刻	いつも同じ時刻にタイマ送信を行う時刻を登録します。	75
118ページを参照してください。	通信管理レポートのプリント間隔を設定します。 お買上げ時の設定は‘シナイ’です。	118～120
取扱説明書<セットアップ編>17ページを参照してください。	相手先のプリントに印字される発信元データを登録します。	セットアップ編 17～18
56～57ページを参照してください。	外付電話機からファクシミリの受信動作をさせるときに設定します。	56～57
34～35ページを参照してください。	送付書のオリジナルコメントを作成します。 コメントは2種類登録することができます。	34～35
78～79ページを参照してください。	送信側と決めておいたパスワードを入力して受信します。	78～79
PC ｾﾂｿﾞｸ:ON PC ｾﾂｿﾞｸ:OFF を選びます。	PCと本機をつなげて、音声やファクスメッセージをPC上で受信するかどうかを設定します。 ON　：PC上で受信する。 OFF　：本機が受信する。	――
	表示言語を英語にすることができます。	113
140～141ページを参照してください。	留守録メモリの各種機能を設定します。	140～141
	タイマ送信、ポーリング送信などの待機中にそれらの設定を解除せずに原稿を送りたいときに使用します。	87～88

スピーカ音量を調整する

オンフックダイヤル時のスピーカから聞こえる音の大きさを設定します。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 6 3 を押します。

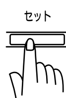


2 ◄／► ボタンでスピーカ音量を選びます。

【例】「ダイ」に設定するとき

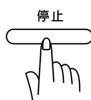


3 セット ボタンを押します。



4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

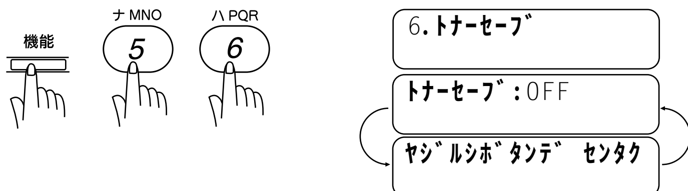


メ モ
スピーカ音量は、3種類の内から選びます。
OFF・・・・・・・・スピーカ音なし
(オンフックダイヤルで電話したときの音は「OFF」になりません。ファクスのときの音は「OFF」になります)
ショウ・・・・・スピーカ音小さい
ダイ・・・・・・・スピーカ音大きい
お買い上げ時は「ショウ」になっています。

トナーを節約する[トナーセーブ]

ファクスやコピー時に、印字濃度を少し薄めにしてトナー使用量を少なくし、トナーの寿命を延ばすことができます。このトナーセーブモードにするかしないかを設定します。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン5 6を押します。

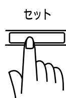


2 ◄／►ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

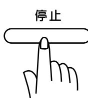
【例】「ON」に設定するとき



3 セットボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。



電気代を節約する[スリープモード]

本機は、すぐにプリントやコピーができるように、印字部などへ常に一定の電気を供給しています。また、本体の冷却ファンも回し続けています。
スリープモードは、設定した時間内にプリントやコピーが行われなかったときに、自動的に印字部や冷却ファンなどへの電気の供給を止めて待機状態となり、消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。
スリープモードになるまでの時間を設定します。設定時間は0～99分まで分単位で設定できます。

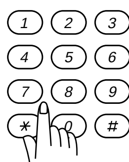
1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 5 7 を押します。



7.ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ

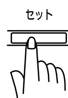
ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾑ:00ﾌﾝ

2 ダイヤルボタンで時間を設定します。
【例】5分間に設定するとき

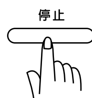


ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾑ:05ﾌﾝ

3 セット ボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。



メモ

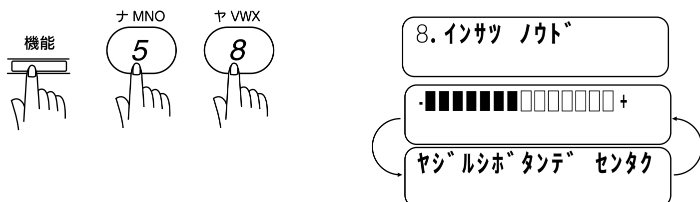
●冷却ファンは本機内部の温度が一定以下になるまで回り続けますので、スリープモードになるまでの実際の時間と設定時間に若干の差があることがあります。

●スリープモードのときに、コピーやプリントをしようとするとウォーミングアップのために12秒〜30秒時間がかかります。

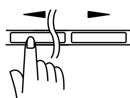
印刷の濃さを調整する

印刷の濃さを設定します。

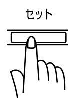
1 機 能ボタンを押して、ダイヤルボタン 5 8 を押します。



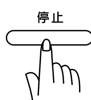
2 ◄／►ボタンを押して、印刷の濃さを設定します。薄くしたいときは、◄ボタンを押してください。濃くしたいときには►を押してください。



3 セットボタンを押します。



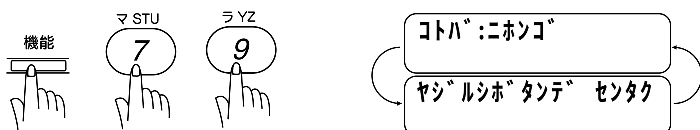
4 停 止ボタンを押します。



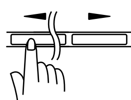
表示言語の設定を変更する

本機はディスプレイに表示される言語を英語にすることができます。

1 [機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[7][9]を押します。

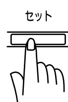


2 [◄]／[►]ボタンを押して、「エイゴ」を選択します。

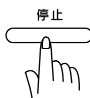


ｺﾄﾊﾞ:ｴｲｺﾞ

3 [セット]ボタンを押します。



4 [停 止]ボタンを押します。



memo

6章

レポート・リストについて

各種のレポートとリスト

＜レポートとリストの種類＞

■操作することによりプリントされるレポート・リスト

手順③の操作	プリント内容
①通信管理レポート 1.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信・受信した最新の合計５０通信分の結果をプリントします。
②ダイヤルリスト 2.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容をプリントします。
③電話帳リスト 3.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ	ダイヤルリストを５０音順・アルファベット順にプリントします。
④送付書 4.ｿｳﾌｼｮ	送付書の書式をプリントします。
⑤伝言メッセージ 5.ﾃﾞﾝｺﾞﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ	伝言メッセージの書式をプリントします。
⑥ユーザー登録リスト 6.ﾕｰｻﾞｰ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。
⑦送信確認レポート 7.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信後に送信結果をプリントします。
⑧メモリ使用状況リスト 7.ﾒﾓﾘ ｼﾖｳｼﾞｮｳｷｮｳ	使用されているメモリ量などメモリの使用状況をプリントします。

※手順①～②は９７～１０１ページを参照してください。

■自動的にプリントされるレポート

●タイマ通信レポート
　タイマ通信が終了するとプリントされます。
●ポーリングレポート
　ポーリング送信が終了するとプリントされます。
●同報送信レポート
　順次同報送信が終了するとプリントされます。

最新の通信結果を確認する[通信管理レポート]

送信・受信した最新の合計５０通信分のファクス通信結果をプリントします。

＜通信管理レポートのプリント＞

プリント間隔の設定時期に関係なく、プリントします。

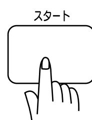
1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3 1を押します。



1.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

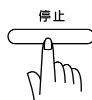
2 スタートボタンを押します。



ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停止ボタンを押します。



■プリント例

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ ： 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ： ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX ： 052 811 5△△1
TEL ： 052 824 △△55

ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
01-14	15:14	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ	01:49	03 SO	OK	TX
01-14	15:18	ｲﾉｳｴ ﾀﾂﾔ	00	00	ﾊﾅｼﾁｭｳ	TX
01-14	15:20	ｻｶｲ ﾋﾃﾞｵ	01:09	01 SO	OK	TX

SO ： ｿｳﾌｼｮ
ME ： ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ
POL： ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
RET： ﾘﾄﾘｰﾊﾞﾙ
T X ： ｿｳｼﾝ
RX ： ｼﾞｭｼﾝ

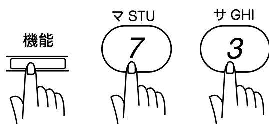
メ　モ ●プリントしても通信結果のデータは消去されません。

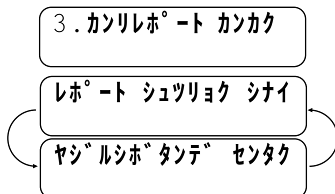
＜プリント間隔の設定＞

通信管理レポートをプリントする間隔を設定することができます。プリントしないに設定したときは、必要なときに＜通信管理レポートのプリント＞を参照してプリントします。

メ　モ プリント間隔は、プリントしない／６時間ごと／１２時間ごと／２４時間ごと／２日ごと／４日ごと／７日ごとに設定することができます。お買い上げ時の設定はプリントしない「レポート　シュツリョク　シナイ」です。

1 [機能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[7][3]を押します。

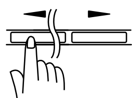




2

◄／►ボタンを押して、プリント間隔を選びます。

【例】プリント間隔を７日ごとに設定するとき



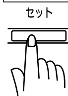
```
7 ｶ ｺﾞﾄ
```

●「７日ごと」以外に設定したときは、手順5に移ります。

●プリントしない（「レポート　シュツリョク　シナイ」）に設定したときは、手順7に移ります。

3

セットボタンを押します。



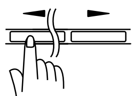

```
ｹﾞﾂﾖｳﾋﾞ ｺﾞﾄ
```

```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

4

◄／►ボタンを押して、曜日を選びます。

【例】土曜日ごとに設定するとき



```
ﾄﾞﾖｳﾋﾞ ｺﾞﾄ
```

5

セットボタンを押します。




```
ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:00:00
```

6

ダイヤルボタンで開始時間を入力します。

【例】午後7時４５分（１９：４５）に設定するとき

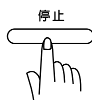



```
ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:19:45
```

●「プリントしない」以外に設定したときは、開始時間を基準にしてプリントします。

7 セット ボタンを押します。

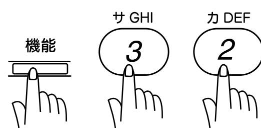
8 停 止 ボタンを押します。



ダイヤル登録を確認する[ダイヤルリスト]

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録された内容をプリントします。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 2 を押します。



2.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

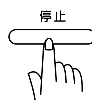
2 スタート ボタンを押します。



ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、 停 止 ボタンを押します。



■プリント例

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

ﾊﾞﾝｺﾞｳ	FAX/TEL ﾊﾞﾝｺﾞｳ		ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
#01	052 825 △△11	TEL	ｼﾐｽﾞ ｹｲﾐ	G2
#02	03 △△27 8290	TEL	ﾋｸﾞﾁ ﾏﾐ	G1
#03	052 △△1 4824	TEL	ﾐｽﾞﾀﾆ ﾐｷｵ	G2
#04	03 △△11 8211	F/T	ｺｼﾞﾏ ﾏﾕｶ	
#05	045 △△1 0699	FAX	ﾅｶﾑﾗ ﾄﾓｺ	
#06	052 △△1 5381	F/T	ｽｽﾞｷ ﾏｺﾄ	G2
#07	06 9491 △△41	TEL	ﾅｶﾉ ﾋﾛｷ	
#08	03 △△52 2763	F/T	ｱｻﾉ ﾄﾓｺ	
#09				
#23				
#24				

@ : ﾚﾝｿﾞｸ

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 98-01-21-15:25
ﾒｲｼｮｳ: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ

ﾊﾞﾝｺﾞｳ	FAX/TEL ﾊﾞﾝｺﾞｳ		ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
*01	0566 △△ 1119	FAX	ｽｷﾞﾔﾏ ﾏｻｵ	G1
*02	03 △△23 8691	TEL	ｲﾜｻｷ ﾅｵﾐ	
*03	03 △△21 8531	TEL	ﾊｯﾄﾘ ﾋﾛﾐ	
*04	06 3△△5 5105	F/T	ﾔﾏｸﾞﾁ ｼﾉﾌﾞ	
*99				
*00				

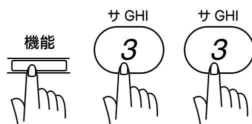
@ : ﾚﾝｿﾞｸ

ダイヤルリストを50音順にプリントする[電話帳リスト]

ダイヤルリストを50音順・アルファベット順にプリントします。

メ モ ●相手先名称の登録されていないワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルやグループダイヤルは、アイテサキメイショウの欄が空欄になり、リストの最後に印字されます。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 3 を押します。



3.デンワチョウ リスト
スタートヲ オシテクダサイ

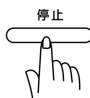
2 スタート ボタンを押します。



プリント チュウ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停 止 ボタンを押します。



■プリント例

デンワチョウ リスト

ジコク : 98-01-15-15:25
メイショウ : スズキ ケイコ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

アイテサキ メイショウ	バンゴウ	FAX/TEL バンゴウ		グループ
コジマ マユカ	#04	03 △△27 8211	F/T	G1
スギヤマ マサオ	*01	0566 △△ 1119	FAX	G1
スズキ マコト	#06	052 △△1 5381	F/T	
タナカ ヨウコ	#16	052 825 △△11	FAX	
ヒグチ マミ	#02	03 △△27 8290	TEL	
	#07@			

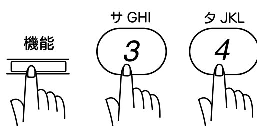
@ : レンゾク

送付書の書式をプリントする[送付書プリント]

送付書の書式を確認するときなどにプリントします。

メ　モ
●連続ダイヤルで登録したもので発信するときは、パスワードなど他人に知らせたくない情報が送付書に残ることがありますので送付書を付けないでください。
●送付書のコメント内容の変更のしかたは34ページを参照してください。

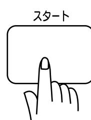
1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3 4を押します。



4.ソウフショ

スタートヲ　オシテクダサイ

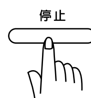
2 スタートボタンを押します。



プリント　チュウ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停止ボタンを押します。



■プリント例

=== ソウフショ ===

TO:
FAX:　052 825 △△11

FROM:　　スズキ ケイコ
FAX:　052 811 5△△1
TEL:　052 824 △△55
00ページ オクリマス

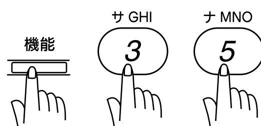
コメント:

伝言メッセージの書式をプリントする[伝言メッセージ]

伝言メッセージの書式を確認するときなどにプリントします。

メ モ ●TO：の名前は、あらかじめ短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録されているときのみ表示されます。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 5 を押します。



5.ﾃﾞﾝｺﾞﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

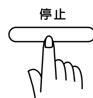
2 スタート ボタンを押します。



ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停 止 ボタンを押します。



■プリント例

=== ﾃﾞﾝｺﾞﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ ===

TO:
FAX: 052 825 △△11

FROM: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

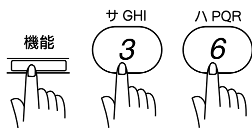
ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ [TEL] 052 824 △△55
[FAX] 052 811 5△△1

登録・設定状況を確認する[ユーザー登録リスト]

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときにプリントします。

1

機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 6 を押します。



6.ﾕｰｻﾞ ｰ ﾄｳﾛｸﾘｽﾄ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2

スタート ボタンを押します。

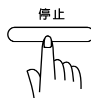


ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3

プリント終了後、 停 止 ボタンを押します。



■プリント例

ﾕｰｻﾞ ｰ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ : ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

ｿｳｼﾝ ｶｸﾆﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ	: OFF

ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ｷﾛｸ	: ON
ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	: ｼｮｳ
ｿｳﾌｼｮ ON/OFF	: OFF
ｴﾗｰｻｲｿｳｼﾝ	: OFF
ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ	: ｼﾞﾄﾞｳ
ﾄﾅｰｾﾂﾔｸ	: OFF
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	: 00 ﾌﾝ
ｲﾝｼﾞ ﾉｳﾄﾞ	: ﾚﾍﾞﾙ 4

ｶｲｾﾝ ｼｭﾍﾞﾂ	: 20PPS
ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ	: 02 ｶｲ
ｽﾋﾟｰｶ ｵﾝﾘｮｳ	: ｼｮｳ
F/T ｷﾘｶｴ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	: 30ﾋﾞｮｳ
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ	: ﾀﾞｲ

ﾆﾁｼﾞ	
ﾋﾂﾞｹ	: 98-01-15
ｼﾞｺｸ	: 15:25
ﾃﾞｲﾘ ﾀｲﾏ ｾｯﾃｲ ｼﾞｶﾝ	: 12:34
ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ	: 6 ｼﾞｶﾝ
ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	: 00:00
ﾊｯｼﾝﾓﾄ	
ﾒｲｼｮｳ	: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX	: 052 811 5△△1
TEL	: 052 811 △△55
ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	: OFF
ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ	
5	:
6	:
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	: OFF
PC ｾﾂｿﾞｸ	: ON
ﾋｮｳｼﾞ ｼﾃｲﾙ ｹﾞﾝｺﾞ	: ﾆﾎﾝｺﾞ

ﾒﾓﾘ ｾｯﾃｲ	
ﾌｧｸｽ ﾒｯｾｰｼﾞ	: ON
ﾒﾓﾘ ｼﾖｳ ｵﾝｾｲ	: ON
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾌﾟﾘﾝﾄ	: ON
ﾃﾝｿｳ	: OFF
ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	:
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	:
ｱｸｾｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	: 159＊
ﾛｸｵﾝ ｼﾞｶﾝ	: 30 ﾋﾞｮｳ
ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ｼﾞｶﾝ	: ON
ﾄｰﾙ ｾｰﾊﾞ	: OFF

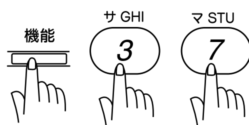
0% 100%

ﾄﾞﾗﾑ ﾗｲﾌ 2000064641D000000

送信確認レポートをプリントする[送信確認レポート]

ファクス送信後に送信確認レポートをプリントするかしないかを設定します。
お買い上げ時は、プリントしない「OFF」に設定されています。
「ON」：送信後に毎回自動的にプリントします。
「OFF」：通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的にプリントします。

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 7 を押します。

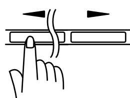


7.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ:OFF

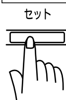
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

2 ◄／► ボタンを押して、「ON」または[OFF」を選びます。
【例】プリントする(ON）に設定するとき

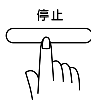


ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ:ON

3 セット ボタンを押します。



4 停止 ボタンを押します。
設定が終了します。



■プリント例

ｿｳｼﾝ　ﾚﾎﾟｰﾄ

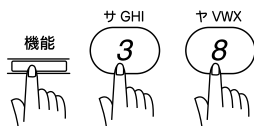
ｼﾞｺｸ : 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ: ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
FAX : 052 811 5△△1
TEL : 052 824 △△55

ﾆﾁｼﾞ	01-15 15:24
ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	00:01:49
ﾍﾟｰｼﾞ	03
	ｿｳﾌｼｮ
ｹｯｶ	OK
ｶﾞｼﾂ	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

メモリ使用状況リストをプリントする[メモリ使用状況リスト]

メモリ使用状況リストはタイマ送信・ポーリング送信待機中などで使用されているメモリ量と使用可能なメモリがパーセントで表示されます。また、メモリ受信した音声メッセージやファクスメッセージの総数が確認できます。

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 8 を押します。



8.ﾒﾓﾘ ｼｮｳｼﾞｮｳｷｮｳ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

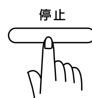
2 スタート ボタンを押します。



ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停止 ボタンを押します。



■プリント例

ﾒﾓﾘ ｼｮｳｼﾞｮｳｷｮｳ　ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ　: 98-01-15-15:25
ﾒｲｼｮｳ: ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ2
FAX　: 052 811 5△△1
TEL　: 052 824 △△55

ﾒﾓﾘ ｼｮｳ ｵﾝｾｲ

	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	
01 ﾖｳｹﾝ	: 98-01-15	09:15	①
02 ﾖｳｹﾝ	: 98-01-15	09:29	①
01 ﾃﾞﾝｺﾞﾝ	: 98-01-15	09:10	①
02 ﾃﾞﾝｺﾞﾝ	: 98-01-15	09:31	①
ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ 03 ｵﾝｾｲ ﾃﾞﾝｺﾞﾝ		16%	②

ｽｹｼﾞｭｰﾙ

12 ｽｹｼﾞｭｰﾙ	11%	③

ﾄﾘﾀﾞｼ ｶﾉｳ ﾌｧｸｽ

	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｿｳｼﾝ ﾓﾄ	ﾍﾟｰｼﾞ		
ﾌｧｸｽ 01	: 98-01-15	09:30	03 3274 △△11	01		④
ﾌｧｸｽ 02	: 98-01-15	09:31	052 263 58△△	01		④
					05%	

ﾒﾓﾘ ｼｮｳ ﾌｧｸｽ

	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾍﾟｰｼﾞ		
ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ	1) 23:45	(ﾄﾞｳﾎｳ ｿｳｼﾝ)	02	04%	⑤
ｻｲﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲｷﾁｭｳ	1)	ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1	01	02%	⑤
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ			01	08%	⑤
ECM				11%	⑤
ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	:	052 825 △△11			⑥

ﾒﾓﾘ ｻﾞﾝﾘｮｳ

ｱｷﾖｳﾘｮｳ	43%	⑦

①２つの音声メッセージ（ヨウケン）と２つのボイスメモ（デンゴン）を受けたことが示されています。
②音声情報が３つ録音されていることが示されています。
③音声アラームメッセージとして、１２件のスケジュールが録音されています。
④２つのファクスメッセージがメモリに記憶されていることが示されています。ファクス転送機能により転送されたファクスメッセージは自動的にメモリから消去されますので、このリストには記載されません。
⑤タイマ送信、ポーリング送信待機や再ダイヤルに関しての事項がメモリに蓄積されていることが示されています。
⑥ファクス転送番号が示されています。
⑦使用可能なメモリ量が示されています。
　メモリ残量が０％になると印字されません。

memo

7章

留守録メモリ

留守録メモリの使いかた

留守録メモリを使うと、留守中にかかってくる電話やファクスを本体の内蔵メモリに録音・記憶することができます。また、次のような便利な機能があります。
これらの機能はメモリの設定により、利用できる機能と利用できない機能があります。(134～139ページの「利用できる機能」参照)

ボイスメモ機能

ファクシミリをいっしょに使っている人にボイスメモを残すことができます。(詳しくは159ページを参照してください)

留守録お知らせ機能

メッセージを受信するとポケットベルや携帯電話を呼び出して知らせることができます。(詳しくは161ページを参照してください)

ファクス転送機能

受信したファクスメッセージを外出先のファクシミリに転送することができます。(詳しくは161ページを参照してください)

リモコンアクセス機能

外出先からファクシミリを操作したり、受信したメッセージを取り出すことができます。(詳しくは164ページを参照してください)

音声アラーム機能

忘れてはならないスケジュールなどを音声で知らせることができます。(詳しくは172ページを参照してください)

バックアッププリント機能

受信したファクスメッセージをメモリに記憶するとともに、プリントすることができます。(詳しくは152ページを参照してください)

留守録メモリが設定されているときは、操作パネルの「通常」および「FAX専用」モードの両方の表示ランプが点灯します。
音声およびファクスの表示ランプはメモリ設定をしたときは消灯しています。メモリにメッセージが記憶されると表示ランプは点滅に変わります。

メモ　メッセージの種類と言葉の意味は次の通りです。

●音声メッセージ……………………留守中に電話をかけてきた人がメモリに残す声のメッセージです。

●用件応答(留守番)メッセージ……留守中に電話をかけてきた人が聞くようにあらかじめ録音するメッセージのことです。

●ボイスメモ…………………………自宅や職場でファクシミリをいっしょに使っている人に残す声のメッセージです。

●通常モード応答メッセージ(F/T応答メッセージ)
……………………………………受信モードが「通常モード」で電話をかけてきた人が聞くようにあらかじめ録音するメッセージのことです。

＜留守録メモリの基本モード＞

留守録メモリの設定のしかたによって、次の6つのモードがあります。録音・記憶する音声メッセージとファクスメッセージの量、利用する機能に応じて最適なモードを選ぶことができます。留守録メモリの設定のしかたは143ページを参照してください。

お買い上げ時は「ファクス：ON／オンセイ：ON」モードに設定されています。

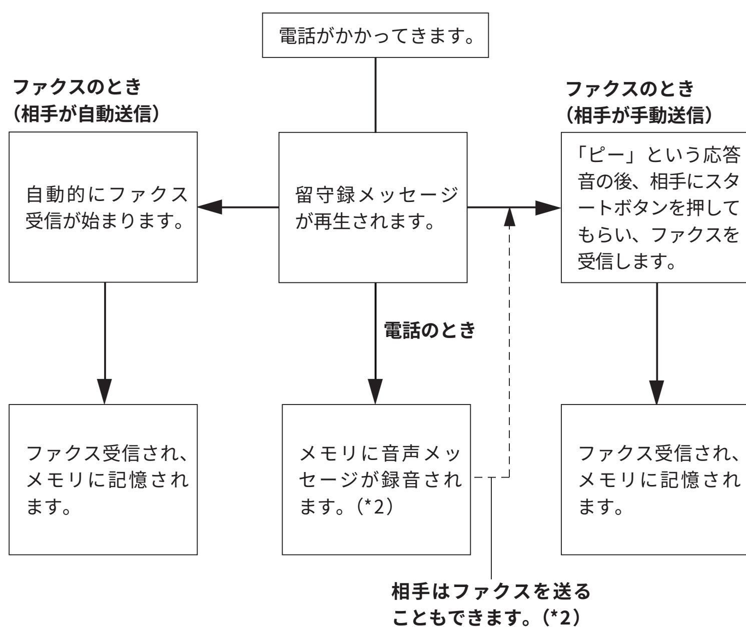
	設定モード		用　　途	参照ページ
	ファクス	オンセイ		
①	ON	ON	音声メッセージ、ファクスメッセージの両方をメモリに録音および記憶します。	134
②	ON	ソトヅケ	ファクスメッセージのみメモリに記憶し、音声メッセージは外付留守番電話機で録音します。	135
③	ON	OFF	ファクスメッセージのみメモリに記憶します。(ただし、ボイスメモと音声アラームは記憶させることができます)	136
④	OFF	ON	音声メッセージのみメモリに録音します。ファクスメッセージはプリントされます。	137
⑤	OFF	ソトヅケ	ファクスメッセージはプリントされます。音声メッセージは外付留守番電話機で録音します。	138
⑥	OFF	OFF	音声とファクスの両方のメッセージをメモリに記憶・録音しません。ファクスメッセージはプリントされます。(ただし、ボイスメモと音声アラームは記憶させることができます)	139

メモ
●「ファクス：OFF」に設定したときは、ファクスメッセージはメモリに記憶されませんが、受信と同時にプリントします。
●相手が手動送信のファクスのときは、受信できないことがあります。
●相手が手動送信のとき、相手からリモート受信コード(55ページ参照)がダイヤルされるとファクス受信を始めます。

①「ファクス：ON／オンセイ：ON」モード

操作パネルの状態	音声／ファクスメッセージ
メモリに新規のファクスが記憶されているときはFAXランプが、音声メッセージが記憶されているときは音声ランプが点滅します。また再生済みの音声メッセージが記憶されているときは音声ランプが点灯します。 音声 FAX 留守メッセージ ○ FAX 専用 留守 ○ 通常 ●:ランプ消灯 ⋛○:ランプ点滅 ○:ランプ点灯	音声メッセージはメモリに録音されます。ファクスメッセージはメモリに記憶されます。 **利用できる機能** ・ボイスメモ機能 ・音声アラーム機能 ・留守録お知らせ／ファクス転送機能 ・リモコンアクセス機能 ・バックアッププリント機能（*1）

電話がかかってきたときの動作の流れ



*1:バックアッププリント機能が「ON」に設定されているときは、ファクスメッセージはメモリに記憶されると同時にプリントとされます。
*2:音声メッセージを録音中に8秒間音声のない状態が続くと、音声メッセージが終了したと判断して、自動的にファクス受信に切り換わります。

②「ファクス：ON／オンセイ：ソトヅケ」モード

操作パネルの状態

メモリに新規のファクスメッセージが記憶されているときはFAXランプが点滅します。またファクスメッセージをプリントするとFAXランプは消灯します。
音声メッセージが外付留守番電話機に録音されていても、この音声ランプは点滅も点灯もしません。

音声 ●——◯ FAX
留守メッセージ

◯ FAX 専用
留守
◯ 通常

●:ランプ消灯　◯:ランプ点滅　◯:ランプ点灯

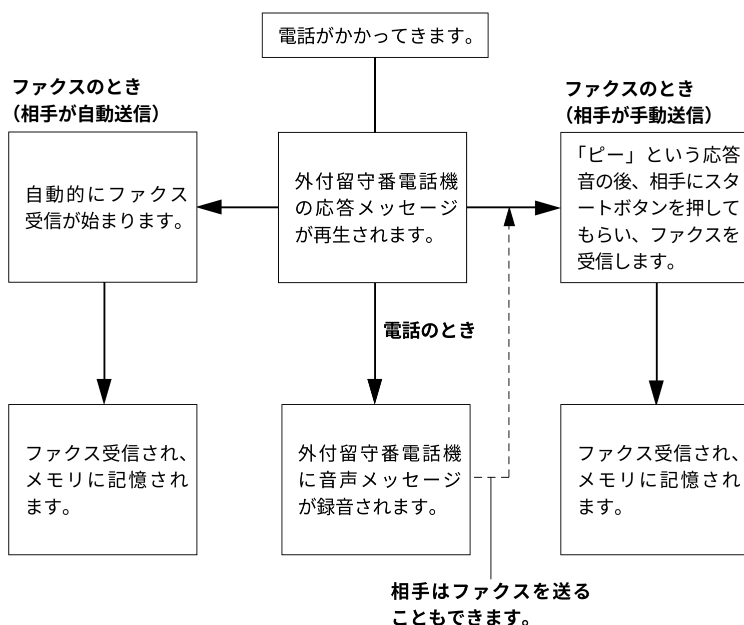
音声／ファクスメッセージ

音声メッセージは外付留守番電話機に録音されます。
ファクスメッセージはメモリに記憶されます。

利用できる機能

・ボイスメモ機能
・音声アラーム機能
・ファクス転送機能
・リモコンアクセス機能
・バックアッププリント機能（*1）

電話がかかってきたときの動作の流れ



*1:バックアッププリント機能が「ON」に設定されているときは、ファクスメッセージはメモリに記憶されると同時にプリントされます。

③「ファクス：ON／オンセイ:OFF」モード

操作パネルの状態	音声／ファクスメッセージ
メモリに新規のファクスメッセージが記憶されているときは、FAXランプが点滅します。またファクスメッセージをプリントするとFAXランプは消灯します。	音声メッセージはメモリに録音されません。ファクスメッセージはメモリに記憶されます。

利用できる機能

- ボイスメモ機能
- 音声アラーム機能
- ファクス転送機能
- リモコンアクセス機能
- バックアッププリント機能(*1)

電話がかかってきたときの動作の流れ

*1:バックアッププリント機能が「ON」に設定されているときは、ファクスメッセージはメモリに記憶されると同時にプリントされます。

④「ファクス：OFF／オンセイ：ON」モード

操作パネルの状態

メモリに新規の音声メッセージが記憶されているときは、音声ランプが点滅します。また再生済みの音声メッセージが記憶されているときは音声ランプが点灯します。

音声 FAX
留守メッセージ

FAX 専用
留守
F/T

●:ランプ消灯 ⚞○:ランプ点滅 ○:ランプ点灯

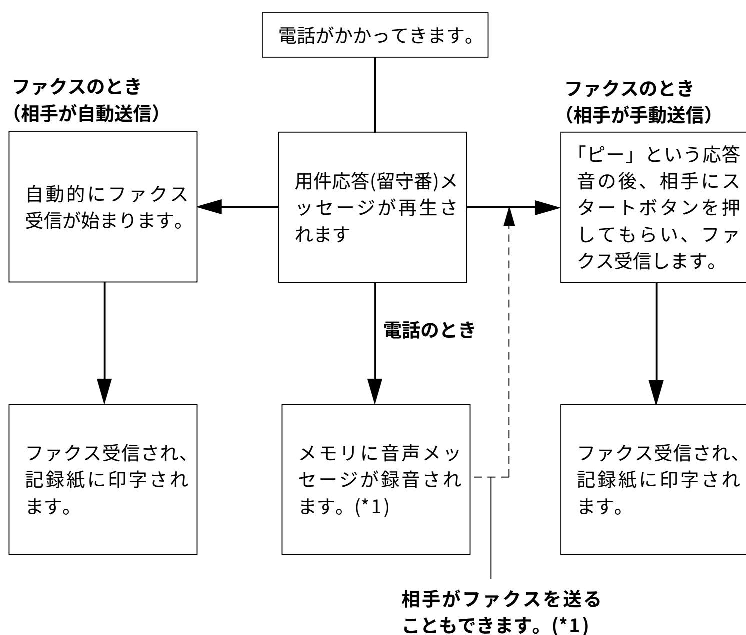
音声／ファクスメッセージ

音声メッセージはメモリに録音されます。ファクスメッセージはプリントされますが、メモリには記憶されません。

利用できる機能

- ボイスメモ機能
- 音声アラーム機能
- 留守録お知らせ機能
- リモコンアクセス機能

電話がかかってきたときの動作の流れ

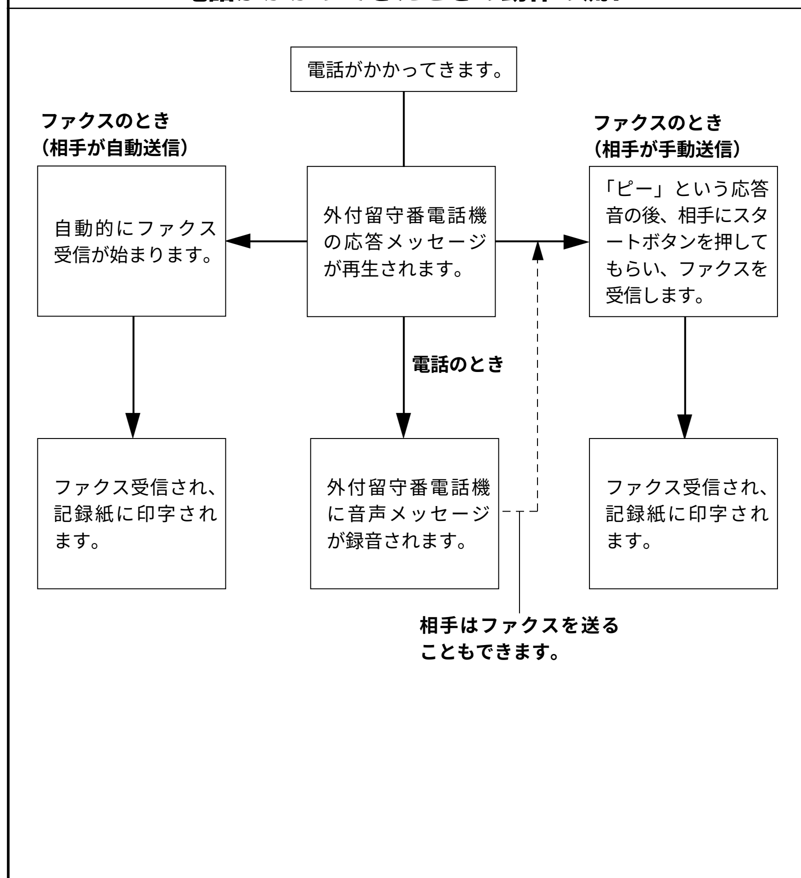


*1:音声メッセージを録音中に8秒間音声のない状態が続くと、音声メッセージが終了したと判断して、自動的にファクス受信に切り換わります。

⑤「ファクス：OFF／オンセイ：ソトヅケ」モード

操作パネルの状態	音声／ファクスメッセージ
音声メッセージが外付留守番電話機に録音されてもこの音声ランプは点滅も点灯もしません。 音声 FAX ●—● 留守メッセージ ○ FAX 専用 ／ 留守 ／ ○ F/T ●:ランプ消灯　○:ランプ点灯	音声メッセージは外付留守番電話機に録音されます。 ファクスメッセージはプリントされますが、メモリには記憶されません。 **利用できる機能** ・ボイスメモ機能 ・音声アラーム機能 ・リモコンアクセス機能

電話がかかってきたときの動作の流れ



⑥「ファクス：OFF／オンセイ：OFF」モード

操作パネルの状態

留守録メモリモードは「ON」になりますが、用件応答(留守番)メッセージは相手に返しません。

音声　FAX
●――●
留守メッセージ

○ FAX 専用
├留守
○ F/T

●:ランプ消灯　○:ランプ点灯

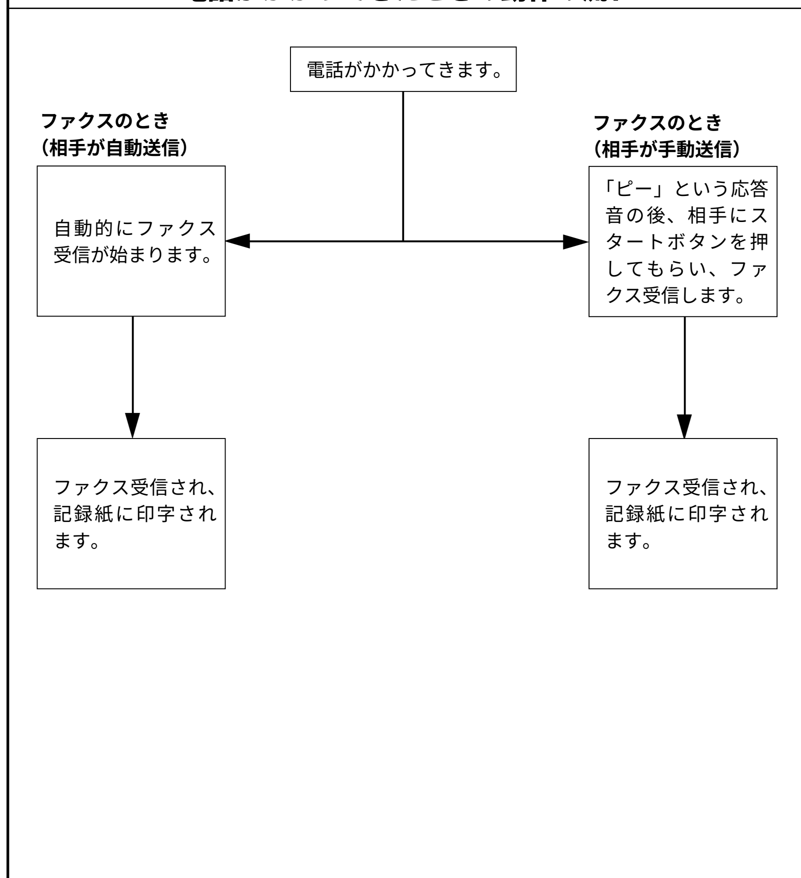
音声／ファクスメッセージ

音声メッセージはメモリに録音されません。ファクスメッセージはプリントされますが、メモリには記憶されません。

利用できる機能

・ボイスメモ機能
・音声アラーム機能
・リモコンアクセス機能

電話がかかってきたときの動作の流れ



留守録メモリの登録・設定をする

機能ボタンを押し、ダイヤルボタン8を押して下表の手順③に進みます。

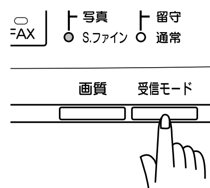
手順③の操作 機能レベル	手順④の操作 設定項目	設定内容	参照ページ
①メモリ設定 1.ﾒﾓﾘ ｾｯﾃｲ	◄／►ボタンで ﾌｧｸｽ:ON ﾌｧｸｽ:OFF ｵﾝｾｲ:ON ｵﾝｾｲ:OFF ｵﾝｾｲ:ｿﾄﾂﾞｹ を選びます	留守録メモリの使用方法に応じて、6つのモードの中から設定します。 133ページの「留守録メモリの基本モード」を参照してください。 お買い上げ時は「ファクス：ON/オンセイ：ON」に設定されています。	143 〜 144
②バックアップ プリント 2.ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾌﾟﾘﾝﾄ	◄／►ボタンで ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ:ON ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ:OFF を選びます	「ファクス　シュツリョク：ON」にすると、ファクスメッセージを受信し、メモリに記憶されたと同時にプリントします。 お買い上げ時は「ON」に設定されています。	152
③転送 3.ﾃﾝｿｳ	◄／►ボタンで OFF ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ を選びます	メッセージを受信したとき、電話呼び出しやファクス転送をするか、しないかを設定します。 お買い上げ時は「OFF」に設定されています。 **OFF**：呼び出しも転送もしない。 **ファクステンソウ：** 受信してメモリに記憶したファクスメッセージをあらかじめ登録した別のファクシミリに送信します。 **デンワヨビダシ：** ファクスや音声メッセージを受信したとき、あらかじめ登録したポケットベル、携帯電話を呼び出します。	161 〜 163
④リモコン アクセス設定 4.ﾘﾓｺﾝ ｱｸｾｽ ｾｯﾃｲ	170〜171ページを参照してください。	外出先の電話やファクシミリからファクス転送を行うときなどに使用するリモコンアクセスコード（3桁）を設定します。 お買い上げ時は「159 ＊」に設定されています。	164 〜 171

⑤録音時間 5.ﾛｸｵﾝ ｼﾞｶﾝ	◄／►ボタンで ﾛｸｵﾝ 20 ﾋﾞｮｳ 〜 5秒刻み ﾛｸｵﾝ 60 ﾋﾞｮｳ を選びます	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。設定します。20秒〜60秒まで5秒刻みで設定します。 お買い上げ時は「30秒」に設定されています。	158
⑥応答メッセージ 6.ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ	◄／►ボタンで ﾖｳｹﾝ ｵｳﾄｳ F/T ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ を選びます	用件応答（留守番）メッセージと通常モード応答メッセージの録音・再生・消去をします。 **ヨウケンオウトウ：** 用件応答（留守番）メッセージの録音・再生・消去をするときに選びます。 **F/Tオウトウメッセージ：** 通常モード応答メッセージの録音・再生・消去をするときに選びます。	52 〜 53 ・ 145 〜 149
⑦ファクス出力 7.ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ	151ページを参照してください。	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスをプリントおよび消去するときに使用します。	151
⑧応答再生 8.ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲ	◄／►ボタンで ｵｳﾄｳ ｶｸﾆﾝ:ON ｵｳﾄｳ ｶｸﾆﾝ:OFF を選びます	受信モードを「通常モード」や「留守モード」にしたときに、自動的に通常モード応答メッセージや用件応答（留守番）メッセージを再生するか、しないかを設定します。 **ON**：再生する。 **OFF**：再生しない。 お買い上げ時は「ON」に設定されています。	157
⑨トールセーバ 9.ﾄｰﾙ ｾｰﾊﾞ	◄／►ボタンで ﾄｰﾙ ｾｰﾊﾞ:ON ﾄｰﾙ ｾｰﾊﾞ:OFF を選びます	呼出ベル回数により、留守録メモリが受信したメッセージの有無を外出先の電話から確認するか、しないかを設定します。 **ON**：確認する。 **OFF**：確認しない。 お買い上げ時は「OFF」に設定されています。	156 〜 157

留守録メモリを使う

＜留守録メモリの作動のしかた＞

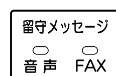
留守録メモリを作動させるには、受信モードボタンを押して「留守モード」にします。「通常」と「FAX専用」モードのランプが両方点灯すると、留守録メモリが作動します。
家族やオフィスでファクシミリをいっしょに使っている人あてにボイスメモを残すこともできます。(159ページ参照)



＜メッセージの確認のしかた＞

操作パネルの留守メッセージランプおよびディスプレイを見て、音声またはファクスメッセージがメモリに記憶されているかどうかを確認できます。

- 音声またはFAXの留守メッセージランプのどちらか一方、または両方が点滅している場合が、メッセージが記憶されています。
  音声メッセージは再生されると、音声ランプは点滅から点灯に変わり、ファクスメッセージがプリントされるとFAXランプは消灯します。音声メッセージが消去されると音声ランプは消灯します。



留守メッセージランプが点滅

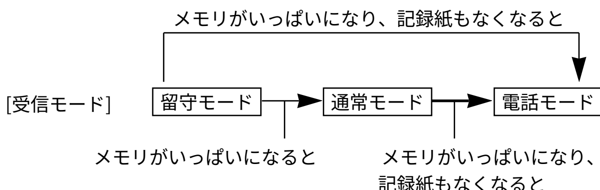
- ディスプレイには、メモリに記憶されている音声・ファクスの数を表示します。

```
オンセイ:03 ファクス:02
オンライン
```

【例】音声メッセージが3件、ファクスメッセージが2件記憶されているとき

メ　モ ●音声メッセージを再生するとき･････････150ページを参照してください。
●ファクスメッセージをプリントするとき･･･････151ページを参照してください。

メ　モ 留守中にメモリがいっぱいになったら
メモリがいっぱいになると、自動的に「通常モード」に切り換わります(受信モードランプの表示は変わりません)。「通常モード」では、送信されてきたファクスメッセージは自動受信します。また、記録紙がなくなると、自動的に「電話モード」に切り換わります。「電話モード」では、電話に出るまで呼出ベルが鳴り続けます。

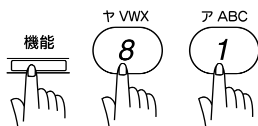


※電話モードでは
ファクスを自動
受信できません。

留守録メモリの設定をする

＜留守録メモリの設定のしかた＞

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 1 を押します。

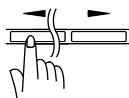


1.メモリ セッテイ

ファクス:ON

ヤジルシボタンデ　センタク

2 ◄／► ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。
【例】「ファクス：ON」に設定するとき



ファクス:ON

3

セット ボタンを押します。



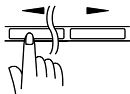
オンセイ:ON

ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛ センタク

4

◄／► ボタンで「ON」、「OFF」または「ソトヅケ」を選びます。

【例】「オンセイ：ON」に設定するとき



オンセイ:ON

5

セット ボタンを押します。

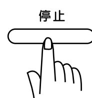


1.メモリ セッテイ

6

停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

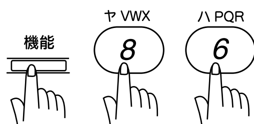


用件応答(留守番)メッセージを録音する[応答メッセージ]

＜用件応答(留守番)メッセージの録音のしかた＞

用件応答(留守番)メッセージを録音します。メッセージの録音時間は２０秒以内です。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 6 を押します。

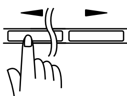


6.ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ

ﾖｳｹﾝ ｵｳﾄｳ

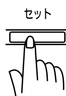
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

2 ◄／► ボタンで「ヨウケン　オウトウ」を選びます。



ﾖｳｹﾝ ｵｳﾄｳ

3 セット ボタンを押します。



ﾛｸｵﾝ/ｼｮｳｷｮ/ｻｲｾｲ?

4 録 音 ボタンを押します。

受話器を取って、メッセージを録音します。



ｼﾞｭﾜｷｦ ｵﾄﾘｸﾀﾞｻｲ

●メッセージは最長２０秒間録音できます。

ｵｳﾄｳﾛｸｵﾝ:15/20

●録音時間の経過時間を表示します。上記は１５秒経過したことを表示しています。

5 録音が20秒前に終わったときは[停 止]ボタンを押すか、受話器を戻します。20秒経過すると自動的に録音が終了します。

録音が終わると自動的に録音されたメッセージを再生します。再生を途中で止めるときは[停 止]ボタンを押します。

再生が終了したら[停 止]ボタンを押します。

お願い

●録音した用件応答(留守番)メッセージは「オンセイ：ON」以外のときは使えません。

メ モ

●本機には、あらかじめ用件応答(留守番)メッセージ・通常モード応答メッセージが登録されています。この機能はオリジナルの応答メッセージを録音したいときにお使いください。
●オリジナルの応答メッセージを登録しないと、あらかじめ登録されている応答メッセージが流れます。
●メッセージを録音し直したいときやメッセージを変更したいときは、手順①から操作してください。
●応答メッセージには、用件応答(留守番)メッセージと通常モード応答メッセージの2つがあります。
●通常モード応答メッセージを録音するときは、手順②で「F/T　オウトウ　メッセージ」を選び録音してください。

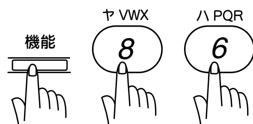
留守番メッセージの参考例

「はい、……です。ただいま留守にしておりますので、電話の方はピーという音のあとにお話ください。ファクスの方はそのまま送信してください。」
・メッセージを録音するときは受話器で録音します。
受話器をやや傾け口元から5～8cm離してください。息が直接受話器にかからず、きれいな音で録音できます。

＜用件応答(留守番)メッセージの再生のしかた＞

用件応答(留守番)メッセージを確認したいときに操作します。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 6 を押します。

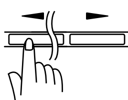


6.ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ

ﾖｳｹﾝ　ｵｳﾄｳ

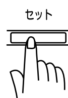
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ　ｾﾝﾀｸ

2 ◄ ／ ► ボタンで「ヨウケン　オウトウ」を選びます。



ﾖｳｹﾝ ｵｳﾄｳ

3 セット ボタンを押します。



ﾛｸｵﾝ/ｼｮｳｷｮ/ｻｲｾｲ?

4 再 生 ボタンを押します。

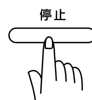
再生が始まります。



ｵｳﾄｳ　ｻｲｾｲ

5 停 止 ボタンを押します。

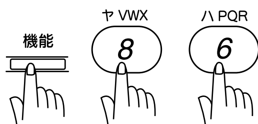
再生が終了します。

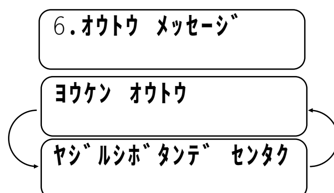


＜用件応答(留守番)メッセージの消去のしかた＞

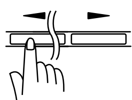
録音した用件応答(留守番)メッセージを消去します。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 6 を押します。



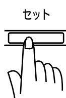


2 ◄ ／ ► ボタンで「ヨウケン　オウトウ」を選びます。



ヨウケン オウトウ

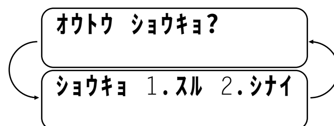
3 セット ボタンを押します。



ロクオン/ショウキョ/サイセイ?

4 消 去 ボタンを押します。

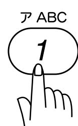




●消去を中止するときはダイヤルボタン 2 を押します。

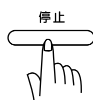
5 ダイヤルボタン[1]を押します。

メッセージが消去されます。



6 [停 止]ボタンを押します。

消去を終了します。



メッセージを聞いたり、プリントする

＜音声メッセージおよびボイスメモの再生＞

音声メッセージおよびボイスメモを再生します。

```
ｵﾝｾｲ:03 ﾌｧｸｽ:02
ｵﾝﾗｲﾝ
```

●音声メッセージが3件、ファクスメッセージが2件あることを表示しています。

1 再 生 ボタンを押します。

最初に音声メッセージが、次にボイスメモが記憶した順に連続して再生されます。




```
ﾖｳｹﾝ01/03
ｵﾝﾗｲﾝ
```

●メッセージを再生する最初の１秒間、ディスプレイには「再生中のメッセージの番号／メッセージの総件数」が表示されます。

```
15:27 '98 01/15
ｵﾝﾗｲﾝ
```

もう一度再生し直したいときは◀ボタンを押します。

メッセージとメッセージ間の「ピー」という音が鳴っているとき◀ボタンを押すと、1つ前のメッセージを再生します。

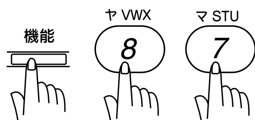
2 停 止 ボタンを押します。

再生が終了します。

＜ファクスメッセージのプリントのしかた＞

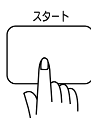
メモリ受信の設定が「ファクス：ON」に設定されているときは、メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスをプリントするとともに、メモリから消去します。

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 7 を押します。

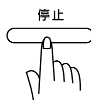


7.ファクス シュツリョク

2 スタート ボタンを押します。



3 プリント終了後、停止 ボタンを押します。

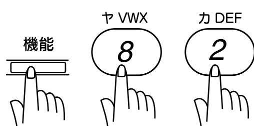


メモ ●メモリに何も蓄積されていないとディスプレイに デ゛ータ ガ゛ アリマセン と表示されますので 停止 ボタンを押してください。

＜バックアッププリントの設定のしかた＞

バックアッププリント機能を「ON」にすると、留守録メモリを「ファクス：ON」に設定したとき、ファクス受信時にファクスメッセージをメモリに記憶すると同時にプリントします。バックアッププリント機能を「OFF」にすると、ファクスメッセージはプリントされずメモリにのみ記憶されます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン8 2を押します。



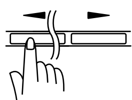
2.ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ﾌﾟﾘﾝﾄ

ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ:ON

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

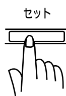
2 ◄／►ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「OFF」に設定するとき



ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ:OFF

3 セットボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。

設定が終了します。



＜音声メッセージとボイスメモを1件ずつ消去する＞

音声メッセージとボイスメモを1件ずつ消去します。

1 再生ボタンを押します。



ヨウケン01/03
オンライン

●メッセージを再生する最初の1秒間、ディスプレイには「再生中のメッセージの番号／メッセージの総件数」が表示されます。

2 消去ボタンを押します。

次の音声メッセージまたはボイスメモの始まりを示す「ピー」という音が聞こえる前に押します。



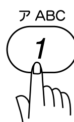
コノ ヨウケン ショウキョ?
オンライン

ショウキョ 1.スル 2.シナイ
オンライン

●消去しないときはダイヤルボタン2を押します。

3 ダイヤルボタン1を押します。

1件目のメッセージを消去した後、2件目のメッセージを再生します。続けてメッセージを消去するときは手順2からの操作を繰り返します。



4 停止ボタンを押します。

消去が終了します。



＜音声メッセージ・ボイスメモ・ファクスメッセージを一度にすべて消去する＞

すべての音声メッセージとボイスメモおよびファクスメッセージを一度に消去します。

オンセイ:03 ファクス:02
オンライン

●音声メッセージ、ボイスメモが3件、ファクスメッセージが2件あることを表示しています。

1

消 去ボタンを押します。



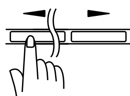
オンセイ ショウキョ?
オンライン

ヤシ゛ルシホ゛タンテ゛ センタク
オンライン

2

◄／►ボタンで「オンセイ　ショウキョ？」「ファクス　ショウキョ？」「リョウホウ　ショウキョ？」のいずれかを選びます。

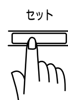
【例】「オンセイ　ショウキョ？」(すべての音声メッセージとボイスメモを消去)を設定するとき



オンセイ ショウキョ?
オンライン

3

セットボタンを押します。



オンセイ ショウキョ?
オンライン

ショウキョ 1.スル 2.シナイ
オンライン

●消去しないときはダイヤルボタン2を押します。

4 ダイヤルボタン[1]を押します。

消去を終了します。



メモ

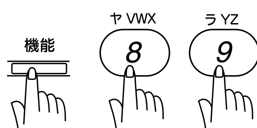
- ファクスメッセージを消去するときは、まだ一度もプリントされていないファクスメッセージは消去される前に自動的にプリントされます。
- 音声メッセージとボイスメモを消去するときは、手順2で「オンセイ　ショウキョ？」を選びます。
- ファクスメッセージを消去するときは、手順2で「ファクス　ショウキョ？」を選びます。
- 音声メッセージとボイスメモおよびファクスメッセージを消去するときは、手順2で「リョウホウ　ショウキョ？」を選びます。

トールセーバ(通話料節約)機能を設定する

トールセーバ(通話料節約)機能は、ファクスにメッセージが受信されているかどうかを外出先の電話から確認する機能です。「呼出ベル回数」によりメッセージが記憶されているかどうか確認することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

> **メッセージが記憶されているとき：呼出ベルが2回鳴ってから電話回線がつながります。**
> **メッセージが記憶されていないとき：呼出ベルが4回鳴ってから電話回線がつながります。**

1 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 9 を押します。



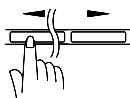
9.トール セーバ゛

トール セーバ゛:OFF

ヤジ゛ルシボ゛タンデ゛ センタク

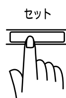
2 ◄／► ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「ON」にするとき



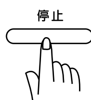
トール セーバ゛:ON

3 セット ボタンを押します。



4 停止 ボタンを押します。

設定が終了します。

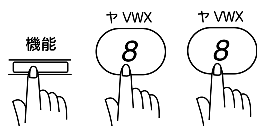


メ モ
- ●メッセージが記憶されていないときは、電話がつながる前に電話を切ることができるため通話料を節約できます。
- ●メッセージが記憶されているときのメッセージの取り出しかたは164ページを参照してください。
- ●トールセーバを「OFF」に設定しているときは、呼出ベルはあらかじめ設定された回数鳴ります。

応答メッセージの自動再生を設定する

[受信モード]ボタンを押して受信モードを「留守モード」や「通常モード」にしたときに、自動的に通常モード応答メッセージや用件応答(留守番)メッセージを再生するかしないかを設定します。お買い上げ時は「ON」(応答メッセージを自動的に再生する)に設定されています。

1 [機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[8][8]を押します。



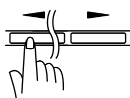
8.オウトウ サイセイ

オウトウ カクニン:ON

ヤジルシボタンデ センタク

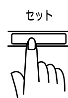
2 [◄]／[►]ボタンで「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「OFF」にするとき



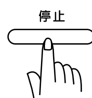
オウトウ カクニン:OFF

3 [セット]ボタンを押します。



4 [停 止]ボタンを押します。

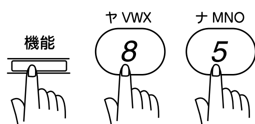
設定が終了します。



音声メッセージの最長録音時間を設定する

音声メッセージの最長録音時間を、20秒から60秒まで5秒刻みで設定することができます。
お買い上げ時は「30秒」に設定されています。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 5 を押します。



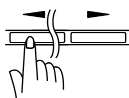
5.ﾛｸｵﾝ ｼﾞｶﾝ

ﾖｳｹﾝ 30 ﾋﾞｮｳ

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

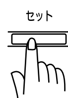
2 ◄／► ボタンを押して、最長録音時間を選びます。

【例】25秒に設定するとき



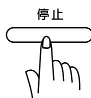
ﾖｳｹﾝ 25 ﾋﾞｮｳ

3 セット ボタンを押します。



4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。



メ モ ●ここで設定した最長録音時間は、ボイスメモ、音声アラームメッセージの録音時間にも適応されます。

会話やボイスメモを録音する

＜会話録音のしかた＞

1 受話器で通話中に 録 音 ボタンを押すと、その会話(最長録音時間以内)を録音します。



メ　モ

●録音した会話内容は、音声メッセージおよびボイスメモと同じ方法で、再生・消去することができます。再生については150ページ、消去については153ページを参照してください。
●オンフック時は会話録音できません。

＜ボイスメモの録音のしかた＞

自宅や職場でいっしょにファクシミリを使っている人あてにボイスメモを録音します。

1 録 音 ボタンを押します。



ｼﾞｭﾜｷｦ ｵﾄﾘｸﾀﾞｻｲ

2 受話器を取ってボイスメモを録音します。

ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾛｸｵﾝ: 00/30

●音声メッセージの最長録音時間以内で録音できます。

ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾛｸｵﾝ: 20/30

●録音の経過時間を表示します。上記は20秒経過したことを表示しています。

3 録音が最長録音時間以内に終わったときは 停止 ボタンを押すか、受話器を戻します。最長録音時間を経過すると自動的に録音が終了します。

メ　モ ●ボイスメモの再生については150ページ、消去については153ページを参照してください。

留守録お知らせ(電話呼び出し機能)とファクス転送を設定する

「留守」モードで、音声メッセージまたはファクスメッセージがメモリに記憶されると、それを外出先の電話に知らせる(留守録お知らせ＜電話呼び出し機能＞)か、またはファクスメッセージを転送する(ファクス転送)ことができます。

＜留守録お知らせ(電話呼び出し機能)とファクス転送について＞

●留守録お知らせ(電話呼び出し機能)がどのようにはたらくか

留守中に音声メッセージまたはファクスを受信します。

↓

音声メッセージまたはファクスメッセージをメモリに記憶します。

↓

登録した電話転送番号にダイヤルします。

↓

電話に出ると「ポッポッ」という音でメッセージが記憶されたことを知らせます。

●ファクス転送がどのようにはたらくか

留守中にファクスを受信します。

↓

ファクスメッセージをメモリに記憶します。

↓

登録したファクス転送番号にダイヤルします。

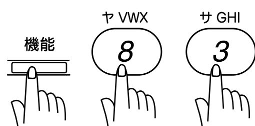
↓

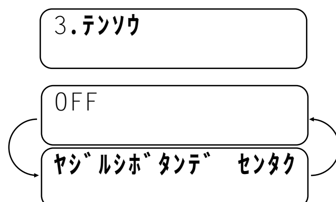
記憶したファクスメッセージを転送先のファクシミリに送信します。

<留守録お知らせ(電話呼び出し機能)およびファクス転送の設定と転送番号を登録する>

留守録お知らせかファクス転送のどちらかに設定し、転送先の電話番号を登録します。

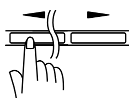
1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン8 3を押します。





2 ◄／►ボタンを押して、「デンワ　ヨビダシ」または「ファクス　テンソウ」を選びます。

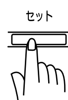
【例】「デンワ　ヨビダシ」に設定するとき

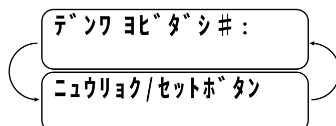


ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ

●「OFF」に設定したときは手順5に進みます。

3 セットボタンを押します。





4 ダイヤルボタンで転送番号を入力します。

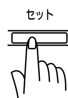


ﾀﾞｼ#:052824△△55

●転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。

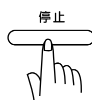
●最大20桁まで入力できます。

5 セットボタンを押します。



6 停止ボタンを押します。

設定と登録が終了します。



お願い

- 留守番お知らせ(電話呼び出し機能)とファクス転送を同時に使用することはできません。
- ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。(168ページ参照)
- 留守録お知らせ(電話呼び出し機能)の転送先電話番号は外出先から変更することはできません。

メモ

- 留守録お知らせ(電話呼び出し機能)は、音声メッセージおよびファクスメッセージのメモリへの記憶をもとに作動するため、留守録メモリの「ファクス：OFF／オンセイ：OFF」のモードでは使用できません。
- ファクス転送は、留守録メモリの「ファクス：ON」に設定したときのみ使用できます。
- 留守録お知らせ(電話呼び出し機能)を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせ、外出先の電話からリモコンアクセスコードを使用して音声メッセージを聞くことができます。電話番号にポケットベルや携帯電話の番号を登録することもできます。
- 留守録メモリのバックアップ
  メモリのバックアップ用バッテリーの満充電には、このファクシミリの電源プラグを差し込んでから2〜3日が必要です。満充電では停電になっても数時間はメモリに記憶されたメッセージは保持されます。
- 転送されてきた電話に出ると「ポッポッ」という音が続けて聞こえてきます。リモートアクセスコードがこの音と重なるとリモコンアクセスが受けられませんので「ポッポッ」という音が終わったらすぐにリモコンアクセスコードを入れてください。

外出先からファクスを取り出す[リモコンアクセス設定]

外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またトーン(PB)信号が送出できるファクシミリを使い、リモコンアクセスコードやリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

メ　モ

●リモコンアクセスコードは、外出先のファクシミリから本機をリモートコントロールさせるための番号です。
●リモコンアクセスコードは、お買い上げ時は「159＊」に設定されていますが、自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたは、170ページの「リモコンアクセスコードの設定のしかた」を参照してください。
●リモコンアクセスコードを使用するときは、3桁の数字と＊を押してください。
●リモコンアクセスコードは、いろいろな操作を指示するための番号です。
●リモコンアクセスでメモリ受信されたファクスを取り出したいときは、ファクス転送の設定を「OFF」に設定してください。(162ページ参照)
●トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。

＜基本的なリモコンアクセスのしかた＞

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

2 本機が応答し、約4秒間無音状態になりますので、その間にリモコンアクセスコードをダイヤルボタンで入力します。

3 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示します。

「ポー」(1回)　：ファクスメッセージを蓄積しています。
「ポーポー」(2回)　：音声メッセージを蓄積しています。
「ポーポーポー」(3回)　：ファクスと音声の両方のメッセージを記憶しています。

メモリに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順4に進みます。

4 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンド(166ページ参照)をダイヤルボタンで入力します。

- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返しリモコンアクセスコードを入力してください。回線状態などによりリモコンアクセスコードを受けられないことがあります。
- 1つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。

5 リモコンアクセスを終了するときは、ダイヤルボタンで[9][0]を入力します。

メモ

- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。(正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます)
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

メモ **リモコンアクセスコードをいつ入力するのか**

●通常モードのとき

本機が応答すると、メッセージが流れる前に約4秒間無音状態がありますので、この間に入力してください。

●留守モードのとき

本機が応答すると、用件応答(留守番)メッセージが聞こえてくる前に約4秒間の無音状態がありますので、この間に入力してください。

●FAX専用モードのとき

本機が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

●電話モード

呼出ベルが約40回鳴るまで待った後約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。

リモコンアクセスコマンド

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機をリモートコントロールすることができます。

リモコンアクセスコマンド		機　　能
91		留守録メモリで受信した音声メッセージなどを再生します。
	1	再生中のメッセージをもう一度聞き直したいときに押します。メッセージが始める前に1ボタンを押すと前のメッセージを再生します。
	2	再生中のメッセージをとばし、次のメッセージを再生します。
	9	再生を中止します。
92		ボイスメモを録音します。録音を中止するときは9ボタンを押します。
93		留守録メモリで受信した音声メッセージ、ボイスメモをすべて消去します。「ピピピッ」という音が聞こえたら、一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去する音声メッセージなどがないことを表しています。 音声アラームメッセージは消去されません。 ※このコードは一度にすべてのメッセージを消去します。1件ずつの消去はできません。
9411		用件応答(留守番)メッセージを再生します。再生を中止するときは9ボタンを押します。
9412		F/T応答メッセージを再生します。再生を中止するときは9ボタンを押します。
9421		用件応答(留守番)メッセージを録音します。録音を中止するときは9ボタンを押します。
9422		F/T応答メッセージを録音します。録音を中止するときは9ボタンを押します。
951		転送を「OFF」に設定します。
952		ファクス転送に設定します。
953		電話転送に設定します。
954		ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が「ON」になります。(その後955により確定されると、転送を開始します)

955	ファクス転送番号の登録や変更をし、メモリ使用状況リストで転送番号が正しく入力されていることを確認した後、転送番号を確定します。
961	メモリ使用状況リストを取り出します。
962	メモリに蓄積されたファクスメッセージを取り出します。
963	メモリに蓄積されたファクスメッセージを消去します。
971	ファクスを受信し、メモリに蓄積されているか確認します。ファクスを受信しているときは「ピー」という応答音が、受信していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。
972	音声メッセージをメモリに蓄積しているか確認します。音声メッセージを蓄積しているときは「ピー」という応答音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。
981	受信モードを「留守」モードに変更します。
982	受信モードを「通常」モードに変更します。
983	受信モードを「FAX専用」モードに変更します。
90	リモコンアクセスを終了します。

＜リモコンアクセスの具体的な操作例＞

1.外出先からファクスを取り出すとき

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2 本機の電話番号をダイヤルします。

3 本機が応答したら、1 5 9 * (リモコンアクセスコード)を入力します。

4 「ポー」という応答音が1回かまたは3回聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。

5 取り出したいファクスが蓄積されているときは、「ピピッ」という音が鳴り出したときに、[9][6][2]を入力し、続けてメッセージ番号と[0][0]を入力します。1件目のファクスを取り出すときは、[0][1]と[0][0]を続けて入力します。また、全部のファクスを取り出すときは、メッセージ番号を入力せずに[0][0]だけを入力します。

6 「ポーポー」という応答音が聞こえたら、受話器を上げたまま、[スタート]ボタンを押します。ファクスがプリントされます。

7 [9][0]を押して、リモコンアクセスを終了します。

8 受話器を戻します。

※[1]、[2]、[5]、[6]、[9]、[0]、[*]、[スタート]の各ボタンは、外出先のファクシミリの操作ボタンを表します。

お願い

●続けてファクスを取り出すときは
1件目と2件目のファクスを取り出すときは、メッセージ番号[0][1]と[0][2]の後続けて[0][0]を入力します。

2.外出先からファクス転送番号を変更したいとき

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2 本機の電話番号をダイヤルします。

3 本機が応答したら、[1][5][9][*](リモコンアクセスコード)を入力します。

4 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 5 4を入力します。

5 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力します。

転送番号は最大20桁まで入力できます。

6 新しい転送番号の入力が終わったら、#を押します。

7 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 6 1を入力します。

8 「ポーポー」という応答音が聞こえたら、スタートボタンを押します。受話器は持ったままにします。

9 メモリ使用状況リスト(129ページ参照)がプリントされます。リストを見て、新しい転送番号が正しく入力されているか確認します。

お願い

- ＊や#は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、＊を使います。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順③の操作を行ってください。

10 新しい転送番号が正しければ、「ピピッ」という音か鳴り出したときに9 5 5を入力して、転送番号を確定します。
もし間違っているときは、「ピピッ」という音が続けて鳴っている間に9 5 4を入力し、手順5に戻り正しい転送番号を入力し直します。

11 9 0を押して、リモコンアクセスを終了します。

12 受話器を戻します。これで本機はファクス転送を行う準備が整いました。

転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が「ON」になります。

※ [1]、[4]、[5]、[6]、[9]、[＊]、[#]や[スタート]の各ボタンは、外出先のファクシミリの操作ボタンを表します。

＜リモコンアクセスコードの設定のしかた＞

外出先から本機をリモートコントロールするために、リモコンアクセスコード(3桁の数字と＊)を設定します。
お買い上げ時は「159＊」に設定されています。

1 [機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[8][4]を押します。



3.ﾘﾓｺﾝ ｱｸｾｽ ｾｯﾃｲ

ｱｸｾｽﾊﾞﾝｺﾞｳ:159＊

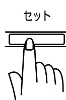
2 ダイヤルボタンで新しいリモコンアクセスコードを入力します。

【例】「160＊」に設定するとき



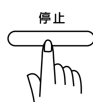
ｱｸｾｽﾊﾞﾝｺﾞｳ:160＊

3 [セット]ボタンを押します。



4 停止ボタンを押します。

設定が終了します。



メモ

●リモコンアクセスコードは、「3桁の数字」を入力してください。4桁目の ＊ は変えることができません。01 ＊ 、02 ＊ などは設定できません。

音声アラームの使いかた

音声アラーム機能を使うと、指定した時刻にあらかじめファクシミリに録音しておいた音声アラームメッセージがスケジュールを知らせてくれます。忘れてはならない重要な会議、電話する約束などスケジュール管理に役立ちます。記憶できるスケジュールは向こう1週間分です。

＜音声アラーム機能の設定のしかた＞

音声アラームを設定するほか、日付、時刻の登録と、音声アラームメッセージの録音をします。

1

機能ボタンを押します。



ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

2

ディスプレイに[ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ　]と表示されたときに、録音ボタンを押します。



ｽｹｼﾞｭｰﾙ

2秒間待ちます。

ｼﾃｲﾋﾞ=ｷｮｳ

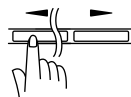
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ　ｾﾝﾀｸ

●曜日の入力を促す表示になります。

3

◄／►ボタンを押して、曜日を選びます。今日が水曜日ならば、「今日」、「明日」、「金曜」、「土曜」、「日曜」、「月曜」、「火曜」の内のいずれかを選びます。

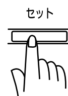
【例】「土曜」に設定するとき



ｼﾃｲﾋﾞ=ﾄﾞﾖｳﾋﾞ

4

セット ボタンを押します。



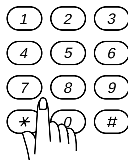
シテイジコク=15:25

●現在の時刻が表示されます。

5

ダイヤルボタンで音声アラーム時刻(24時間制)を入力します。

【例】午後8時(20:00)に設定するとき



シテイジコク=20:00

6

セット ボタンを押します。

ロクオンヲ オシテクダサイ

7

録 音 ボタンを押します。

ジュワキヲ オトリクダサイ

8

受話器を取って、音声アラームメッセージ(最長録音時間以内)を録音します。

ロクオンチュウ=01/20

●最長録音時間が20秒に設定されているとき

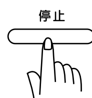
ロクオンチュウ=18/20

●録音の経過時間を表示します。上記は18秒経過したことを表示しています。

9

停 止 ボタンを押すか、または受話器を戻します。

録音が終了します。



お願い

●[機 能]ボタンを押したあと、2秒以内(ディスプレイに[ﾆｭｳﾘｮｸｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ]と表示されている間に)[録 音]ボタンを押さないと、音声アラームを入力することができません。
●音声アラームメッセージの数は、メモリに受信した音声メッセージの総数には加算されません。

音声アラームメッセージの録音

1. 音声メッセージの録音時間は、20～60秒の間に設定することができます(158ページ参照)。音声アラームメッセージに合わせて最長録音時間を設定したときは、その設定が音声メッセージ、ボイスメモにも適用されます。
2. 記憶できるメッセージ(音声アラームメッセージとボイスメモの合計)の数は最大99件です。

音声アラームメッセージの例

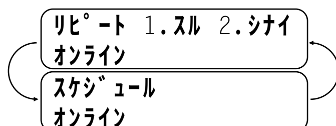
「1月15日、午後1時30分、集会所でミーティングあり。」
「1月15日、午後2時、山下商事の井上さんに電話すること。」
「1月16日、午前10時、歯医者に予約。」
「佐藤さん、1月15日、午後4時に、会議室で行われる営業会議に出席していただけないでしょうか。」

・外出先からファクシミリに電話をかけて、音声アラームメッセージを再生するときは、ディスプレイの日時が確認できないため、音声アラームメッセージの中にメッセージの一部として日時もいっしょに録音することをおすすめします。

<セットされた時刻になると、音声アラームがどのように作動するか>

音声アラームを午後3時25分に設定したときは、次のようになります。

1 ディスプレイにセットした時刻が表示され、続いて「ピピピピッ」という音がして、音声アラームメッセージが一度だけ再生されます。



2 音声アラームメッセージの再生が終了します。

リピート 1.スル 2.シナイ
オンライン

スケジュール
オンライン

3 もう一度、音声アラームメッセージを再生するときはダイヤルボタン[1]を押します。再生が必要のないときはダイヤルボタン[2]を押します。

10秒間、ダイヤルボタン[1]も[2]も押されないときは、待機状態に戻ります。

お願い

- 「ピピピピッ」という音や音声アラームメッセージの再生を中止したいときには、[停止]ボタンを押してください。
- ファクス通信中、通話中、メモリにファクスメッセージを読み込み中または留守録メモリ作動中には、音声アラームメッセージは再生されません。これらが終了した後で音声アラームメッセージは再生されます。
- 音声アラームメッセージは、再生されると自動的に消去されます。現在の曜日と時刻を設定し直したときに、現在の時刻以前に再生されるはずの音声アラームメッセージがあるときには、その音声アラームメッセージがすぐに再生され、消去されます。
- 同じ曜日の同じ時刻に2つの音声アラームを設定したときは、次々に再生されます。

＜音声アラームメッセージの再生と消去のしかた＞

●音声アラームメッセージを再生するとき

[機能]ボタンを押し、すぐに[再生]ボタンを押します。
音声アラームメッセージ再生中は、ディスプレイにその音声アラームメッセージの日時が表示されます。

●音声アラームメッセージを消去するとき(1件ずつまたは全部)

[機能]ボタンを押し、すぐに[消去]ボタンを押します。
再生および消去のしかたは、150、153、154ページの「メッセージを聞いたりプリントする」を参照してください。

お願い

- [機能]ボタンを押したあと、2秒以内(ディスプレイに[ﾆｭｳﾘｮｸｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ]を表示している間)に、[再生]ボタンまたは[消去]ボタンを押さないと、音声アラームメッセージを再生したり、消去することはできません。
- [機能]ボタンを押さないと、[再生]ボタンだけを押すと、音声メッセージとボイスメモが再生されるだけで、音声アラームメッセージを再生することはできません。
- [機能]ボタンを押さないで、[消去]ボタンだけを押すと、音声メッセージとボイスメモが消去できるだけで、音声アラームメッセージを消去することはできません。

＜音声アラームのリモート操作のしかた＞

外出先から、本機に電話をかけて、音声アラームメッセージを聞くことができます。164ページの「基本的なリモコンアクセスのしかた」を参照してください。

8章

プリンタとして利用する

使用可能な用紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズでのみプリントできます。

種　類	サイズ
普通紙	A4、レター、リーガル、B5、A5、 （70－216mm×127－356mm）
封筒	洋形4号、洋形定型最大
はがき	100×148mm
ラベル･OHP用紙	70－216mm×127－356mm

セットできる用紙枚数

マルチパーパスシートフィーダー：高さ22mm(給紙ガイドの▼マークまで)
A4(75g/m²紙)約200枚
A4(158g/m²紙)約50枚
封筒10枚
官製はがき 約30枚
OHP用紙 約50枚

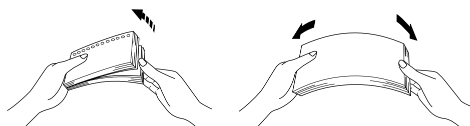
	普通紙	封筒
坪量	64～158g/m²	75～90g/m²
厚さ	0.08～0.2mm	0.084～0.14mm

推奨紙

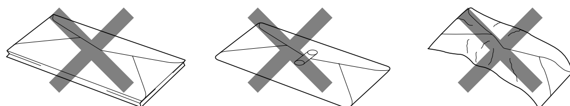
普通紙:三菱製紙スピードダイヤ
封筒:Life E506/B、Life E505/B
ルーズリーフ･システム手帳用紙:ENXS社製
ラベル:エーワンレーザーラベル28352
OHP用紙:住友3M CG3300

メモ
●特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初にテストを行ってください。
●一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。
●ビニールコーティングされた用紙を使用しないでください。
●すでに印刷されている用紙、または極端になめらかな用紙は使用しないでください。
●印刷品質をより良くするために、特に普通紙、OHP用紙などには、弊社推奨品をご使用ください。記録紙の種類などについて、詳しくはお買い上げ販売店、またはブラザーの営業所・支店にご相談ください。
●宛名ラベル、OHP用紙などは、レーザープリンタ用のものをお使いください。
●最高の印字品質を得るために、たて目用紙を使用されることをお勧めします。
●特別な用紙を使用中、マルチパーパスシートフィーダーからうまく給紙できない場合、手差しスロットから給紙を試してください。
●本機は、再生紙を使用できます。

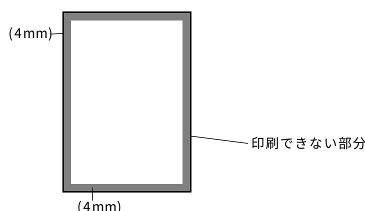
メモ
●ルーズリーフなど、穴の開いた用紙を使用する前には、紙を良くさばいて、給紙がスムーズになるようにしてください。
●用紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの用紙をご使用になりますと、用紙づまりなどの原因になります。



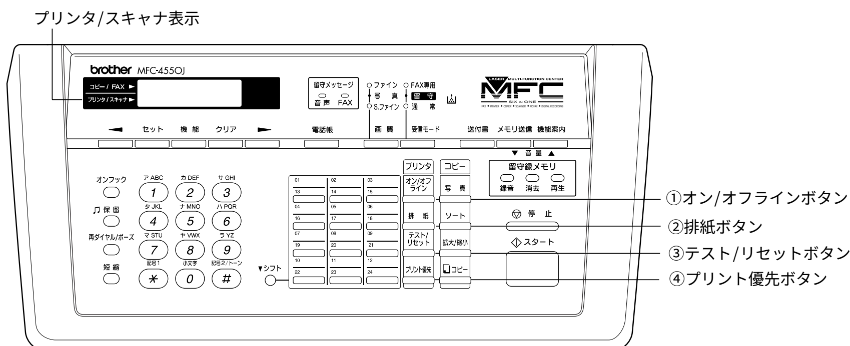
●以下のような封筒は使用しないでください
・長形封筒
・傷がついていたり、カールしていたり、しわが入っている封筒
・規格外の封筒
・表面に光沢があったり、表面がすべりやすい封筒
・留め金つきの封筒
・ふたに粘着のりがついた封筒
・マチ付の封筒
・きちんと折り目がついていない封筒
・エンボス加工(紙に凹凸がある)を施した封筒
・一度レーザープリンタで印刷された封筒
・内側にすでに印刷されている封筒
・積み重ねたときに、一定に積み重ねられない封筒



●印刷可能範囲は、用紙の端から約4mm内側から始まります。



コントロールパネルキー



同時作業について

ファクス送・受信中、または画像をスキャニング中に、パソコンからのデータをプリントできます。コピー中や受信したファクスをプリント中には、それらの作業が終了するまで、パソコンのプリントを中断します。

①オン/オフラインボタン

プリンタの状態をオンライン(パソコンからのデータ送信が可能な状態)またはオフライン(パソコンからのデータを受信できない状態)に切り換えます。プリンタが オ™ンライン のときには、ディスプレイに「オンライン」と表示され、排 紙 ボタン、テスト/リセット ボタンを使用することはできません。

②排紙ボタン

<記録紙排出>

ディスプレイに ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ と表示されているとき、オン/オフライン ボタンを押してオフライン状態にし、このボタンを押してください。プリンタメモリに残っているデータをプリントします。

ワンポイント:本機は自動でメモリ内に残っているデータをプリントします。

<エラー解除>
メモリ不足などのエラーが起きると、そのエラーを自動的に解除しようとします。しかし自動的にエラーを解除できない場合は、このボタンを押してエラーを解除し、プリント作業を続けることができます。

③テスト/リセットボタン

<テストプリント>
テストサンプルページをプリントするときに押します。データがプリンタメモリに残っている場合、オン/オフラインボタンを押してプリンタをオフライン状態にし、排 紙ボタンを使ってデータを排出して、それからテスト/リセットボタンを押してください。プリンタメモリに残っているデータを先にプリントし、その後でテストサンプルページをプリントします。オンライン状態のとき、テストサンプルページはプリントできません。

<リセット>
シフトボタンを押しながらこのボタン押すと、プリンタメモリ内に蓄積されているデータをすべて消去します。

④プリント優先ボタン

プリンタモード専用にするときに押します。すべてのファクスデータは記録紙にプリントされるかわりにメモリに蓄積されます。もう一度このボタンを押すと、パソコンのデータが送信されないか、または本機がプリントを終了したら、プリント優先設定を終了します。このボタンを押すと、プリンタとして使うメモリを増やすことができます。

メ　モ

Windows®からのプリント

Microsoft® Windows® 95、3.1専用のプリンタドライバ、TrueType™対応フォントが同梱されているフロッピーディスクに入っています。これらはお使いのWindows®システムに簡単にインストールできます。このドライバは、Windows®アプリケーションソフトウェアからのプリントスピードを早くするブラザー独自の圧縮モードを採用しています。エコノミー印刷モードや、カスタム用紙サイズなどのさまざまなプリント設定をすることができます。

容量の大きなデータのプリント

本機には、自動的にグラフィック(画像)データを圧縮し、ブラザー独自のデータ圧縮技術を用いられています。これにより、メモリ容量不足などによるエラーを回避し、本機の標準メモリでほとんどの600dpiグラフィックデータやテキストデータ(大きなフォントも含む)をプリントすることができます。

マルチパーパスシートフィーダー

本機には普通紙、封筒、はがきなどの各種の用紙を使用できるマルチパーパスシートフィーダーがあります。
本機がプリントデータを受け取ると、マルチパーパスシートフィーダーから用紙を取り込んでプリント作業を行います。

1 印刷の画面で設定内容を確認し、<OK>ボタンをクリックします。

```
'98 01/15  15:25
ｵﾝﾗｲﾝ
```

2 パソコンが本機にプリントコマンドとプリントデータを送ると、スリープ状態になっていても自動的にオンライン状態になります。(110ページを参照)

```
'98 01/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ
```

3 パソコンが最初のページのデータを送り終わると、プリントを開始します。

```
'98 01/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

4 その次のページ以降は、自動的にプリントします。

【例】2ページ目のとき

```
'98 01/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

5 すべてのページのプリントが終了すると、オンライン状態に戻ります。

```
'98 01/15  15:25
ｵﾝﾗｲﾝ
```

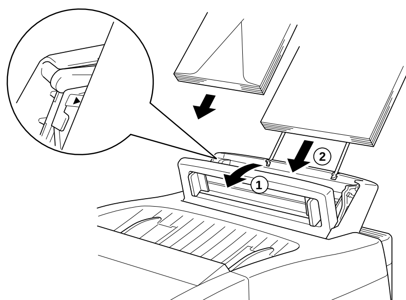
プリンタメモリ内にまだデータが残っているとき(最後の１ページがプリントされないときなど)は、オン/オフライン ボタンを押し、次に 排紙 ボタンを押してください。

```
'98 01/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

メ　モ
- アプリケーションソフトウェアから､用紙サイズ､用紙方向などを設定できます。
- アプリケーションソフトウェアがカスタム用紙サイズをサポートしていない場合は、カスタム用紙サイズより大きめの最も近いサイズの用紙を選択して、アプリケーションソフトウェアで上下左右の余白(マージン)を変更して、印字範囲を調節してください。

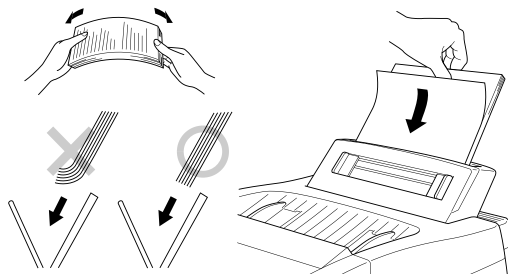
お願い
宛名ラベルやOHP用紙をプリントする際は､手差しスロットをご使用になることをおすすめします。詳しくは､次の「手差しスロット」をご覧ください。

メ　モ
封筒にプリントする際は､必ず下記の手順で封筒をセットしてください。



両面印刷

付属のWindows® 95または3.1のプリンタドライバは､両面印刷が可能です。設定のしかたについては､プリンタドライバのヘルプを参照してください。
本機は最初に偶数ページをプリントし、その後に奇数ページをプリントします。片面のプリントが終わったら､パソコンの画面に用紙をもう一度セットするように促すポップアップメッセージが表示されます。正しい手順でもう一度用紙をセットしてください。
用紙をもう一度セットする前に､用紙をよく揃えてください。きちんと用紙が揃っていないと､用紙づまりの原因になります。極端に薄い､または厚い用紙を使用しないでください。給紙の際に２回続けて給紙エラーを起した場合は､給紙のときに最初に取り込まれる用紙以外を手で押さえていてください。



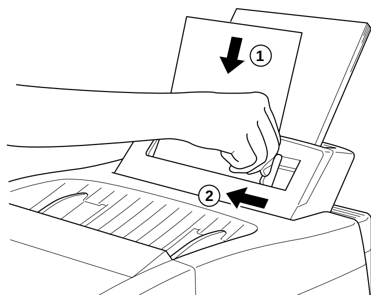
お願い
両面印刷機能を使用すると､用紙づまりや印刷品質が低下することがあります。

手差しスロット

マルチパーパスシートフィーダーには、手差しスロットがついています。手差しで給紙するときもマルチパーパスシートフィーダーにセットしてある用紙を取り除く必要はありません。宛名ラベルやOHP用紙などをプリントする際は、手差しスロットをご使用ください。使用できる用紙については、178ページの「使用可能な用紙」を参照してください。

１枚だけ給紙する

プリンタドライバの[設定]画面から、「手差し」を選択する必要はありません。用紙は手差しスロットにプリントする面を下にし、用紙方向(縦／横)を確認して挿入します。用紙をまっすぐにし、手差しスロットの中央にセットします。手差しスロットの用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。



１枚以上給紙する

プリンタドライバの[設定]画面を開き、給紙方法で「手差し」を選択します。前項の「１枚だけ給紙する」の手順に従って最初の用紙を給紙すると、自動的にプリントを開始します。最初のページをプリントし終わったら、パソコンの画面に次の用紙をセットするように表示されます。用紙をセットし、<OK>ボタンをクリックするとプリントを再開します。すべてのページのプリントを終わるまで、この手順を繰り返してください。

メ　モ

1.ワープロなどお使いのアプリケーションソフトウェアから、給紙方法、用紙サイズ、用紙方向を選ぶことができます。

2.給紙方法で「手差し」を選択していないときに手差しスロットに用紙をセットした場合は、最初のページを手差しスロットから給紙し、残りのページをマルチパーパスシートフィーダーから給紙します。

3.お使いのアプリケーションソフトウェアで使用したい用紙サイズをサポートしていない場合は、それよりひとつ大きな用紙サイズを選び、上下左右の余白(マージン)を変更して、印字範囲を調節してください。

4.手差し印刷を途中で止めたい場合、［シフト］ボタンと［テスト/リセット］ボタンをいっしょに押すか、パソコンからの操作で中止することができます。

5.手差しスロットで給紙するときは、［プリント優先］ボタンを押してください。このボタンを押すと、ファクスを受信したときでもプリント作業が中断されることがはありません。ファクス受信したときは本機のメモリ内に蓄積されます。パソコンからのデータのプリントを続ける場合は、１ページのプリントが終了するごとに［排 紙］ボタンを押してください。

メ　モ

記録紙トレイ

●本機は、プリントし終わった用紙を前面にある記録紙トレイに、プリントした面を下にして排出します。

●OHP用紙などにプリントする場合、用紙づまりや用紙のカールを防ぐために、プリントし終わった用紙はすぐに記録紙トレイから取り除いてください。

9章

こんなときには

お手入れのしかた

いつも快適にご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。

<キャビネットの清掃>

キャビネットを乾いた布で軽く拭きます。

お願い ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、水、アルコールは絶対に使用しないでください。

<読取部の清掃>

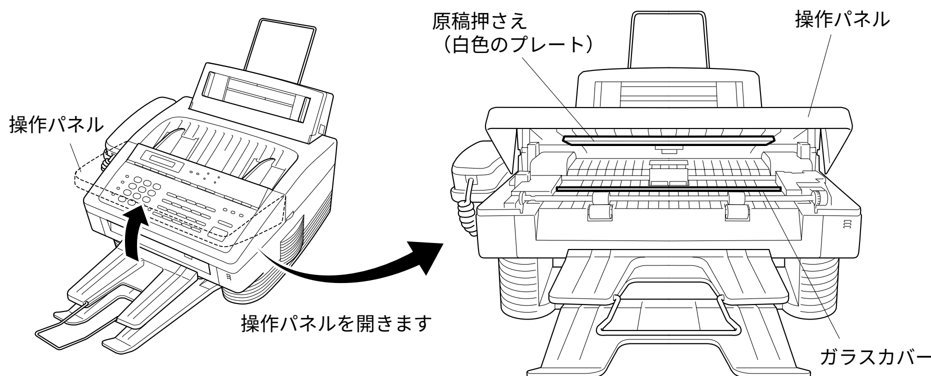
読取部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。いつもきれいな画質を得るために読取部の清掃を行ってください。

1 電源を切り、電源プラグを抜きます。

2 操作パネルを開きます。

3 読取部を清掃します。柔らかい布にアルコールを浸して、原稿押さえ(白色のプレート)とガラスカバーをきれいに拭きます。

お願い 操作パネルは、アルコールを浸した布で絶対に拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。



＜金属部の清掃＞

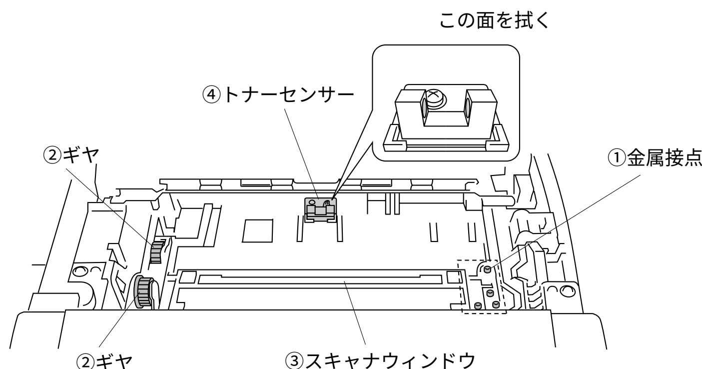
金属接点が汚れていると、動作不良を起こしたり、間違ってエラーメッセージを表示することがあります。いつも快適にご使用いただくために金属接点の清掃を行ってください。

1 電源を切り、電源プラグを抜きます。

2 柔らかい布や綿棒にアルコールを浸して、①の金属接点と②のギヤを拭きます。

3 柔らかい乾いた布で、③のスキャナウィンドウと④のトナーセンサー部を軽く拭きます。

お願い ③のスキャナウィンドウと④のトナーセンサー部は、アルコールを浸した布では絶対に拭かないでください。



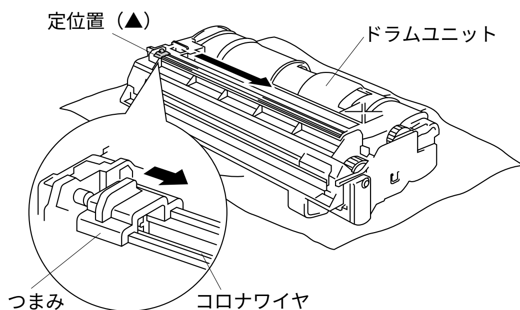
＜ドラムユニットの清掃＞

1 トナーカートリッジのシャッターレバーが手前側に倒れていることを確認します。

2 平らな場所にトナーで汚れてもよい紙などを敷き、ドラムユニットを裏返して置きます。

3 つまみを左右に数回動かして、コロナワイヤを清掃します。(つまみを左右に動かすことにより、コロナワイヤの清掃ができます)

4 つまみを定位置(▲マーク)に戻します。清掃後は、必ず定位置に戻してください。



紙づまり

原稿や記録紙がつまったときは、ブザーが鳴り、ディスプレイに次のようなエラーメッセージが表示されます。

ｹﾞﾝｺｳ ﾂﾏﾘ	……原稿がつまったとき
ｷﾛｸｼ ﾂﾏﾘ	……記録紙がつまったとき

＜原稿がつまったときは＞

次の手順でつまった原稿を取り除きます。

1 繰り込まれていない原稿を取ります。

2 操作パネルを開きます。

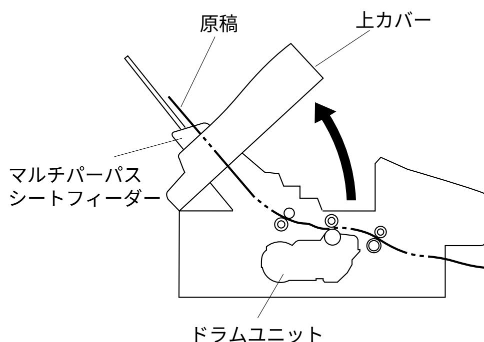
3 つまった原稿を手前に引き、取り除きます。

4 操作パネルを閉じます。

5 停 止 ボタンを押します。

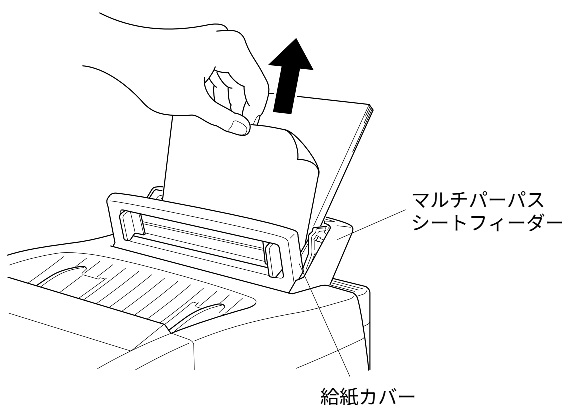
<記録紙がつまったときは>

記録紙がつまった場所により、取り除きかたが違いますので、下記の手順でつまった記録紙を取り除いてください。



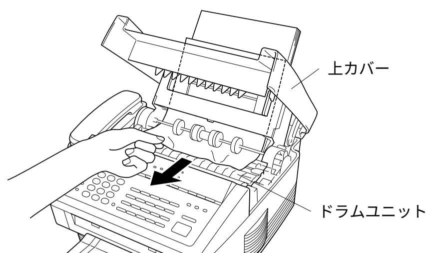
1 マルチパーパスシートフィーダー部でつまったとき

▶マルチパーパスシートフィーダーの給紙カバーを開き、つまった記録紙を取り除きます。軽く引いても記録紙が取り除けない場合は、手順2に進みます。取り除けた場合は、給紙カバーを閉じます。



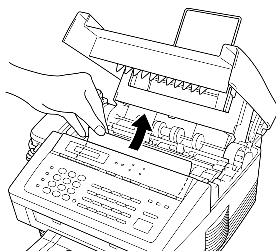
2 ドラムユニットの近くの内部でつまっているとき

▶上カバーを開き、つまった記録紙を手前に引き、取り除きます。
上カバーを開いても、つまった記録紙が見えない場合は、手順③に進みます。取り除けた場合は、上カバーを閉じます。



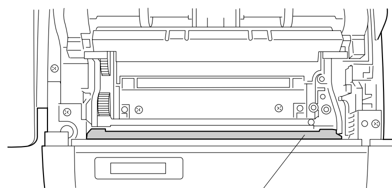
3 上カバーを開いても、つまった記録紙が見えないとき

▶ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外し、つまった原稿を取り除きます。



⚠注意

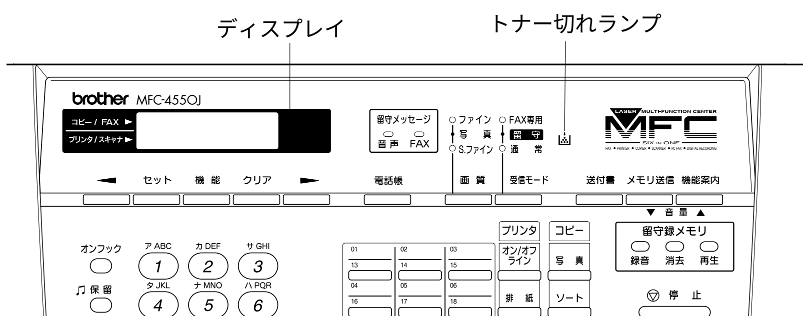
内部は高温になっていますので、十分に注意してください。やけどする恐れがあります。



4 ドラムユニットを元に戻し、上カバーを閉じます。

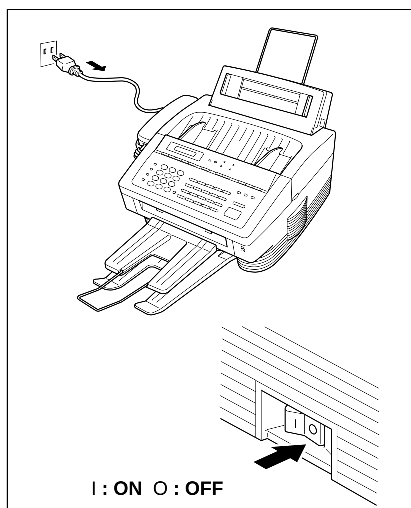
トナーカートリッジの交換のしかた

トナーが残り少なくなると、ディスプレイに トナー コウカン シテクダサイ と表示され、同時に操作パネルのトナー切れランプが点滅して知らせます。
さらに使い続けるとトナーがなくなり、トナー切れランプが点灯し、ディスプレイに トナー コウカン シテクダサイ と トナーガ ナクナリマシタ が交互に表示されます。
一度この表示になると新しいトナーカートリッジに交換するまでプリントやコピーができなくなります。



お願い

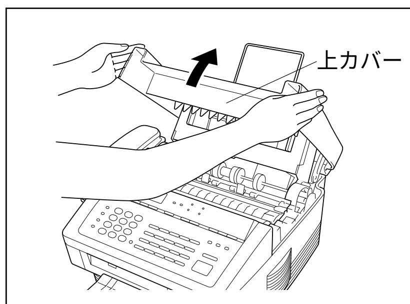
- ●トナーカートリッジ・ドラムユニットの交換は窓際など、強い光の当たるところは避けて行ってください。
- ●ドラムは長い間光に当てないでください。正常な記録ができなくなります。
  また、絶対に直射日光には当てないでください。
- ●ドラムに手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。



1 電源を切り、電源プラグを抜きます。

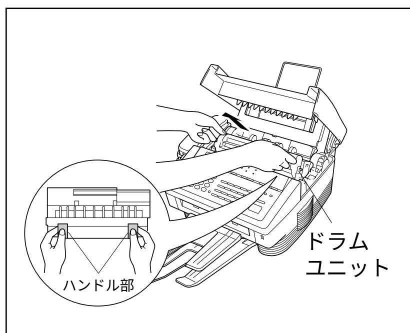
お願い

- ●長時間電源を切ったり、電源プラグを抜いた状態にしておくと、メモリに蓄積された原稿やタイマ送信で設定した時刻などのデータが消えてしまいますので、電源プラグを抜くときは注意してください。



2

上カバーを開きます。「カチッ」と音がするまで持ち上げて、しっかり固定します。

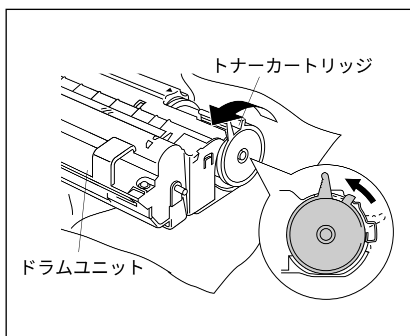


3

ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外します。

お願い

取り出したドラムユニットを平らな安定した場所に紙などを広げ、その上に置きます。
トナーがこぼれることがありますのでご注意ください。

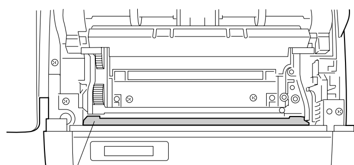


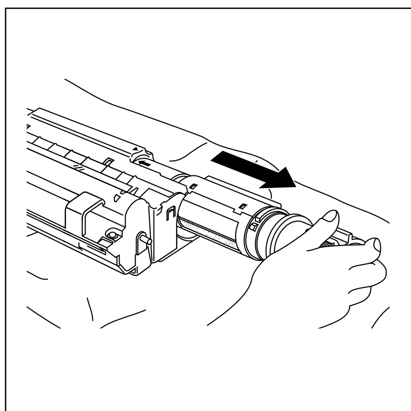
4

トナーカートリッジのシャッターレバーを手前に倒します。

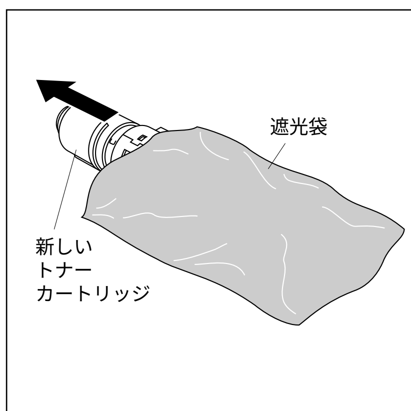
⚠注意

●使用直後のドラムユニットはハンドル部以外のところは高温になっていますので、やけどに注意してください。





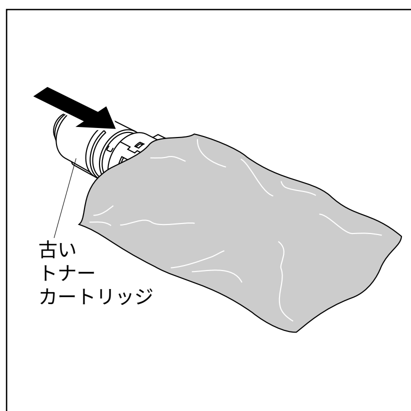
5 トナーカートリッジを取り外します。



6 新しいトナーカートリッジを遮光袋から取り出します。

お願い

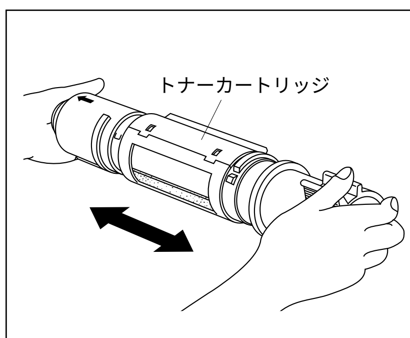
トナーカートリッジは取り付ける直前に遮光袋から取り出してください。



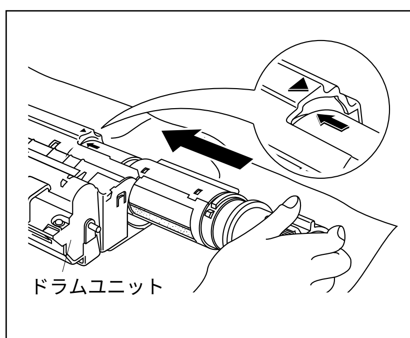
7 古いカートリッジを遮光袋に入れます。



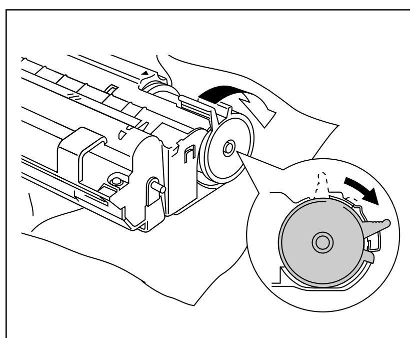
警告	トナーカートリッジは火の中に絶対に投じないでください。爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因となります。 使用後のトナーカートリッジはビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。



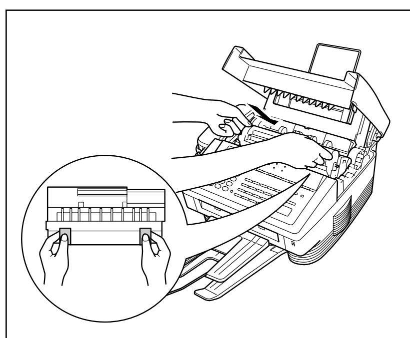
8 新しいトナーカートリッジを水平に持ち、5〜6回左右に振ってください。



9 ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けます。トナーカートリッジの矢印とドラムユニットの矢印を合わせ、トナーカートリッジを挿入します。



10 シャッターレバーを奥に倒します。



11 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。

12 上カバーを閉じます。

ドラムユニットの交換のしかた

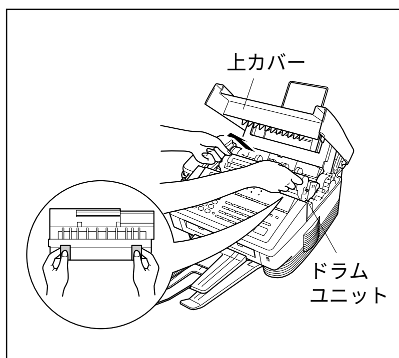
ドラムユニットの交換時期になると、ディスプレイに下記のようなエラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ表示	対処方法
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの交換時期です。新しいドラムユニットに交換してください。

注意	熱定着器(下図の灰色で示されている部分)とその周辺は高温になっていますので、手が触れないようにご注意ください。やけどする恐れがあります。



- ●トナーカートリッジ・ドラムユニットの交換は窓際など、強い光の当たるところは避けて行ってください。
- ●ドラムは長い間光に当てないでください。正常な記録ができなくなります。
  また、絶対に直射日光には当てないでください。
- ●ドラムに手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。



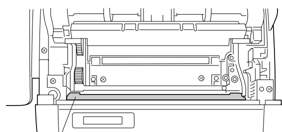
1 電源を切り、電源プラグを抜きます。

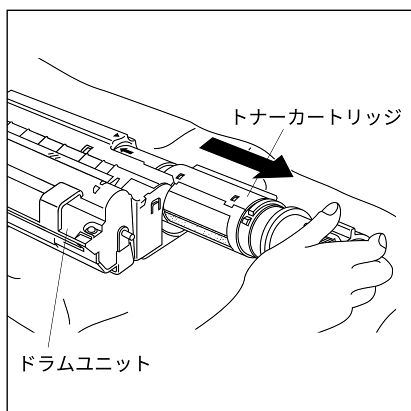
2 上カバーを開きます。

3 ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外します。



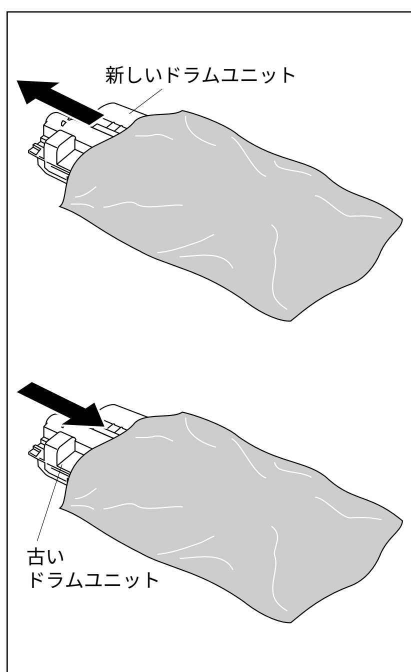
●使用直後のドラムユニットはハンドル部以外のところは高温になっていますので、やけどに注意してください。





4 シャッターレバーを手前に倒します。

5 トナーカートリッジを取り外します。



6 新しいドラムユニットを遮光袋から取り出します。

お願い

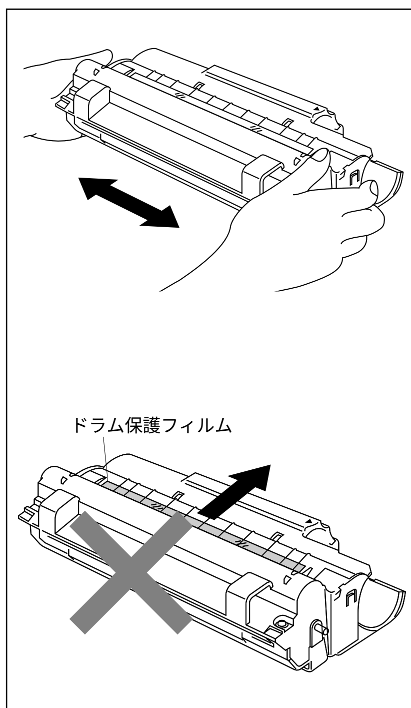
ドラムユニットは、取り付ける直前に遮光袋から取り出してください。

7 古いドラムカートリッジをビニール袋(ドラムユニット廃棄用)に入れます。



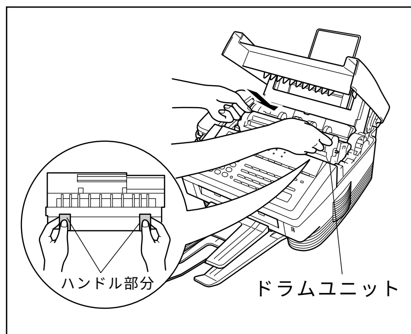
警告

ドラムユニットを火の中に絶対に投じないでください。爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災・やけどの原因となります。使用後のドラムユニットはビニール袋(ドラムユニット廃棄用)に入れて、燃えないゴミとして処理してください。

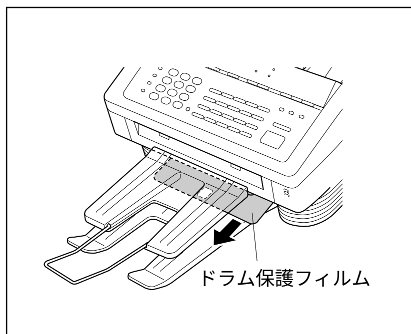


8 ドラムユニットを振ります。ドラムユニットを水平に持ち、左図のように5〜6回左右によく振ります。

9 トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けます。トナーカートリッジも交換するときは、この時点で新しいカートリッジを取り付けます。新しいトナーカートリッジのときは、196ページを参照し準備をしてから取り付けます。このとき、ドラム保護フィルムをぬき取らないでください。



10 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。



11 上カバーを閉じて、電源プラグを差し込み電源を入れます。ドラム保護フィルムが出てくることを確認してください。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときにディスプレイに表示します。下記の処置を行ってもエラーが解除されないときは、フリーダイヤル0120-143410へ確認してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの寿命です。	新しいドラムユニットに取り換えてください。(198ページ参照)
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ディスプレイに[トナー　コウカン　シテクダサイ]と表示され、コントロールパネルのトナー切れランプが点滅している状態はまだ印刷作業を行うことができますが、トナーの残りが少なくなり、トナーの交換時期が近いことを知らせています。	新しいトナーカートリッジを用意してください。(194ページ参照)
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ (交互に表示される)	トナーがなくなったので、印刷することができません。	トナーカートリッジを新しいものと交換してください。(194ページ参照)
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ	記録紙がなくなったか、記録紙が正しくセットされていないか、記録紙が記録部につまっています。	記録紙を補給するか、正しくセットし直してください。または、つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。(取扱説明書<セットアップ編>4ページ参照)
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ｶｸﾆﾝ	記録用紙のサイズが正しくありません。	このエラーが起こった場合、縮小率は自動的に[ジドウ]に設定されます。(58ページ参照)
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	回線状態が悪い、または相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行いました。	少し時間がたってから再送してください。相手先に確認して、再度操作してください。
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ	上カバーが完全に閉まっていません。	上カバー、または給紙カバーがきちんと閉じているか、確認してください。
ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ	通信中に相手先から回線が遮断されました。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｹﾞﾝｺｳ ﾂﾞﾏﾘ	原稿が正しく挿入されていない、原稿が正しく送信されていない、原稿サイズが長い、のいずれかが原因で原稿がつまっています。	操作パネルを開き、原稿を取り出してください(191～193ページ参照)。取り出したら操作パネルを閉じ、停止ボタンを押します。原稿ガイドを原稿の幅に合わせて原稿をセットし直し、再度送信してください。 原稿サイズが長すぎる場合は、複写機で縮小コピーをしてからセットし直してください。
ﾂｳﾁｶｸﾆﾝ XX ｽﾄｯﾌﾟ ﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ (交互に表示)	本機に何らかの異常が発生しました。	電源を切り、フリーダイヤル0120-143410までご連絡ください。
ﾒﾓﾘ ｹﾞﾝｶｲ	メモリがいっぱいになりました。	●排紙ボタンを押し、本機に残っているデータをプリントしてください。 ●Windows®用プリンタドライバをインストールしてある場合、お使いのアプリケーションソフトウェアの[印刷]コマンドの中のTrueTypeモードのセッティングを「グラフィックとして印刷」に設定してください。 ●印刷解像度を下げるか(17ページ参照)、原稿の内容を簡単にしてください。 ●メモリ送信などの原稿の読み込み中にこの表示が出たときは、24ページを参照してください。
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手が出ない、または通信中(話し中)です。	ファクスが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	電話/ファクス番号が登録されていないワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル番号を押しました。	電話/ファクス番号を登録してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｵｰﾊﾞｰﾗﾝ ｴﾗｰ		● 排紙 ボタンを押し、本機に残っているデータをプリントしてください。 ●Windows®用プリンタドライバをインストールしてある場合、お使いのアプリケーションソフトウェアの[印刷]コマンドの中のTrueTypeモードのセッティングを「グラフィックとして印刷」に設定してください。 ●印刷解像度を下げるか(17ページ参照)、原稿の内容を簡単にしてください。
ｷﾛｸｼ ﾂﾏﾘ	記録紙がなくなったか、記録紙が正しくセットされていません。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。(191～193ページ参照)
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｾｯﾄ	トナーカートリッジが取り付けられていません。	トナーカートリッジを取り付けてください。(194～197ページ参照)

その他の問題

	こんなとき	ここをチェック
送信および受信	**送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。**	送信時に選択した解像度が適切ではない場合があります。もう一度、「ファイン」もしくは「スーパーファイン」モードに再設定して送信してください(17ページ参照)。改善されない場合は、本機の読み取り部分が汚れている可能性がありますので、読み取り部分を清掃してください(188ページ参照)。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分が汚れているか、もしくは受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。一度コピーを取ってみて、きれいにコピーが取れる場合は、受信側の機械に問題があります。
受信	**受信したファクスに縦の線が入っている。**	本機のコロナワイヤが汚れているか、もしくは送信側の機械の読み取り部が汚れていると思われます。まずコロナワイヤを掃除し(190ページ参照)、コピーを取ってみて、きれいにコピーが取れる場合は、送信側の機械に問題があります。
	受信したファクス書類に横の線が入っていたり、一部の行が消えてしまっていたりする。	電話回線の状態が良くないと考えられます。送信側に連絡し、再度ファクスを送信してもらってください。
	受信したファクスが2枚に分かれてしまったり、受信した後に白紙ページが出力される。 受信したデータが2ページに分かれて出力されたり、白紙ページが出力される。	記録紙サイズがお使いの記録紙に合っていません。固定縮小機能を使用中の場合、お使いの記録紙に縮小率が合っているか確認してください(59ページ参照)。
コピー	**コピーを取ると縦の線が入る。**	本機の読み取り部、もしくはコロナワイヤが汚れていると思われます。両方の掃除を行ってください。(188、190ページ参照)
プリント	**印刷ページの端や中央がかすむ。**	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。問題が改善されない場合は、トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを外し、左右によく振って、ドラムユニットを再び取り付けます。もう一度プリントし直して、印刷の質がよくならない場合は、ドラムユニットを交換してください。ドラムユニットを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、フリーダイヤル0120-143410にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	ドラムユニットを新しい物と交換してください。(198～200ページ参照)
	印刷結果が明るすぎる/暗すぎる。	112ページを参照して、印刷の濃さを変更してください。

	こんなとき	ここをチェック
電話	**ダイヤルできない。**	回線種別が正しく設定されていない可能性があります。回線種別を設定し直してください(取扱説明書<セットアップ編>12〜13ページ参照)。すべての電話回線が正しく接続されているか確認してください(受話器や電話機コンセントなど)。同じく、電源スイッチが入っているか、電源コードが正しく差し込まれているかを確認してください。
	電話がかかってきても、本機が応答しない。	本機が電話モードになっていないか確認してください(「FAX専用」ランプ、「通常」ランプ両方が消灯している)。セットアップ時に、正しい受信モードになっているか確認してください。ダイヤルトーンが聞こえるか確認してください。もしできれば、本機に電話をかけて、何がおこっているのか聴いてみてください。
	受話器からダイヤルトーンが聞こえない。	オンフック ボタンを押してください。ダイヤルトーンが聞こえない場合、電話回線がきちんと接続されているか確認してください。電話線コンセントに他の電話機を接続し、電話回線に何か問題がないか、確認してください。 また、回線種別が正しく設定されていない可能性があります。回線種別を設定し直してください。(取扱説明書<セットアップ編>12〜13ページ参照)。

Q&A

本機をご使用中におこる問題の解決方法を説明しています。何か問題がおこりましたら、関連する事項を見つけて、適切な処理を行ってください。

本機のセットアップ	本機がプリントをしない	・本機の電源が入っていますか。 ・トナーカートリッジとドラムユニットは正しく取り付けられていますか。 ・プリンタケーブルがきちんと接続されていますか。 ・ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。(201ページ参照)
Windows®のセットアップ	使用しているアプリケーションからプリントできない	Windows®対応プリンタドライバがインストールされており、お使いのアプリケーションの[印刷]ダイアログボックスの中で、正しいプリンタドライバを選択しているか確認してください。
	Windows®から印刷する際に、「プリントオーバーラン」というエラーが起こることがある	ドライバの設定で解像度を下げて、もう一度プリントしてください。
用紙	本機が給紙をしない	・「キロクシ カクニン」もしくは「キロクシツマリ」メッセージがLCDディスプレイに表示されていないかどうか、確認してください。表示されている場合、マルチパーパスシートフィーダーに用紙が入っていないか、もしくは用紙が正しく差し込まれていません。用紙が入っていないときは新しく用紙を入れてください。 ・マルチパーパスシートフィーダーに用紙がある場合、用紙がそっていないことを確認してください。用紙がカールしている場合は、用紙をできるだけまっすぐにしてください。また、一度用紙を取り出してから、そろえ直して再びマルチパーパスシートフィーダーに戻すと正常に作動する場合もあります。 ・用紙枚数を減らしてみてください。
	手差しスロットから給紙できない	用紙を正しく入れ直してください。手差しスロットには、必ず一度に1枚の用紙だけを置いてください。(185ページ参照)
	封筒の給紙方法が分からない	封筒は、マルチパーパスシートフィーダー、または手差しスロットから給紙することができます。封筒へプリントする際は、PC上で、印刷に使用する封筒のサイズを正しく設定してください。封筒のサイズの設定は、お使いのアプリケーションの[ページ設定]メニューなどの中で行ってください。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

用紙	どんな種類の用紙が使用できるのか分からない	普通紙、封筒、OHP用紙、ラベル、ルーズリーフをご使用頂けます。詳しくは、178ページをご覧ください。
その他印刷	本機が不要なデータをプリントする	・一度本機の電源を切って、数秒後に再び電源を入れるか、本機をリセットしてください。 ・お使いのアプリケーションの[プリンタの設定]が正しく設定されているかどうかご確認ください。
	1ページを完全にプリントすることができず、「オーバーラン　エラー」というエラーメッセージが表示される	受け取ったデータが複雑すぎて、ページの一部を正しくプリントすることができませんでした。以下の方法で、この問題を解決することができます: ・排紙ボタンを押し、本機に残っているデータをプリントしてください。 ・プリントしたいページのデータを簡単にするか､解像度を低く設定し直してください。
	最初の数ページは正しくプリントされるが、その後のページでは文字が印字されないことがある	この問題は、パラレルインターフェイスセッティングに関係していると思われます。お使いのコンピュータが、「プリンタの入力バッファーが限界」という信号を認識していません。プリンタケーブルが正しくない(もしくはきちんと接続されていない、ケーブルが長すぎる)、またはご使用のコンピュータのパラレルインターフェイスが正しく設定されていないのが原因と思われます。
	1ページを完全にプリントすることができず、「メモリ ゲンカイ」というエラーメッセージが表示される	・プリンタの解像度を下げてください。 ・プリントしたい書類の内容を簡単にしてください。 ・お使いのアプリケーションの中から、グラフィックスのクオリティーを下げたり、使用するフォントを小さくしてください。
	コンピュータ画面上にはヘッダーやフッダーが表示されているのに、プリントされない。	ほとんどのレーザープリンタには、印字可能範囲があり、それを超えてプリントすることはできません。ほとんどの場合、用紙の上端および下端の2行はプリントできませんので、印字可能範囲に合うようにヘッダー、またはフッダーの印刷位置を調整してください。
印刷クオリティー	印刷ページが暗すぎる、または明るすぎる	112ページを参照して、印刷の濃さを変更してください。
	白い縦縞が入る	柔らかい布でスキャナーウィンドウを拭いてください。(189ページ参照) スキャナーウィンドウをきれいにしても同じ問題が起こり、LCDディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。

印刷クオリティー	トナーのしみや黒い縦縞が入る	・本機内部とコロナワイヤを拭いてください。188～190ページをご参照ください。 ・コロナワイヤのつまみが正しい位置にあるかどうか確認してください。(190ページ参照) それでも同じ問題が起こり、LCDディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	テキストやグラフィックに白い中抜けがある	用紙が本機の仕様に合ったものか確認してください。表面がざらざらしている用紙、極端に厚い用紙を使用すると、この問題の原因になります。 それでも同じ問題が起こり、LCDディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	トナーが飛んだりして、プリントされたページが汚れている	マシンの内部の掃除をしてください。(189ページ参照) 本機に合った用紙を使用しているか確認してください。 それでも同じ問題が起こり、LCDディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	印刷時にページ全体が真っ黒になった	金属接点を拭いてください(189ページ参照) 熱に弱い用紙を使用すると、このようなことが起こることがあります。 LCDディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	何も印刷されない	・トナーカートリッジのトナーがなくなっていないかどうか確認してください。 ・金属接点を拭いてください。(189ページ参照) ・スキャナーウィンドウに用紙の切れ端が残っていないかどうか確認してください。
	印刷ページに繰り返し汚れが出る	この問題は自然に解消されていくこともあります。特に、本機を長期間使用していない場合、複数のページをプリントするとこの問題はなくなります。 もう一つの理由として、ドラムユニットの表面に傷がついていることが考えられます。この場合、ドラムユニットを交換する必要があります。 複数のページをプリントしてもこの問題が解決されない場合、ドラムに傷があるか、光にさらされてダメージを受けています。新しいドラムユニットに交換してください。

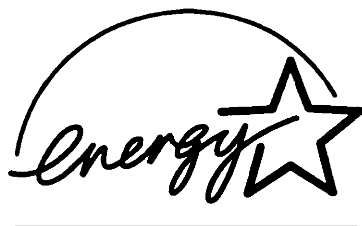
印刷クオリティー	プリントページの中央や端がかすんでしまう	湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こういった問題が起こることがあります。 ・本機が平らで、平行な場所に置かれているかどうか確認してください。 ・ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジを入れたまま、左右に数回振ってみてください。 ・スキャナーウィンドウを柔らかい布で拭いてください(190ページの<ドラムユニットの清掃>参照)それでも同じ問題が起こり、LCDディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	残像が印刷されてしまう	・112ページを参照して、印刷の濃さを薄くしてください。 ・用紙が本機の仕様に合ったものか確認してください。表面がざらざらの用紙や、極端に厚い用紙を使用すると、こういった問題が起こることがあります。

注意:「ドラム コウカン ジキデス」とディスプレイに表示されている場合は、ドラムユニットの寿命です。ドラムユニットを新しいものに交換すれば、印刷クオリティーの問題は解決されます。また、ドラムユニットは消耗品ですので、定期的に交換してください。

規格

国際エネルギープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



VCCI規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（１９６８年制定）に従った米国厚生省（ＤＨＨＳ）施行基準で、クラスⅠレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

 警告	（本書で指示されている以外の）機器のの分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

索引

た

な

は

ま

や

ら

わ

各種の電話サービスについて

＜Fネット（ファクシミリ通信網）について＞

ファクシミリにさまざまな機能をプラスして、より便利にご利用いただくためにNTTが行っているサービスです。本機は、このFネットを利用することができ、次のようなサービスを受けることができます。

●２段階性の明確料金
Fネットなら送るのに時間のかかる文字の細かい文書でもB4版1ページ25円（夜間／100km以内）で全国どこでも送れます。昼間でも40円とお得。さらに100kmを超える場合は夜間30円、昼間は50円と低価格の一定料金です。（標準モード）

●一斉同報通信
簡単な操作で10,000箇所までの同報通信が行えます。

●自動再送信
一斉同報送信できなかった宛先には、簡単なダイヤル操作で送り直すことができます。

●再コール
相手先がお話し中の場合、Fネットが2分間隔で5回、自動的に再コールします。

●夜間配達指定
昼間に送信予約し、夜間の割引時間帯（午後7時から翌朝8時まで）に送ることができます。約40%の割引になります。

●無鳴動自動受信
Fネットなら、ファクスのベルを鳴らさずに受信することができます。1本の電話回線で電話とファクスを効率よく使えます。

●Fネット進展通信
暗証番号を使って通信できるサービスです。重要書類も安心してやりとりできます。

●閉域接続
お互いに登録した相手先とだけファクシミリ通信できます。

●ファクシミリボックス
Fネットから送信された原稿を、Fネット側で一時預かりするサービスです。

●ファクシミリ案内サービス
Fネットを契約していると、最新の情報が簡単に取り出せます。

＜情報の取り出しかた＞

①電話する感覚で受話器を取り１６２と押します。
②プップップと聞こえたら
（ダイヤル回線の場合はプップップの後にPBボタンを押してプッシュ信号に切り換えてから次の操作をしてください）
③＃284（または＃287）－○○－○○○○－○○○○－△△－＃と押します。
④「サービスを受け付けました」とアナウンスが入ります。
⑤受話器を戻し、しばらく待つと情報が送られてきます。

＜NTTの電話転送サービス「ボイスワープ」をご契約のお客様へ＞

自動転送機能でかかってきた電話を転送するとき、転送先にファクスを受信できない端末を指定した場合、ファクスが受信できなくなります。ご注意ください。

主な仕様

＜ファクシミリ＞

互換性	ITU-T　グループ３(G3)
変調方式	MH/MR/MMR
通信速度	14400/12000/96007/200/4800/2400bps (自動フォールバック付き)
原稿サイズ幅	最大：216mm、最小：148mm
有効読取幅	208mm
記録紙サイズ	A4（幅210mm×長さ297mm）
伝送時間	約６秒[*1]
中間調伝送	64階調
走査方式	CCDによる平面走査
走査線密度	主走査：８ドット/mm 副走査：3.85本（標準） 7.7本（ファイン/写真） 15.4本（S.ファイン/写真＜コピー＞）
適用回線	一般電話回線、２線式専用回線、Fネット

＜プリンタ＞

対応パソコン	DOS/V機
対応OS	Windows®95/3.1
インターフェイス	セントロニクス準拠パラレルインターフェイス
プリンタメモリ	1MB
プリント方式	半導体レーザー+乾式電子写真方式
プリント解像度	600dpi
プリント品質	普通モード/トナーセーブモード
プリント速度	６枚/分（A4サイズ）
プリント可能枚数	トナー：約2.200枚（市販品） 約1.100枚（付属品） ＜A4サイズの用紙に印刷密度5%でプリントしたとき＞ ドラムユニット：約20.200枚（1度に20枚連続印刷したとき） 約8.000枚（1度に1枚印刷したとき）

＜電源と使用環境＞

使用環境	温度：10〜32.5℃、湿度：35〜80％
電源	AC100V±10V　50/60㎐
消費電力	スリープ時：9W以下 待機時：30W以下 動作時：160W以下
稼働音	待機時：39dBA以下 動作時：50dBA以下
外形寸法	383（横幅）×452（奥行き）×251（高さ）mm （突起物を除く）
重量	約8.5kg

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

*1　A4判700字程度の原稿を標準的画質（８×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの伝送時間です。通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の伝送時間は原稿の内容および回線状況により異なります。

＜キリトリ線＞

リモコン　アクセス

リモコンアクセスコード

○○○

あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、メッセージを受信していることを示します。
   ポー：ファクスメッセージを受信しています。
   ポー　ポー：音声のメッセージを受信しています。
   ポー　ポー　ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。
   「ポー」という音が聞こえなければ、メッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、3、4を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッピッピッ」という音が聞こえますので、もう１度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91（※4）
巻き戻し（再生中から巻き戻し）		911（91＋1）
早送り（再生中から早送り）		912（91＋2）
ボイスメモを録音		92（※1、※4）
音声メッセージを消去（※2）		93
用件応答（留守番）メッセージ	再生	9411（※4）
	録音	9421（※1、※4）
通常応答メッセージ	再生	9412（※4）
	録音	9422（※4）
電話呼び出し、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※5）
	電話呼び出し	953（※5）

操作内容		ボタン操作
ファクス転送番号の登録・変更		954
ファクス転送番号確定		955
ファクスの取り出し	メモリ使用状況リスト	961
	ファクスの取り出し	962メッセージ番号、00＋スタート
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	通常	982
	ファクス専用	983
終了		90

※1：リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。
※2：「ピッ」という音が3回聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピーピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッピピッ」という音が3回聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは 9 を入力してください。
※5：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

FAX消耗品のご注文について

●弊社情報機器事業部へご注文される場合は、お客様宅へ直送させていただきますので、下記注文書に必要事項をご記入の上、FAXにてご注文ください。
●ご注文いただきました部品は、2～3日後に宅配便にてご注文先にお届けさせていただきます。尚、代金は商品到着時に（現金にて）お支払い願います。　送料無料
●ご注文数量は、勝手ながらFAX部品注文書の単位にてお願い申しあげます。

《ご注文先》

ブラザー販売（株）　情報機器事業部　宛

FAX番号（052）825-0331

＜キリトリ線＞

〈キリトリ線〉

ブラザー販売（株）
情報機器事業部　行

FAX部品注文書

《ご送付先》

お客様ご住所

お名前　　　　TEL　　　　FAX

品　名	機種コード	単　価	ご注文数	金　額
TN-200 (MFC-4550J用トナー)	5X7-102-001-47	6,600円 (消費税別)		
DR-200 (MFC-4550J用ドラム)	5X7-101-001-47	19,500円 (消費税別)		
			消費税	
			合　計	

アフターサービスのご案内

　この度は本製品をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設定を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合せなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているか、機種名、シリアルNo.などをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部

〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15―1
TEL：（052）824―3410
FAX：（052）825―0331

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。万一販売店に在庫などがなくお買い求めできない場合は、弊社にて対応させていただきます。
・なお、ご注文の際は、前ページの部品注文書にてＦＡＸでご注文願います。



お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
消耗品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または(052)824-3410へご相談ください。
もし、販売店等でおわかりにならないときは、下記のブラザー販売㈱の営業部におたずねください。

【お客様相談窓口】

東　京：〒104-8790
東京都中央区京橋3-3-8
TEL（03）3274-6911

名古屋：〒467-0851
名古屋市瑞穂区塩入町11-5
TEL（052）824-3196

大　阪：〒550-0012
大阪市西区立売堀4-4-2
TEL（06）543-9120

福　岡：〒812-0011
福岡市博多区博多駅前2-3-12
ブラザー博多駅前ビル2F
TEL（092）481-1560

UF7904001②
Printed in Japan